

第七十三回帝國議會 衆議院 社會事業法案外二件委員會會議錄(速記)第六回

付託議案
社會事業法案(政府提出)
商店法案(政府提出)
簡易生命保險法中改正法律案(政府提出)
職業紹介法改正法律案(政府提出)

會議

昭和十三年三月八日(火曜日)午前十時二十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 服部 岩吉君

理事片岡 恒一君 理事伊東 岩男君

理事長野 高一君 理事小池 四郎君

理事野口 喜一君

土屋清三郎君 濱野徹太郎君

清水留三郎君 最上 政三君

齋藤 直橋君 森下 國雄君

塚本 三君 庄司 一郎君

松浦 伊平君 馬岡 次郎君

佐保 畢雄君 太田 理一君

坂本宗太郎君 鈴木 文治君

川村保太郎君 椎尾 辨匡君

三浦 虎雄君

同日委員土屋清三郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ濱野徹太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

商工省保險局長 牧 檜雄君

逓信省管理局長 山田 良秀君

厚生政務次官 工藤 鐵男君

厚生參與官 山本 芳治君

厚生省勞働局長 成田 一郎君

厚生書記官 灘尾 弘吉君

保險院長官 進藤 誠一君

保險院總務局長 佐藤 基君

保險院簡易保險局長 藤川 靖君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員 伊藤東一郎君

議員 土屋清三郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

社會事業法案(政府提出)

商店法案(政府提出)

簡易生命保險法中改正法律案(政府提出)

○服部委員長 ソレデハ開會致シマス、昨日ノ質問ニ引續キマシテ、鈴木委員ニ發言ヲ許シマス

○鈴木委員 本法案ハ商店員五十人ト云フコトヲ限度ト致シテ居ルノデゴザイマスケレドモ、ドウモ考ヘテ見レバ、商店ノ大小均衡ヲ失ッテ居ル嫌ガアリハシナイカト思フ、例ヘバ五十人以下トシマシテモ、四十九人ノ場合ガアルト五十人ト事實大差ガナ

イ、併シ四十九人ノ場合ニ、親子兄弟ト云フ風ノ關係係人ヲ入レテヤッテ行ケバ、五十人ニモ五十一人ニモ或ハ五十二人ニモ掛合フヤウナ仕事ヲスルコトガ出來ル、而モ法律ノ適用ハ免レル、斯ウ云フヤウナコト

ニナリマシテハ、ドウモ其點困難ヲ生ジハシマイカト思フノデアリマスガ、其點ニ付テ御考ニナツタコトガゴザイマセウカ伺ヒマス

○成田政府委員 今ノ御尋ノ點ハ、確ニ機械的ニ斯ウ云フ數字ヲ決メマスト、サウ云フ境目ノ所デ様式ガ一寸合ハナイヤウナ場合ガアルカト思ヒマスケレドモ、例ヘバ退職積立金及退職手當法ニ於キマシテモ、ヤハリ「常時五十人以上」ヲ使用スルモノト云フヤウナ言葉ガアリマシテ、只今御引例ニナリマシタヤウニ、四十九人或ハ四十八人ノ場合ト非常ニ違ヒガアルデハナイカト云フ點ハ、御述ニナリマシタ通りダト吾々モ考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラサウ云フ點ハ、斯ウ云フ立法ヲ爲ス場合ニハ已ムヲ得ナイ點ナノデアリマシテ、將來之ヲ段々ニ引下ゲテ行クト云フヤウニ考ヘテ行キ

タイトハ思ヒマスケレドモ、今日ノ所五十人ト致シマスレバ、一人デモ、二人デモ缺ケタ場合ニ於テハ、此法律ノ第七條及ビ第八條ノ適用ガナイト云フコトハ理論上ドウモ已ムヲ得ナイト考ヘマス

○鈴木委員 事務當局ニ於テ其邊ノコトヲ十分御分リニナツテ居リマスレバ、此缺陷ヲ補フコトガ出來ルト思ヒマスルカラ、ソレデ結構デアルト思ヒマス、ソレカラ此監督規定デゴザイマスガ、監督官ト云フ風ナモノノ設ケガゴザイマセウカ、此點ニ付テ伺ヒマス

○成田政府委員 本法ノ施行ノ監督ニ付キマシテハ、只今ノ所工場ニ於ケル工場監督官ト云フヤウナ特殊ノ職名ヲ持ッタ役人ハ格別置ク考モ現在ハ持ッテ居リマセヌ、工場課デ斯ウ云フ仕事ヲ段々ヤルヤウニナリマスト、工場課ト云フ名前ガ適當カドウカト云フ問題ガ起リマスガ、兎ニ角現在アリマス工場課ハヤハリ勞働者ノ保護ト云フ方ヲ主トシテヤッテ居ルノデアリマスカラ、商業使用人ノ保護ニ付キマシテモ、工場課デヤルヤウニシタイ、勿論仕事ノ關係上經濟

部ノ商工課アタリトハ緊密ナル聯繫ヲ取ツ
テ行カクチャナラヌカト思ヒマスケレド
モ、本體トシテハ工場課ガ主トナツテヤリ
マス、隨テ工場課ノ役人ガ此法律ノ施行ノ
責任ヲ執ル譯デゴザイマスケレドモ、別段
監督官ト云フヤウナ職制ハ設ケナイ積リデ
ゴザイマス

○鈴木委員 職制ヲ設ケナイト致シマス、
當時監督スル機關ハ先ヅナイモノト思ハレ
ルノデゴザイマスガ、商業使用人ト申シマ
シテモ、其數凡ソ百五十万ト承知シテ居
リマス、百五十万アツテ而モ店舗ハ小サイ
店ガ非常ニ多イノデゴザイマスガ、其ヤウ
ナ所ニ於ケル所ノ違反事件ト云フ風ナコト
ニ付テハ、ドノヤウナ風ニシテ摘發サレル
ノデアリマセウカ、又サウ云フ處ノ商店員
ナドト云フモノハ、法ノ精神ヲ十分吞込マ
ズニ居ル所ノ者モ多イト思ヒマスシ、已ム
ヲ得ナイコトダト云フ風ニ觀念シテ居ル者
モアルト思フノデス、觀念シテ居ル者、已
ムヲ得ナイト思ッテ居ルヤウナ者ガ居リマ
シテハ、此法律ノ意義ガ甚ダ少クナルト思
フノデゴザイマス、私ハ此點ニ付テ監督官ノ
制度ヲ御設ケニナル必要ガアルト思フノデ
ゴザイマスガ、必要ガナイトセラレル所ノ論
據ハドノヤウナ所ニアルノデゴザイマスガ、

伺ヒタイト思フノデゴザイマス

○成田政府委員 只今ノ點ハ格段監督官ト

云フ名前ヲ附ケテ者ガナケレバドウシテモ
イカヌト云フ風ニマデ強ク考ヘテ居リマセ
ヌ、工場ニ付キマシテハ工場監督官ガゴザ
イマスガ、労働者災害扶助法ノ施行上、例
ヘバ土木建築ノ監督ト云フ方ニ付キマシテ
モ、只今格段ナ監督官ノ制度ヲ作ッテ居リ
マセヌノデス、隨ヒマシテ監督官ト云フ名
前ヲ持ッタモノガ居ラナケレバ非常ニ差支
ヲ生ズルト云フ風ニハ私共考ヘテ居リマセ
ヌ、現實ニ工場課ニ居ルモノデアッテ、商
店法施行上ノ責任ヲ執ル者ガ居リマスレ
バ、ソレデ結構行クノデハナカラウカ、更
ニ又非常ニ澤山ノ店舗或ハ非常ニ多數ノ商
業使用人ガ居ルニ拘ラズ、監督ガ出來ナイ
ノデハナイカト云フ御意見モアツタヤウデ
ゴザイマスケレドモ、實ハ此法律ハ割合ニ
同業者間ノ關係ニ於テ違反者ト云フモノガ
分ッテ來ルノデハナイカト云フコトモ考ヘ
テ居リマスシ、モウ一ツ——ソコマデ申シ
テ宜イカ惡イカ存ジマセヌガ、最初ハ出來
ルダケ處罰ヲ以テ臨ムト云フヤウナ考デナ
ク、出來ルダケ指導スル、出來ルダケ啓發
シテ、法律ノ施行ハ勿論ノコト、法律ノ施
行外ニ於テ積極的ニ、商業使用人ノ方ニモ

入ッテ行カウト云フヤウナ考デ居ルノデア
リマス

○鈴木委員 事務當局ノ御説明ハ大分納得

致シマシタノデアリマスガ、監督スル方ノ
役人ノ數ハ此法律ノナカッタ前ト出來テカ
ラトハドノ位違ヒマスカ、其數ニ於テ増サ
ナイノデアアルカ、増スノデアアルカ、増スト
スレバ凡ソ何人位増スノデアアルカト云フコ
トヲ伺ハナケレバ、假ニ監督官ト云フ名前
ノ附イタ役人ガナクテモ監督出來ルコトハ
分ッテ居リマスシ、又労働災害保險法ニ於テ
モナイコトハチャント分ッテ居ルノデゴザ
イマスガ、此點ニ付テハッキリシタコトヲ
伺ハナケレバ、ドウモ納得ガ出來ナイヤウ
ニ思フノデアリマス、其點ヲ御同致シテ置
キタイト思ヒマス

○成田政府委員 此法律施行ニ伴ッテ人間

ガ殖エタカドウカト云フ御尋デアリマス、
事務當局トシテハ相當ノ人員ヲ増加スル必
要モアルト云フコトデ豫算ヲ要求ラシタノ
デアリマスガ、結局財政上其他ノ關係デ其
要求ガ認メラレナカッタノデアリマス、結局
此法律施行ニ伴ッテハ人間ハ一人モ殖エテ
居リマセヌ、現在ノ儘デヤルト云フコトデ
ゴザイマス

○鈴木委員 財政當局ノ御意見ハ此法律ニ

罰則其他ノモノヲ設ケテ居リマシテモ、宜
イ加減ニ是ハ實行サレルノデアッテ到底嚴
密ナ實行ト云フコトヲ豫期シテ居ラナイト
云フ風ナ御意見デゴザイマセウカ、私ハ其
點ヲ大抵分ッテ居リナガラシツコク御尋ス
ルヤウデアリマスガ、其點ニ付テモハッキ
リシタコトガ決ッテ居ラナケレバ、此法律ニ
罰則其他ヲ設ケタコトガ殆ド意義ヲ爲サナ
イヤウニ思フノデゴザイマス、御役人ノ人
ハ一生懸命ニオ働キニナルデアリマセウ
ケレドモ、大抵時間ト云フモノハ決ッテ居
ルノデ、朝モ晝モ晩モサウ働ク譯ニ行カヌ、
又斯ノ如キ種類ノ事業ト云フモノハ同業者
ノ關係デ分ルヤウニナッテ居ルトハ申シナガ
ラ、是モ甚ダ少イノデアリマス、工場法ニ於
テ、労働組合ニ於テ工場法違反ノコトヲ摘
發シヨウト思ッテモ摘發スル數ハ少イト同
様デアリマス、況ヤ同業者ノ關係ニ於テ之
ヲ摘發スルト云フコトガ分ッテ居ル場合モ、
摘發スルコトガ少イト思ヒマスガ、此法律
ニ於テ何カ適當ナル方法ヲ御考ニナラナケ
レバ、實行上甚ダ不徹底ナコトニナリハシナ
イカト恐レラレルノデアリマスガ、是ハ御
答ガナクテモ宜シウゴザイマス、是ハ是非
共御考ヲ願ヒタイト思フノデアリマス
ソレカラ先刻御話ガゴザイマシタガ、此法

律ニ於テ従業員ヲ保護スル上ニ於テ、給料其

他所謂勞働條件ニ關スルコトデアリマス、

給料トカ或ハ時間ト云フヤウナ取決メノナ

イコトハ、假ニ今マデ致方ナイト致シマシ

テモ、退職手當ト云フモノヲ御決メニナラ

ナケレバナラナイト思フノデゴザイマス、

ト云フノハ御承知ノ通り、今マデナラバ

十年勤メルカ、二十年勤メレバ暖簾ヲ分ケ

テヤルトカ何トカ云フコトデ、人ヲ使ヒ

マシテモ、是ガ話ガ出タノデアリマスガ、

モウ其期限ニナル一年カ半年前ニナレバ、

難辭ヲ付ケテ出スヤウナ場合ガ澤山アリ

マス、隨テ主從情宜ノ關係ガ非常ニドウ

モ薄クナツテ來テ居リマス、厚イ時ナラ宜

シウゴザイマスガ、薄クナツテ來テ居ル今

日、即チ法制ヲ以テ主從ノ關係ヲ規定シナ

ケレバナラナイト云フ事情ニ立至ツタ今日

ニ於テ、退職手當ノ問題ヲ規定サレバ退

職スル方モ、退職サレル方モ、ソコハ頗ル

工合ノ惡イ事情ガ起リハスマイカト思フノ

デアリマス、此點ニ關スル御考ヲ伺ヒタイ

ト思フノデアリマス

○成田政府委員 只今ノ御意見ノ御趣旨ニ

付テハ私共全然異議ハナイノデアリマス、

但シ直チニ此商店法適用ノ商店ニ對シテ退

職手當ニ關スル制度ヲ設ケルト云フコトニ

付キマシテハ、モウ少シ實ハ研究シテ見タ

イ、ト申シマスノハ是ハ鈴木サン十分ニ御

承知ノコトデアリマスガ、工場、鑛山ニ於

ケル退職手當ト申シマスモノハ既ニ永年ノ

慣行ニ依ツテ標準ハアツタノデアリマス、ソ

レヲ基トシテ、ソレニ改善ヲ加ヘ、ソレニ

統制ヲ加ヘ、サウ云フヤウナ意味合デ昨年

法律ガ出來タノデアリマスケレドモ、其點

ニ付キマシテハ、只今モ御話ノヤウニサウ

云フ制度ハ現在ハ餘リナイヤウニ聞イテ居

リマス、隨テ御趣旨ニ於テハ御同感致スノ

デアリマスケレドモ、サウ云フ制度ヲ設ケ

ル場合ニドウ云フ形デヤルカ、ドウ云フ程

度ニヤルカト云フコトハ、十分ニ研究シテ

見タイト實ハ考ヘテ居ル譯デアリマス、只

今ハ退職手當ノコトノミニ限局サレテ御話

ガアツタノデアリマスケレドモ、其他扶助

ノ問題デアリマスツカ、就業時間ノ問題デ

アリマスツカ、其他商店使用人ノ保護ノ上

ニ吾々トシテハヤッテ行キタイト思フテ居ル

モノガ多々アルノデアリマスケレドモ、モ

ウ少シ研究調査シタ上デ更ニ機會ヲ見テ法

律ノ改正其他デ御願シタイ、斯様ニ考ヘテ

居ル譯デアリマス

○鈴木委員 研究未熟ノ故デアルトスルナ

ラバ、是ハ如何トモスルコトハ出來ナイノ

デアリマスガ、研究未熟ノ狀態デ満足セズ

シテ、今後一層御勉強ニナリマシテ、斯ル

制度ヲ御設ケニナルコトヲ希望スルノデア

リマス、ソレニ付キマシテモ此法律ヲ施行

スルニ付テ、役人ノ數ガ殖エレバ研究モ調

査モ出來ルト思フノデゴイザマスガ、役人

ノ數ニ變リガナク、制定シタ法律ガ殖エル

ト云フダケデハ、其希望ヲ何處ヘ持つテ行ッ

タラ宜イカ、殆ド満足スル餘地ハナイヤウ

ニ思フノデゴイザマス、隨テ斯様ナコトヲ

申スノデゴイザマスガ、是非此點ニ付テハ

御調査ナリ、御研究ナリ、御考ナリシテ戴

キマシテ、早ク御設ケニナル必要ガアルト

思ヒマス、今日デハ三人ヤ五人ノ所デハア

リマセヌケレドモ、十人以上、或ハ二十人

以上ノ所ニ於テ、殊ニ商店主ナドガ新シイ

學校ヲ卒業シタ教育ノアル店ナドニ於テハ、

サウ云フコトヲ設ケタ例モ澤山私共ノ知ッ

テ居ル所ニ於テハアリマスシ、又其様ナ傾

向ニナラウトシツ、アル、ソレ等ノ傾向ニ

ナリツ、アルコトガ寧ロ暖簾ヲ分ケルトカ

何トカ云フ風ナ煩雜ナコトヲ免レテ、非常

ニ宜シイト思フ店主ガ段々多クナツテ居

ルノデゴイザイマスカラ、此點ニ付キマシテ

モ是非御考ヲ願ッテ研究ノ纏マルヤウニ御

願シタイ、サウシテ後ノ改正、例ヘバ來年

度ノ改正ナドノ時ニ於テハ是非此點ハ御出

シニナルコトヲ希望スル、ソレニ付ケテモ

役人ノ數ガ足ラナイ、此法律ヲ實行スルニ

付テ其役人ノ數ガ足ラナイト思フノデゴザ

イマシテ、此邊ニ付キマシテモ、私ハ厚生

省ニ對シマシテ非常ニ同情ノ意ヲ表シマス、

私ノ申上ゲル所ハ大體是ダケデゴイザマス、

尙ホ一言申上ゲタイノハ、此法律ハ實ヲ申

シマス、忽卒ノ間ニ出サレタノデハナイ、

多年ノ御研究ノ結果デアルトハ言ヒナガラ、

時局ノ關係其他ニ於テ今日ノ時世、今日以

後ノ時世ニ適應スルニ付キマシテハ、ドウ

モ甚ダ不完全ナ法律デアルト云フコトハ免

レナイト思ヒマス、併シ私共ハ是ハ已ムヲ

得ナイト思フノデゴイザイマスガ、是カラ後

ニ大イニ奮發ヲセラレマシテ、御研究、御

調査ノ上ニ於テ、近イ將來ニ於テ改正法ヲ

御出シ下サルコトヲ希望スル、此意味ニ於

テ私ノ質問ヲ打切ルコトニ致シマス

○長野委員 昨日此席デ私ガ當局ニ御尋シ

タノデアリマスガ、此商店法ノ目的ガ我國

ニ於ケル商店使用人保護ト云フコトニアリ

マスル以上ハ、其實施ニ伴ウテ當然考ヘナ

ケレバナラヌコトハ、其店員ニ對スル餘暇ノ

善用デアリ、更ニ體位ノ向上、或ハ精神的ノ

修養機關ノ施設ト云フコトニアルノデアリ

マスガ、斯様ナコトヲ考ヘマスル時ニ、何等カ此商店法ヲ御出シニナルト同時ニ、相當ノ豫算ヲ以テ政府ニ於カレテハ斯様ナ方面ニ考慮ヲ拂ハレルコトガ當然デアルト云フ風ニ考ヘマスガ、段々御話ヲ聽イテ居リマスト、何等サウ云フコトニ付テハ準備ガナイ、唯地方ノ府縣デアルトカ或ハ自治團體ノ施設ト云フモノニ任セテ置クト云フコトデアリマスガ、而モ其點ニ付キマシテモ積極的ニ何等指導連絡ト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ラレナイト云フコトハ、吾々ノ頗ル遺憾ト存ズル點デアリマス、ソレハ御考ニハナツテ居リマセウケレドモ、經費ノ關係デマダ出來ナイノデアルカ、將來ニ於テモ十分其點ハ考ヘテヤッテ行キタイト云フ御言明ヲ昨日得マシテ、多少吾々ハ其點ニ付キマシテハ、心配ガ少ナクナッタノデアリマスガ、更ニ此機會ニ御同致シタイコトハ厚生省ノ新設ノ使命ト云フモノハ、國民ノ體位ヲ向上セシメルト云フコトモ重大ナル目的ノ一ツニナツテ居ルノデアリマスガ、ソレニハドウシテモ現在ノ國民生活ヲ改善シナケレバナラス、科學的ニ色々ト研究ヲ致シマシテ、サウシテ從來ノ誤ッテ居ル點ハ大イニ改メテヤッテ行クト云フコトデナケレバナラスノデアリマスガ、サウ云フコトヲ研究シ或

ハ實踐ニ移スト云フ一ツノ運動ガ、即チ世界ノ更生會議——「リクリエーション・コンGRESS」是ハ千九百三十二年ノ國際「オリンピック」大會ガ「ロスアンゼルス」で開催サレマシタ時ニ、初メテ催サレタ會合デアリマシタ、爾來此會ノ活動ノ實績ニ鑑ミマスルニ、丁度我ガ日本ノ現在ノ厚生省設置ノ目的ニ、其目的ガピッタリ合ッテ居ルノデゴザイマス、サウ云フ風ナコトヲ考ヘマスルト、來ル千九百四十年ノ東京「オリンピック」大會ニ於テハ、殆ド其附隨事業トモナツテ居リマス、此「リクリエーション」會議ハ、是非東京デヤル必要ガアルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シテ當局ハドウ云フ風ナ御考ヲ持ッテ居ルカ、更ニ本年六月ニ開催サレマス所ノ羅馬ニ於ケル更生會議ノ臨時大會ニハ、日本ノ政府ニ羅馬ノ政府カラ招待狀ガ來テ居ルト云フコトモ承ツテ居ルノデアリマシタ、之ニ代表ヲ御送りニナルカドウカ、ソレカラ千九百四十年ニ、日本で開催致シマスルトシマスルナラバ、其場所ハ何處デオヤリニナルノデアルカ、又其規模ナドハドウ云フ風ナ程度ノモノデアるかト云フコトヲ御示ヲ願ヒタイ、斯ウ云フコトヲ伺ッタノデアリマス

○山本政府委員 昨日御尋ニナツタ點ト、又今改メテ御尋ニナツタ點ニ御答ヲ致シマス、昨日ハ即答シ兼ねタノデアリマスガ、伊太利ノ大使ヲ通ジマシテ、招待狀ハ參ッテ居リマス、ソコデ此會議ニ本邦ノ代表ヲ出スカ出サナイカト云フコトガ、第一ノ御尋デアリマシタ、其點ニ付テハマダ決定致シテ居リマセヌ、經費ノ點デト云フコトヲ只今仰シヤイマシタガ、昨日ハ別ニ經費ノ點決定シテ居ラヌト云フコトハ申上ゲンダヤウニ記憶致シテ居リマス、經費ノ問題デ行クトカ行カナイトカ云フノデハナクシテ只今根本的ニ研究考慮シテ居ルノデアリマス、勿論無關心デ居ル譯デハアリマセヌガ、未ダ當局ト致シマシテハ必ズ代表ヲ出スト云フコトニ決定ハ致シテ居ラヌノデアリマス、ソレカラ第二ノ御尋ハ次ノ會議ヲ日本で開催カドウカ、若シ開クトスレバ何處デ、ドウ云フ規模デヤルノデアるかト云フ御尋デアリマスルガ、此點ニ付キマシテモ實ハマダ決定致シテ居リマセヌ、民間ニ於キマシテハ、日本デヤル方デ好イト云フヤウナ御希望モ多數アルヤウニハ考ヘテ居リマスケレドモ、併ナガラ政府ト致シマシテハ此點モ慎重ニ考慮致シテ居ルノデアリマシテ、只今ノ所ハ日本デヤルト云フコトヲ決定致シテ居リマセヌカラ、隨テドウ云フ規模デヤルトカ、

又ドウ云フ場所デヤルトカ云フ風ナコトニ付テモ、發表シテ御答申上ゲル程度ニ至ッテ居ラヌノデアリマス

○長野委員 一寸私ノ今申上ゲタコトヲ御聽達ヒノヤウデアリマスカラ、御訂正願ッテ置クノデスガ、經費ノ點ト云フノハ、此「リクリエーション」會議ニ代表ヲ派遣スル件ニ付テノ事デハナイノデアリマス、ソレハ昨日カラ申上ゲテ居ル通り、厚生省ガ商店法ヲ御出シニナルト同時ニ、ソレニ對應シテ商店ノ店員ヲ保護スル、例ヘバ體位ノ向上ヲ圖ルトカ、或ハ精神ノ修養機關ヲ設置スルトカ、肉體的ニモ或ハ精神的ニモ、色々ナ事ヲシナケレバナラスノデハナイカト云フコトヲ申上ゲタ、所ガ經費ガ取ッテナイカラソレハ出來ナイ、併シ必要ハ認メテ居ル、斯ウ云フ御答辯ガアリマシタノデ、此點ヲ私ハ申上ゲタ、此「リクリエーション」會議ノ代表派遣ニハ何等關係ヲ持ッテ居リマセヌ、是ハ「リクリエーション」會議ノ問題ハ直接商店法ノ實施ニ關係ヲ持ッテ居リマセヌガ、間接的ニハ御研究ニナレバナナル程、私ハ必要ナ問題ダト云フ風ニ考ヘテ居リマスカラ、願クハマダ先ノ事デハアリマスガ、出來ルダケ其御準備ヲ以テ、來ルベキ機會ニ日本デ開イテ戴クコトヲ希望致シテ置キマス

○服部委員長 一寸申上ゲテ置キマスガ、

成ベク今日マデニ御質問ニナリマシタ點ハ重複シナイヤウニシテ、サウシテ出來ルダケ早く、本日ニデモ此付託サレテ居ル三案ダケヲ大體ノ質問ヲ打切りタイ、斯ウ云フ氣持デ居リマスカラ、質問者ニ於カレマシテモ、其意ヲ諒サレマシテ、御質問下サルヤウニ特ニ御願致シテ置キマス——馬岡君

○馬岡委員 前ノ質問者ト重複セナイヤウニトノ御話デアリマスガ、或ハ私他ノ委員會ニ出席シテ居ッタヤウナ事情デ、御質問サレタ方ノ一部ヲ聞洩ラシテ居ルカモ知レマセス、幾分重複スルカモ知レマセスカラ豫メ御諒承ヲ願ヒタイ、成ベク他ノ方ノ御問ヒニナツタヤウナ事ハ避ケル積リデアリマス、第一ニ御尋シマスルノハ此商店法案ハ現在ノ世相カラ見テ非常ニ結構ダト思フ、之ハ早く實施ヲ必要トスルト云フ意思ヲ持ッテ居リマスガ、先月末カラノ當局ノ御答辯ヲ斷片的ニ承リマスルト、現在ノ商店ノ營業狀態カラ今少シ無駄ヲ省イテ觀念的ニ時間ノ節約ヲ爲サシメ、節度アル營業ヲ爲サシムル目的デ、或意味ニ於テ餘リ強ク之ヲスルコトハ、當事者ニ於テモ慣レナイ爲ニ、輕イ氣持デ此法案ヲ御施行ニナルヤウナ節モ承ッタノデアリマス、此法律ハ日本ノ國多

年ノ商習慣及ビ其他ノ四圍ノ狀況カラ來テ居リマスル營業狀態ヲ、使用人ノ保護ト時問ノ制限トニ依ッテ統一サレルト云フ風ノ御意思ノヤウニ拜聽スルノデアリマス、然ル所日本ノ商業者ガ他年ノ餘リニモ長ラク習慣ヅケラレタル營業狀態ニ於テ、今直グニ此法律ヲ施行スルナラバ、或ハ商工會議所其他カラ、大體ニ於テ贊成シテ居ル條項スラ、實施ノ後ニ於テハ是ガ改正ヲ稱ヘ、不便ヲ稱ヘルト云フヤウナ處ガアリハシナイカ、私ハ不幸ニシテ實施後ニ於テ、色々ノ點ヲ申來ッテ是ガ改正ヲ望ムノデハナイカト思フ、故ニ此法律ヲ施行スルニ當テハ準備期間ヲ與ヘル方ガ、之ヲ習慣ヅケルト云フ意味ニ於テ、又取締ノ上カラモ、實施ノ上カラモ便利デヤナカラウカト思ヒマス、當局ニ於テハ直チニ之ヲ施行シテモ差支ナイト云フ觀念ヲ御持チニナツテ居ルカドウカ、此點ニ付テ御尋ヲ致シタイ

○山本政府委員 此法案ハ御協賛ヲ願ヒマスレバ、多少ノ準備モ要リマスルカラ、大體ニ於テ本年ノ十月頃カラ施行スル積リデ居リマス、ソレ迄ニハ相當ニ此法案ノ趣旨ガ國民ノ間ニ徹底スルカト考ヘテ居リマス

○馬岡委員 大體半箇年ノ準備期間ヲ御與ヘ下サルト云フ御話デアリマス、洵ニ結構

デハアリマスルガ、此半箇年間ヲ準備期間トスルヨリモ、訓練期間トシテ、此法律ヲ大衆ニ示シテ自治的ニ之ヲ爲サシメルト云フコトガ、却テ此法ノ實施ノ上ニ效果ガアルノデハナカラウカ、若シ實施ノ上ニ幾分ナリトモ改正ノ必要ガアルトスレバ、之ヲ直グニ與ヘテヤルト云フヤウナ意味ニ於テ、一ツノ訓練期間ヲ與ヘテ置イタ方ガ非常ニ

效果ガ多イト考ヘラレル、次ニモウ一ツ御尋シタイノハ此法案ニ依リマス、盛リ場、即チ股賑ナ場所ハ時間ヲ延長サレルヤウニ見受ケルノデアリマス、是ハ結構デアルト思フノデアリマス、併ナガラ市街地ニ於テ考ヘテ見ルト股賑ノ場所ト云フモノハ五%位ニ止ッテ、アトノ九五%ハ省カレル場所デアルト思ヒマス、現在ノ狀況カラ見マスと股賑ナ場所ハ時間ヲ延長スルト致シマスレバ、サナキタニ股賑ナ場所ノ營業人ハ酬イラレルノミナラズ、此法律ヲ施行スル結果、何レモ其股賑ナ場所ヘ轉向シテ行ッテ、他ノ九五%ノ普通ノ場所ニ殘ッタ者ハ、是ガ爲ニ大ナル打撃ヲ受ケルコトニナル、此點ニ付テ當局ハドウ云フ風ニ御考ニナリマスカ

○山本政府委員 只今ノ御質問ハ一應御尤ニ考ヘラレルノデアリマス、股賑ナ場所ニ限ッテ時間ヲ延長スルト云フコトニナルト、自

然其周圍ニ影響ヲ及ボスノデハナイカ、是ハ考ヘナケレバナラスコトデアリマス、併シ股賑ナ場所ヲ直チニ十時デ制限スルト云フコトニナルト——使用人ヲ保護スルト云フ方カラ云ヘバ、ヤハリ一樣ニ時間ヲ制限スル必要ガアルノデアリマスガ、併シ直チニ之ヲ十時ニ限ルト云フコトニ致シマスルト、一般社會人、股賑ノ人ノ集ル多數ノ人達ニ急激ナ不便ヲ與ヘルノデハナイカ、左様ナコトヲ考慮致シマシテ、此例外ヲ認メ

タノデアリマス、併ナガラ其周圍ニ及ボス影響ト云フコトハ、是ハ當然考ヘナケレバナラスコトデアリマスルカラ、成ベク此例外地域ハ限定スルコトニ致シマス、狭クシテ自然其周圍ニ及ボス影響モ少イヤウニ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○馬岡委員 御答辯ニ依リマシテ大體諒承致シタノデアリマスルガ、是ハ限定サレマシテモ、盛場ノ時間ヲ延長スルナラバ、必ズ其限定サレタ區域ノ限界點ニ向ッテ又突進シテ行ッテ、サウシテ區域ヲ擴張スルノハ是ハ當然ダラウト思フ、結局サウスルト必要ニ迫ラレテ區域ノ擴張ガ起ッテ來ルコトニナルカ、サモナケレバ時間ヲ一定スルコトニナラナケレバナナイノデアリマスカラ、最初カラ時間ヲ一定シテ置イタ方ガ事實ノ上

ニ於テ一般ノ大衆ヲ保護スル上ニ、却テ便宜デハナカラウカト私ハ考ヘタノデアリマス

次ニモウ一ツ御尋致シタイノハ此法案ニ依ッテ料理店及ビ飲食店ハ時間ノ延長ヲ許サレテ居ルノデアリマス、時間ノ延長デヤナクテ取締ノ條項カラ省カレテ居ルノデアリマス、然ル所今デハ別ニ此内容ガ分ラナイ關係カラ、サウ云フ聲ヲ聞カナイノデアリマスガ、此法律ヲ實施スルナラバ、必ズ料理飲食店ニ附隨シタ營業者ガ付イテ居ルノデアリマス、時間ガ遅クナッテ來テカラ必要ダカラト云フノデ、又附隨シタ營業者ニ原料ノ取寄セ、其他ノ問題ガ起ッテ來テ、色々ナ除外例ヲ設ケテ欲シイトカ何トカ云フ問題ガ起ッテ來ナイダラウカ、斯ウ云フコトヲ考ヘルノデアリマス、此點ニ對シテハ當局ハ如何ニ御考ニナッテ居ラレマスルカ、御尋致シタイノデアリマス

○山本政府委員 料理店飲食店ハ成程此法律カラ除外サレテ居ルノデアリマスルガ、併シ此營業者ニ對シテハ別ニ警察ノ取締モアリマスルシ、ソレカラ只今御尋ノ此料理店飲食店ニ於キマシテモ、勿論品物ヲ買入レルノデアリマスカラ、ソレガ自然販賣業者ニ影響ヲ及ボスノデハナイカト云フ御尋

デアリマスルケレドモ、恐ラク夜ノ十時ヲ過ギテカラ料理店ニ致シマシテモ、飲食店ニ致シマシテモ、品物ヲ仕入レルト云フヤウナコトハ恐ラクナイノデヤナイデセウカ、營業ハソレ以後ニスルト致シマシテモ、原料ノ仕入等ハ恐ラクソレ迄ニ整ヘテ置クモノト考ヘラレマスノデ、販賣業者ニ及ボス影響ハアルマイト斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○馬岡委員 御尤ナ御話デアリマスルガ、現在ノ日本ノ商人ガ、午後ノ十時カラ原料ヲ仕入レル必要ノナイト云フ程用意ガ出來テ居ルノナラバ、此商店法ノヤウナ問題ガ起ラナイダラウト思ヒマス、必ズ十時以後ニオ客ヲ許ストスルナラバ、料理店飲食店ニ於テハオ客ノ註文ニ依ッテ色々モノガ缺乏シテ來ル、豫想以上ニ或ル品物ガ出ル、現在ノ「レストラン」式ノモノデアルナラバ賣切ノ標示ヲスルト思ヒマスルガ、其他ノ料理營業者ニナリマスルト、兎角オ客本位ニ流レテ、御註文ヲ受ケルナラバ、ヤリタイト云フヤウナ因襲ガアル、殊ニ大都市ハ兎モ角モ田舎ノ市街地ニ於キマシテハ、此傾向ハ非常ニマダ殘ッテ居ルヤウニ見受ケラレルノデアリマス、ソレデ當然遅クナッテカラデモ註文スルト云フコトガ必ズ起ル問題

デハナカラウカ、今ハ氣ガ付カナイデ居ルガ、之ニ直面シテ直グニ出テ來ルノデハナカラウカト心配スルノデアリマス、ナケレバ結構デアリマスガ、必ズ起ルノデハナカラウカト思ハレマスルノデ、御尋致シタノデアリマス

次ニ使用人保護ヲ目的トサレマシタ此法案ニ於テ經費ノ要スル點ハ兎モ角モ、經費ノ要シナイ所謂使用人ノ向上發展ニ關スル問題、又店主ニ今少シ使用人ニ休養ノ時間ヲ與ヘサセルトカ、修養ノ機會ヲ與ヘルトカ、經費ヲ要シナクテモ法文デ取締レバ今少シ保護監督ヲ與ヘラレル事項ガアルカノヤウニ考ヘラレルノデアリマス、此點ニ於テ今少シ此方面ニ重キヲ加ヘテヤルコトガ此商店法ノ立法ノ趣旨カラ考ヘマシテモ宜クハナイカト思フノデアリマスルガ、是レ以上ノ負擔ヲ加ヘルト云フコトハ苦痛デアルト云フ御考カラ御入レニナラナカッタノデスカ、ソレトモ他ノ關係カラ御入レニナラナカッタノデアリマスガ、御尋致シテ置キマス

○山本政府委員 只今御尋ノ點ハ先般來他ノ委員諸君カラモ再々御尋ガアツタ點デアリマシテ、極メテ重大ナ問題ニ觸レテ居ルト思フノデアリマス、併シ此法案ハ御覽ノ

通りニ店員ニ過激ナ勞働ヲサセナイト云フ立前カラ實ハ立案シタモノデアリマシテ、其餘暇ヲ利用シテドウ云フ修養ヲセシメルカト云フ問題ニハ實ハ此法案ト致シテハ觸レテ居ラスノデアリマス、其方面ニ付キマシテハ實ハ此法律ニ依ラズ、政府ト致シマシテハ民間ニ對スル指導方針ニ依ッテ解決シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、之ヲ立法化スルコトハ非常ニ困難ナ事情ガアリマス、工場ナドト違ヒマシテ御承知ノ通り日本ノ商店ハ或ル程度マデ自治組織ニナッテ居リ、外國ニモ類例ノナイ徒弟制度ガ行ハレテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ法制デ以テ一カラ十マデ決メテ行クト云フコトハ、中々困難ナ事情ガアリマス、併ナガラ御趣旨ハ至極御尤デアリマス、當局ニ於テモ其點ヲ決シテ等閑ニ付シテ居ル譯デハナイノデアリマスカラ、民間ニ對スル指導ノ力ニ依ッテ、實ハ御希望ニ副フヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○馬岡委員 御答辯ニ依ッテ能ク分ッタノデアリマスガ、大體ニ於テ當局ノ答辯ハ外國ニ類例ヲ見ナイ本日獨特ノモノデアルト云フコトデアツタノデアリマスガ、私ハ其御答ヲ遺憾トスルノデアリマス、日本獨特デア

シムルコトが日本ノ立法ノ意思デハナイカ
ト考ヘルノデアリマス、併シ是レ以上ハ議
論ニナリマスカラ申上げマセス

次ニ第四條ノ六十日ノ期間ノ問題デアリ
マス、色々他ノ委員諸君カラモ御尋ニナツタ

ノデアリマスガ、私ガ考ヘマスト當局ノ御
説明ノ如ク中元ニ十五日、年末ニ一箇月、
其他緣日其他ノ條件ニ依ッテ十五日、ソレ
依ッテ六十日ト御算定ニナツタ御趣旨ニ付テ

ハ能ク承ツタノデアリマスガ、實際人家ノ櫛
比シテ居ル市街地ノミニ施行サレル法律ト
シテ、又閉鎖ノ時間ハ午後十時トナツテ居リ
マスガ、閉鎖ノ條件トシテ定義ハ店ヲ閉メ
ル時デアルカ營業シナイ時デアルカ、確タ
ル定義ヲ承ツテ居リマセスガ、私ノ御尋ハ、
是ハ杞憂ニ過ギルカ分リマセスガ、衛生的

ニ考ヘマシテ夏ノ最モ暑イ時、午後ノ十時
ト申シマス時間ハ左程ニ遅クハナイ、午後
ノ十時デハマダ宵ノロデアアル、一般ノ人ガ
通行シ、外ニ散歩スル時刻デアツテ却テ是デ

ハ困ル、殆ド此六十日ハ夏ノ期間ニ取ラレ
テシマツテ、年末トカ特殊ノ條件ノ地域的ノ
問題ニハヨリ以上ヲ必要トスルコトガ起ッ
テ來ルノデハナカラウカ、斯様ニ考ヘマス、
修養ヲ與ヘルト致シマシテモ午後ノ十時
ニ店ヲ閉メタノデハ、マダ寢ラレナイト云

フ狀況デ飛出スヤウナ者ガ出來テ來ルノデ
アリマシテ、是ハモウ少シ日ヲ多クスル必
要ハナイモノデアラウカト考ヘルノデアリ
マスガ、此點ハ如何ニ御考ニナリマスカ、
御尋致シタイト思ヒマス

○山本政府委員 六十日ト云フコトヲ決メ
マシタノハ大體ノ標準ハ年末三十日、ソレ
カラ中元十五日ト云フ豫定ヲ致シマシテ、
其他ニ各地方ニ依ッテ御承知ノオ祭又ハオ

祭ニ準ズベキモノ、左様ナモノガアルト云
フコトヲ豫想致シマシテ、大體ニ於テ其以
上ニ十五日ヲ加ヘタ譯デアリマス、先ヅ只
今ノ程度デハ六十日ノ例外ヲ認メテ置ケ
バ、ソレデ大體日本ノ慣行ニ符合スルノデ
ハアルマイカ、斯様ニ考ヘテ立案シタヤウ

ナ次第デアリマス
○馬岡委員 大體分リマシタガ、一寸意見
ノ相違スル點ガアルノデ申上げタイノデア
リマス、次ニ第五條ニ於テ少クトモ月一回

トナツテ居ルノデアリマスカラ、是レ以上與
ヘルコトハ敢テ差支ナイ問題デアリマスガ、
店員保護ノ上カラ申シマスルト、少クトモ
二回ト云フコトニ決メルコトガ當然デナカ
ラウカト思ヒマス、如何ニ個人的小營業者
ト致シマシテモ、使用人ニ與ヘル休養ハ月
二回以上ヲ與ヘナケレバ、實際保護ノ上カ

ラ立法サレタ意思ニ合ハナイノデハナイ
カ、斯ウ考ヘルノデアリマス、是ハ一回ト
決メラレマシタノハ何カ理由ガアリマスル
カ、或他ノ方カラ御尋ニナツテ居ルカモ
知レマセスガ、一寸御尋シタイ

○山本政府委員 本法ノ立案ノ趣旨カラ申
シマスレバ、一日ヨリ二日ノ方ヲ希望スル
ノデアリマス、又現在民間ニ於テ自治的ニ
自發的ニ二日ト云フ決リノ所ガ隨分アリマ

ス、理髮業ノ如キハ殆ド全國ニ互ッテ月二日
ノ公休日ヲ設ケテ居ルヤウデアリマス、其
外商店ノ種類ニ依リマシテハ、二日位ノ公
休日ヲ認メテ居ルノモ段々アルヤウデアリ
マスケレドモ、併ナガラ法律ハ全國總テノ
業者ニ適用サレルト云フコトニナリマスル

ノデ、總テノ營業ニ互ッテ業態ヲ調ベテ見
マスルト、隨分區々難多ニ互ッテ居リマス
ルノデ、先ヅ全國ニ厲行セシムルト云フ立
前カラ言ヘバ、一回以上ヲ直チニ註文スル

ト云フコトハ無理デハアルマイカ、斯様ニ
考ヘテ實ハ此規定ヲ設ケタ譯デアリマス、
併ナガラ此法律ノ趣旨ガ追々徹底致シマシ
テ、一般民間ニ於テ二日或ハ三日ノ公休日
ヲ設ケルト云フヤウナ機運ニナリマスレ
バ、自ラ法律ハ改正セラレル時機ガアラウ
ト思フノデアリマス、只今ノ程度デハ是以

上ハ無理カト考ヘテ立案致シマシタ

○馬岡委員 能ク諒承致シマシタガ、第八
條カラ見マスルト、少年及ビ女子ニハ月二
回ト規定サレテ居ルノデアリマス、五十人
以上ヲ使用スルモノハ十六歳未滿及ビ女子

ガ保護サレル、其他ノモノハ女子ト少年ハ
一回シカ與ヘラレナイト云フコトニナリマ
スト、此間ニ相剋摩擦ト言ヒマスガ、所謂
怨嗟ノ聲ト申シマスルカ、小サナ商店トシ

テモ必ズ女子ヤ少年ノ使用人ハアルノデア
リマス、是等ガ見マス時ニ、却テ此法案ニ
不平ノ聲ヲ出サセルコトニナル結果ニナル
ノデハナイカ、斯様ニ考ヘマスル爲ニ、故
ラニ私ハ此御尋ヲ致スノデアリマス、願ク

バ是ハ一日モ早ク少々無理デアルト致シマ
シテモ、現在少クトモ今使用スル位置ニ立
ツモノナラバ、ソレヲ修養サセ休養セシム
ルノガ當然ノ義務ト考ヘマス爲ニ、月ニ二

三回與ヘテ當然デナイカト考ヘルノデアリ
マス、是ハ出來ルナラバ一回ヲ少シ殖ヤシ
テ二回ニナサランコトノ希望ヲ持ッテ居リ
マス、次ニ第六條ノ第四項ニ掲ゲマスモノ
デ、「主務大臣ガ指定スル場所」ト言ハレル
場所ハ、如何ナル場所ヲ指定スル御意思デ
アリマスカ、御腹案ガアリマスレバ御伺シ
タイ

○成田政府委員 第六條ノ第一項第四號ノ

御説明ヲ願ヒタイ

「主務大臣ノ指定スル場所」ト云フ意味ノ御

○成田政府委員 是ハ別段特ニ除外シタ理

質問デアリマシタ、現在考ヘテ居リマスノ

由ト云フ風ニ御解釋ニナリマスト可笑シイ

ハ、是モ實際ヲ調べテ見マセヌト、果シテ

ノデスガ、國、道府縣、市町村ナドニ付キ

必ズ指定スルカドウカ分リマセヌガ、魚ノ

マシテ罰則ヲ適用シナイノハ、是ハ原則デ

卸賣市場ガアリマス、其外ニ漁業組合等デ

アリマス、ソレカラ又店舗管理人ハ、國ナ

魚ノ共同販賣ヲヤツテ居ルヤウナ所モアリ

リ公共團體デ斯ウ云フ販賣ヲヤツテ居リマ

マス、斯ウ云フ場所デハ時間ノ如何ニ拘ラ

ス場合ニハ、別段ニ管理人ヲ設ケマセヌデ

ズ、魚ノ水揚げアリマシタ場合ニ、直グニ

モ、自ラ中ノ組織ニ依リマシテ責任者ガ明

魚ヲ賣ルト云フコトニナリマセヌト困リマ

ニナルノデアリマスカラ、店舗管理人ニ關

スノデ、サウ云フ場所デ魚ヲ賣ル店舗ニ付

スル規定ヲ斯ウ云フ場合ニハ適用シナイ、

テハ、此主務大臣ノ指定ニ依ッテ時間外ト雖

又罰則ヲ適用シナイコトハ一般ノ原則デア

モ——時間外ト言フト語弊ガアリマスガ、

リマス、工場法ニ於キマシテモ是ト同趣旨

閉店時間ヲ適用シナイコトニシナケレバナ

ノ規定ガ置イデゴザイマス

ラス場所ガアルト存ジマス、尙ホ將來ニ付

○馬岡委員 工場法ニ置カレル趣旨ト是ト

キマシテハ飛行機ノ發着所トカ色々新シイ

ハ一寸意味ガ變ルカノヤウニ考ヘルノデア

事態ガ發生スルカモ知レマセヌ、現在吾々

リマス、又社會事業法案ノ罰則モアリ、又其

ノ豫想シテ居リマスノハ、魚ノ卸賣市場或

罰則條例トシテ工場法其他ノモノヲ御出シ

ハ共同販賣所、斯様ナモノヲ考ヘテ居ル次

ニナツテ居ラレタノデアリマスガ、社會事業

第デアリマス

方面カラ考ヘマシテモ、工場法ト自ラ性質

○馬岡委員 能ク分リマシタ、次ニ第十七

ノ變タモノデアルカノヤウニ考ヘラレマ

條ノ後段ニアリマス但書ノ以下「國、道

スシ、又動トモ致シマスルト地方ニ於キマ

府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノニ付

シテハ斯ウ云フ方ガヤラレマスル時ニ無理

テハ店舗管理人ニ關スル規定及罰則ハ此ノ

ナ事ガ大イニアツテ、ソレガ爲ニ時間的或ハ

限ニ在ラズ」トシテ除外サレテ居ルノハ、

場所的ニ色々ナ問題ガ起ツタコトヲ耳ニ致

ドウ云フ意思ガ含マレテ居ルノデアルカ、

スノデアリマス、爲ニ斯ウ云フコトハ原則

ハ如何カ存ジマセヌガ、通有性ノ觀念カラ

考ヘマスルナラバ、乞フ隄ヨリ始メヨト云フ

コトガアリマス、自ラ正シテ初メテ人ヲ強

フルコトガ正シカラウト思ハレマス、私ハ

事實無イ問題デアリト考ヘマスルガ爲ニ、

是ハ罰則ノ上ニ示シテ置ク方ガ、他ヲ強フ

ルニ宜クハナイカト考ヘマシテ御尋シタノ

デアリマス、併シ是以上ハ議論ニ互リマス

カラ申上ゲマセヌ

最後ニ希望ヲ申上ゲタイノデアリマス、

此問題ニハ隨分地方行政廳ノ認可、許可ガ

多イノデアリマス、併シ在來カラ考ヘマス

ト、才役所ノ仕事ト云フモノハ非常ニ時間

ガ掛ルノデアリマス、殊ニ相手ハ商人デア

リマス、前垂掛ノ人間デアリマス、之ヲ此

認可、許可ガ與ヘラレ得ル時間ノ遲速ガ此

法ノ生死ニナリ、又怨嗟ノ聲ヲ聞クト聞カ

ザルトニナル、最モ效果ノ現レマスノハ此

認可許可ノ速イコトヲ望ムモノデアラウト

思ヒマス、此點ニ付テハ特ニ御留意ヲ願ヒ

タイ、又出來ルナラバ命令其他ニ於テ定メ

ラレル場合ニ於テ特ニ御考慮ヲ願ヒタイ、

特ニ此希望ヲ添ヘマシテ私ノ質問ヲ打切り

マス

○服部委員長 坂本君

○坂本委員 工場ニ工場法ガアリマスヤウ

ニ、商店ニ商店法ガアリマスコトハ當然ナ

コトデアリマシテ、既ニ此法ノ制定ガ遅キ

ノ感ヲ深ク致シテ居ル者デアリマスガ、幸

ニ今回茲ニ御提出ニナリマシタコトハ、洵

ニ社會政策ノ上カラ考ヘマシテモ結構ナコ

トト存ジマス、併ナガラ他ノ委員ノ方々ノ

御意見ノ中ニゴザイマシタ通り、此内容ヲ

拜見致シマス時ニ、極メテ内容ノ薄弱ナコ

トニ實ハ一驚ヲ致シタノデアリマス、併ナ

ガラ無キヨリモ優ルノデアリマシテ、順次

御質問ヲ申上ゲタイト存ジマス

此第一條デアリマスガ、第一條ハ總テニ

適用ヲ致シマシテ、人員ニ定ムル所ガナイ

ヤウデアリマスガ、是ハ此第七條ト照シ合

セマシテ、第七條ハ五十人以上ト云フコト

ニナツテ居リマスノデ、此取締ガ取締ラレ

ル側カラ考ヘマス、所謂中小ノ極メテ小

サイ商店ニ對シマシテ取締ガ嚴デアツテ、大

キナ店ニ對シマシテハ取締ガ緩デアルト云

フヤウニ感ゼラレルノデアリマスガ、是等

ノ點ハ政府ノ御考ハドウデアリマスカ

時間ガナイヤウデアリマスカラ續イテ質

問ヲ申上ゲマス、此第一條ノ人員ニ制定ガ

ナイノデアリマスケレドモ、是ハ最低ノ人

員ヲ定ムルコトガ私ノ考ト致シマシテハ

宜イカト思フノデアリマシテ、即チ僅カ家

族ガ三人カ五人位デヤツテ居ルト云フヤウ
ナ商店モアルノデアリマス、殊ニ理髮業等
ハ多クソシナ程度ガアルノデアリマスガ、
サウ云フ店ハ全ク主従ノ關係等ガ非常ニ厚
イノデアリマシテ、又雇人デアリマシテモ
全ク家ノ子供ノ如クニ面倒ヲ見ルト云フヤ
ウナ、良イ習慣ガ日本ニハ特ニアルノデア
リマス、サウ云フノヲ一律ニ取締ルト云
フヤウナコトガ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、
是等ヲ一ツ最低ノ人員ヲ或ハ五人トカ十人
トカ定メルト云フコトガ宜シイカト思フノ
デアリマス、殊ニ此七條ヲ考ヘマス時ニハ左様
ニ思フノデアリマス、七條ノ方ニ於キマシテハ、
五十人以上ノ店員ヲ用ヒテ居リマスモノハ十
六歳未満ノ者、其他女子ヲシテ一日ニ十一
時間ヲ超エテハナラスト云フコトニナツテ居
リマスシ、又休日モ二日ヲ與ヘテ居ルト云
フコトデアリマスガ、一方ニ於キマシテハ
ソレトハ甚ダ待遇モ變ッテ居ルノデアリマ
ス、コンナ意味カラ、此第一條ノ人員ニ付
キマシテハ最低人員ヲ定メテ戴クコトガ宜
イカト存ジマス

ソレカラ第四條デアリマスガ、一年ヲ
通ジテ六十日以内ト云フコトガアリマス、
尙ホソレニ又ハ前條ノ時刻ヲ繰延ブルコ
トヲ得ルト云フノデアリマスガ、此繰延

ブルト云フコトニ付キマシテハ、ドノ位
繰延ベルノデアリマスカ、又適用セズト
云フノハ全然適用シナイノデアリマスカ、
此點ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス
ソレカラ第五條デアリマス、第五條ニ付
キマシテハ先刻質問セラレタ方ガアリマス
ガ、是ハヤハリ小商店ト雖モ、月ニ一回デ
ナク二回ハ必ズ與ヘテ戴ク、斯ウ云フ風ニ
願ヒタイ、最早五十人以上使ヒマス店ハ無
論大キイノデアリマスガ、二三十人デモ商
店デゴザイマス、工場ト違ヒマシテ相當
大キナ店舗デゴザイマス、最近ノ商店ノ活
動ト云フモノハ非常ナモノデアリマシテ、
百貨店等ハ殊ニサウデアリマスガ、問屋等
ヘ参リマシテモ、午前中ノ仕入時間等ハ全
ク戰爭ノヤウナ状態デアリマシテ、工場ノ
ソレ等ニ比シマシテ決シテ劣ルモノデハナ
イ、非常ニ忙シイノデアリマス、先ヅ午前
八時頃カラ行ッテ御覽ニナリマス分リマ
スガ、其處ニ小賣屋ガ参リマシテ、其小賣
業者ニ品物ヲ賣付ケル、仕入レル、ソレ等
ノ間ノ雜沓ト云フモノハ全ク戰爭ノヤウナ
状態デアリマス、吳服商ニ於キマシテモア
ノ青物市場ノヤウナ状態デアリマシテ、實
ニ目マグルシイ程ノ忙シサデアリマス、午
後ニ於キマシテハ、ソレ等ヲ販賣スルト云

フヤウナコトデ、實際ニ寧ロ工場以上ノ忙
シサト思フノデアリマス、尤モ商人ハ非常
ナ機微ヲ要シマスノデ商機ヲ逸スル、流行ノ
織物等ニ付キマシテハ最モ激シイノデアリ
マスカラ非常ニ迅速ヲ貴ブノデアリマス、
斯ウ云フ意味カラ致シマシテ、工場ニ勸メ
テ居リマス方々ガ非常ナル疲勞ヲナシ又慰
安ガ不足デアルト申シマスケレドモ、商店
ニ於キマシテモ今日ハ決シテ劣ラナイノデ
アリマス、從來ノ商店ハ左様デアリマセス
ケレドモ、コ、四、五年來ノ商店ノ取引ノ狀
態ト云フモノハ非常ニ殷賑ヲ極メ、多忙ヲ極
メテ居ルノデゴザイマス、斯ウ云フ際デアリ
マシテ、本法ノ精神ガ店員ノ優遇ト云フコ
トデアルト致シマシタナラバ今少シク此處
ニ思ヒヲ致シテ戴キタイ、斯様ニ考ヘマシテ
第五條ノ如キニ於キマシテモ必ズ二回以上
ト云フコトヲ御設定ヲ願ヒタイト存ジマス
次ハ第七條デアリマスガ、是ハ先程鈴木
氏カラ質問ガアリマシタノデスガ、私ハ工
場經營ノ經驗カラ致シマシテ感じテ居リマ
スガ、時間ニ餘裕ガアリマスドウシテモ
其時間ヲ如何ニ善用スルカト云フコトガ最
モ工場經營者ト致シマシテ重大ナル點デア
リマス、是ガ所管省、殊ニ縣ナドニアリマシ
テモ、工場課ト云フヤウナ取締ノ所謂工場

監督官ノ方々ガ唯反則ヲ摘發スルト云フコ
トニノミ汲々ト致シマシテ、週ッテ勞働能率ノ
如何ニシテ擧ガルカト云フヤウナコトヲ深
ク研究セラレナイ、唯時間ヲ適用セヨトカ、
斯克セヨトカ、或ハ福利施設ヲ完全ニセヨ
トカ云フ形式ノコトニノミ囚ハレテ摘發是
レ事トシテ居ルト云フヤウナコトデアリマ
シテ、精神的ニ職工ノ精神ノ向上ト云フヤ
ウナコト、勞働ノ貴重ナルコト、又服從ノ
義務ノ貴重ナルコトト云フヤウナコトヲ心
カラ自覺セシムルヤウナ、サウ云フ修養
方面ニ於テノ指導ハ更ニ爲サラナイ、斯
ウ云フコトガ缺ケテ居ルノデアリマシテ、
ソレ等カラ見マストヤハリ本案モ教養ニ付
キマシテハ、法ノ制定ニ依ッテ之ヲ如何
トモスルコトガ出來ナイト云フ御説明
デアリマシタケレドモ、ソレ等ガ洵ニ私
ハ遺憾ト思フ、寧ロ將來ハイカスト致シマ
シテモ、當分ニ於キマシテハヤハリ經營者
ト致シマシテソコマデ思ヒヲ致サナイ者モ
アリマスカラ、是ハ強制的ニ教育其他ニ付
キマシテモ制定ヲセラレルコトガ必要ダト
思フノデアリマス、産業ノ擴充ト申シマシ
テモ、是ハヤハリ形式ダケデハ駄目ナノデ
アリマシテ、所謂工場ニ働イテ居リマスル
従業員ハ勿論、其工場經營者ノ精神的ノ自

從業員ハ勿論、其工場經營者ノ精神的ノ自

覺ガナケレバ駄目ナノデアリマス、サウ云フ方面ニ於キマシテヤハリ政府ハ指導者ノ立場デアリマスカラ、是等ヲ十分ニ法的ニ取締ッテ、何等カ其處ニ一ツノ具體的ノ指導方策ヲ御立テニナルコトガ、最モ必要ダト思フ、是等ハ法律ヲ以テ云々ト云フ御意見ガアリマシタガ、成程將來ハサウト思ヒマスケレドモ、現在ニ於キマシテハヤハリ此法ノ力ヲ以テ、ソレヲ經營者ニ迫リ、又從業者ニソレヲ強要スルト云フコトガ、必要ダト思フノデアリマス、ソレデ何トカ此點ニ付キマシテモ、剩ス時間ヲソレ等ニ當テルヤウニ御考慮ヒタイ、是ハ希望デゴザイマス

ソレカラ第八條デアリマスガ、此第八條ノ第二項ニ「業務ノ繁忙ナル時期其ノ他臨時必要アル場合ニ於テ店主行政官廳ノ許可ヲ受ケタルトキハ前項ノ休日ヲ一回ト爲スコトヲ得」トアリマスケレドモ、是モヤハリ拙イト思フノデアリマス、是ハヤハリ店主ノ方ノ考ト致シマス、成ベク二回ヨリ一回ヲ希望スル者ガアルカモ知レマセス、サウ云フ方ガアルカト思フ、工場ナドデハ中々アルノデス、デスカラ之ヲ必ズ二回デナケレバナラスト云フコトヲ、工場法ノ方デハ規定サレテ居ル、ヤハリ商店ナドニ於

キマシテモ左様デアリマス、ドウシテモ二回ハ休マセロ、ソレハ茲ニ例ヘバ今日ハ賣出シヲスルカラ明日休ミタイ、或ハ明後日休ミタイト云フ場合モアルデアリマセウ、サウ云フ時ニハ一日ヤ二日ヲ繰延ベルト云フコトハ、ヤハリ工場法ニ於キマシテモ、ソコニ融通ガ出來ルノデアリマスガ、ソレト同ジ程度ノモノハ御許ヲ願ヘルトシマシテモ、月ニ一回ト云フコトハ是ハ拙イト思フ、是等ハ恐ラク工場ト商店トデハ、工場ハ非常ニ疲勞ノ程度ガ多イ、又商店ハソレニ反スル、ソレヨリ遠イト云フヤウナ御考カラス様ニ御立法爲サツクト思ヒマスケレドモ、ソレガ當局ノ見解ガ間違ッテ居ルト思フ、繰返シテ申シマスガ、商店ノ忙シサト云フモノハ、今日ハ中々ソナモノデハナイ、非常ニ多忙ヲ極メテ居リマスカラ、ヤハリ使ハレマス者ノ疲勞ノ程度ハ工場ト何等差ハナイ、工場ハ殆ド同ジ仕事ヲ毎日ヤッテ居ル、デアリマスカラ疲勞ノ程度ガ少イノデアリマスガ、商店ノ方ハ有ユル仕事ヲ致サナケレバナラ

ス、隨ヒマシテ非常ニ疲勞ガ早イノデアリマス、サウ云フ見地カラ致シマス、ヤハリ此休日等ニ於キマシテモ、本法ノ元來ノ精神カラ行キマシテ、必ズ二回ト云フコトヲ是非御決メヲ願ヒタイ、隨ヒマシテ「一

回ト爲スコトヲ得」ト云フコトヲ、削除シテ戴キタイト思フ、大體私ノ質問申上ダタイコトハ以上デゴザイマス

○山本政府委員 順序ハ少シ違フカモ知レマセスガ、大體只今御尋ニナリマシタコトヲ、逐條のニ御答ヲ致シマス、第二問カラ先ニ御答申上ゲルノデアリマスガ、第二問トシテ、人員ヲ定メタラドウカ、本法ハ人員ノ定メガナイ、隨テ二人三人ヲ雇入レテ、ソレデ以テ全然家族的ニヤッテ居ル店舗ニモ適用ガアルコトニナル、ソレガ却テ弊害ガアルト云フ御意見デアリマシタガ、成程御説ノ通りニ二人三人ヲ使用シテ居ルヤウナ店主ニ於キマシテハ、多クノ場合温情主義デヤッテ居ルデアリマセウ、デアリマスカラ、サウ云フ店ニハ本法適用ノ實益ハ無イ譯デアリマスケレドモ、御承知ノ通りニ是ハ決シテ午後十時ヨリ早く閉メテハイケナイト云フノデハナイノデアリマシテ、遅クトモ午後十時ト云フコトニ制限シテ居ルノデアリマスカラ、温情主義デ以テソレ以上ノ休暇時間ヲ與ヘ、休憩時間ヲ與ヘルト云フヤウナ店舗ニハ、別段影響ハ無イ譯デアリマスカラ、本法ガ制定セラレタガ爲ニ、却テ優遇サレテ居ル店員ニ對シテ惡影響ヲ及ボスト云フコトハアルマイト考ヘルノデア

リマス、左様ナ見解カラ、店員ノ定數ニ付テハ規定ヲ設ケナカッタ譯デアリマス

ソレカラ第一問トシテ第一條ニハ總テノ店舗ニ適用スルト云フ立前ニナッテ居ルガ、第七條ニ至ッテ五十人以上ノ使用人ヲ使用スル店ニハ別ノ規定ガ設ケラレテ居ル、五十人以上ト未滿トニ區別シテ、取締ニ寬嚴ノ差ヲ設ケルノハ、不都合デアルト云フヤウナ趣旨ノ御尋デアツクヤウニ思フノデアリマスガ、決シテ取締ニ寬嚴ノ差別ヲ設ケテ居ルノデアリマセス、多數ノ使用人ヲ使ッテ居ル店舗ニ於キマシテハ、自然業務ガ緊張シテ、繁忙ノ程度モ自然劇務ニ互ル、斯ウ云フ見解カラ、先ヅ工場法等モ參酌致シマシテ、多數ノ使用人ヲ使ッテ居ル店舗ニ於キマシテハ、自然工場ニ近イヤウナ狀態ガ現レマスカラ、左様ナ見解カラ就業時間ニ付テノ差別ヲ設ケタノデアリマスケレドモ、取締ト云フ上ニ於キマシテハ、決シテ寬嚴ノ差別ヲ設ケテ居ルノデハナイノデアリマス

ソレカラ次ニ第四條ニ付テ、前二條ノ規定ヲ適用シナイ、又時間ヲ繰延ベルト云フコトニナッテ居ルガ、一體是ハドウ云フ標準カト云フ御尋デアリマシタ、是ハ條文ニモ現レテ居リマス通りニ、業務ガ繁忙ナル時

期ニ付テ行政官廳が必要ト認メタ時ニ、期間ト地域トヲ限リマシテ規定ヲ適用シナイ場合ト、時間ヲ繰延ベル場合トガアルノ

デアリマス、是ハ總テ行政官廳ニ一任シテ居リマスノデ、必要ノ程度ノ認定竝ニ其認定ニ基イテ適用不適用、又繰延時間ノ延長ノ程度、是等ハ總テ行政官廳ニ一任シテ居ル譯デアリマス、即チ行政官廳が必要ノ程度ニ應ジテ本法ヲ適用スルノデアリマシテ、法文自體トシテハ何時間延長スルトカ、又如何ナル場合ニ適用シナイトカ云フコトハ、是レ以上何モノモ要求シテ居ラス譯デアリマス

ソレカラ第五條ハ、是ハ再々他ノ委員諸君カラモ御尋ガアリマシタガ、成程一日ノ休日ヨリモ、二日間ノ休日ト云フコトナリマスレバ、本法ノ目的ヲ達成スル上ニ於テ效果ガ多イコト、考ヘマス、併ナガラ先刻モ御答申上ゲマシタ通り、全國的ニ適用セラレル法律ト致シマシテハ、有ユル業態モ考慮ノ中ニ置カナケレバナリマセス、併ナガラ一日ノ休日デハ足リナイト云フ風ナ繁忙ナ業務——先刻御引例ニナリマシタヤウナ繁忙ナ業務ニ付キマシテハ、是ハ全國的ニ履行セラレル法律ヲ離レテ、別ノ指導方法ヲ以テ臨マナケレバナライノデハナ

イカ、斯様ニ考ヘマシテ、先ヅ法律ト致シマシテハ、一回ノ休日ト云フコトニ制定致シタヤウナ次第デアリマス

ソレカラ第七條ノ場合ノ如キハ苛察ナ取締ラスルノデハナイカ、ソレガ爲ニ營業ノ上ニ惡影響ヲ及ボスヤウナコトハ無イカト云フ御尋ガゴザイマシタガ、是ハ最初ニ御答申上ゲマシタ通り、別ニ五十人以上使ッテ居ル店舗ニ限ッテ苛察ナ取締ラスルト云フ風ナ、法律ノ要求デハナイノデアリマス、自然取締ノ任ニ當ル者ガ法ノ趣旨ヲ誤ッデ、左様ナコトニハナライカト云フコトノ御懸念モアリマシタガ、サウ云フコトニナライヤウニ、政府ハ注意ラスル積リデ居リマス

ソレカラ使用人ノ教養ニ付キマシテハ他ノ委員諸君カラモ再々御質問ガアッテ御答申上ゲタノデアリマスルガ、使用人ノ教養ト云フコトハ洵ニ大切な問題デアリマス、是非ソレヲ立法化シナクテハナライデヤナイカト云フヤウナ御意見デアッタヤウニ承リマシタガ、固ヨリ適切ナ立法デ店員教養ノ目的ヲ達スルコトガ出來マスレバ至極結構ナコトデアリマス、趣旨ニ於キマシテハ政府ハ全ク御同感デアリマス、併ナガラ先刻來申上ゲマスル通りニ、現在ノ日本ノ

店舗ノ組織カラ考ヘマシテ、直チニ法律デ以テ之ヲ一律ニ律スルト云フコトハ如何ナモノデアラウカ、目的ハ勿論御賛成申上ゲルコトデアリマスルガ、併ナガラ其方法ト致シマシテ、法律ニ依ルト云フコトニ付キマシテハ大イニ考慮スル餘地ガアラウト思ヒマス、結局法律ニ依ラスシテ自發的ニ目的ヲ達セラレルヤウニ指導スルコトガ適切デアアルマイカト考ヘテ居ル次第デアリマス

ソレカラ第八條ニ付キマシテ休日ヲ一回ニスルト云フ例外ヲ設ケズニ、一律ニ二日ト云フコトニスレバ、宜イデハナイカ、店主ノ希望ニ依ッテ二日ノ休日ヲ一日ニスルコトガ出來ルト云フ餘地ガ殘サレテ居ルデハナイト云フコトノ御意見デアッタヤウニ承リマシタ、成程條文ニハサウ云フ風ニ現レテ居リマス、併ナガラ是ハ決シテ店主ノ希望ニ依ッテ左右セラレルノデハナイノデアリマス、第一ノ條件ト致シマシテハ、「業務ノ繁忙ナル時期其ノ他臨時必要アル場合」ト申シマスルノハ、一例ヲ申上ゲマスルト、凱旋ノヤウナ場合、サウ云フ場合ヲ豫想シテ居ルノデアリマス、決シテ店主ノ希望、意見ト云フヤウナ主觀的ノ事實デ決定セラレルノデハナイノデアリマス、

業務ノ繁忙デアルトカ、或ハ臨時必要ナル場合ト申上ゲマスルノハ、客觀的ノ事實ガアッテ二日ノ休日デハ不都合ヲ來スト云フコトノ狀況ヲ現ハシテ居ルノデアリマス、左様ナ狀況ノ到來シタ時ニ、行政官廳ノ許可ヲ受ケテ、サウシテ二日ヲ一日ニ制限スルト云フノデアリマスルカラ、決シテ業務ノ關係ダトカ又店主ノ希望ダトカ云フ風ナ、唯店ノ考ダケ、店ノ希望ダケハ動カスコトノ出來ナイヤウニナッテ居リマスカラ、恐

ラク御心配ノヤウナコトハ實際ニ於テハアルマイカト考ヘテ居リマス、恐ラク此條文ガアリマシテモ、左様ナ場合ノ實際問題トシテ此法律ノ第二項ノ動クコトハ極メテ稀デアラウト思フノデアリマス、之ヲ濫用シテ二日ノ休日ヲ一日ニ縮メラレルト云フガ如キコトハ恐ラク心配ニハ及バナイノデハナイカト斯様ニ考ヘテ居リマス、大體ソレダケデ御答出來タト思ヒマスガ、尙ホ不足ガアリマスレバ重ネテ御尋ヲ願ヒタイト思ヒマス

○坂本委員 大體ニ了解ヲ致シマシタガ、尙ホ一條ノ、家族的ニ取扱フ、サウ云フ場合ニハ、早ク休マセルト云フコトハ差支ナイト云フ御話デアリマスガ、勿論サウデアリマスレドモ、長イ場合ガアル、是ハ何

等ソコニ利益ト云フモノハ目的デナクシテ
長イ場合ガアリマスシ、又家族的ニ主從ノ
關係ガ參ッテ居リマス場合ニハ、主人ト共ニ
オ茶ヲ飲ンデ休ムトカ云フヤウナ、自然ニ
ソコニ休憩時間等モ定メラレタ以上與ヘラ
レル場合ガアル、ソシテ風デアリマスカラ
時間等モ或ル場合ニハ長クナル場合モア
ル、ケレドモソレガ爲ニ疲勞ガ多クソレニ
比例シテ來ルト云フヤウナコトハナイト思
フ、サウ云フ關係カラ、澤山使用シテ居ル
店、例ヘバ四五十人使用シテ居ル店トカ百
人使用シテ居ル店ト云フノト三人五人ト云
フ程度ト同ジヤウニト云フコトハ、ドウモ
妥當デナイコトト痛感ヲ致シテ居リマス、
ドウカ之ニ付キマシテハ十分ニ御考慮ヲ願
ヒタイト思ヒマス、先ヅ十人程度カラ適用
スルト云フコトガ宜カラウト思フ、工場法
ニ於キマシテモ最初ハサウデアリマシタ、
然ルニ政府ノ御覽ニナリマス所ハ、寧ロ
商店法ノ方ヨリモ工場法ノ發令セラレ當時
ノ工場法ノ方ガ重ク見テ御居デニナリマシ
タニモ拘ラズ、此第一條ニ付キマシテハ範
圍ガ絕對デアリマシテ、全ク其工場法ヲ
見ルノト商店法ヲ見ルノト御考ガ事實上ニ
於キマシテハ全然反對ニナッテ居リマス、而
シテ此全體ヲ通ジマスト極メテ薄弱ナモノ

デアル、第一條ノ如キハ全體ノ考トハ反對
ニ、全體ニ之ヲ當嵌メルト云フコトデアリ
マスカラ、是ハ一ツ篤ト御考ヘ直シヲ願ヒ
タイ、事實ノ上ニ於キマシテ三人ヤ五人ノ
店ガヤハリ閉店時間ヲ定メラレテ、此法ノ
適用ヲ受ケルト云フコトハ非常ニ困ルコト
ダト思フ、是ハ一ツ是非御考ヘヲ願ハスト、
全ク折角ノ御趣旨ガ寧ロ日本ノ所謂家族制
度ノ美風ヲ覆スコトニナル、斯ウ云フコト
ニモ思ハレルノデアリマス、ソレカラ第四
條デアリマシタガ、地方官廳ニ委任スルト
云フコトデアリマスガ、是ハ總テ委任ナサ
ルノデアリマスカドウデスカ、時間等ハド
レ位……延長スルトカシナイトカ云フノデ
ハナイ、私ノ御尋シタノハ最高限度何時間
ノ延長ガ出來ルカト云フコトヲ御伺致シタ
ノデアリマスガ、其時間ニ付テモ其程度ハ
制限ナク、無限ニ地方官廳ガ委任ヲ受ケル
ノデアリマスカ、之ヲ御尋致シマス
○山本府委員 之ニ付テハ制限ヲ設ケヌ
ト云フコトハ結局十二時迄ト云フコトニナ
ル譯デアリマス、適用セヌ場合ハ問題ハナ
イノデアリマスガ、時刻ヲ繰延べルト云フ
コトニナリマス結局十二時迄ハ繰延べラ
レルコトニナリマス
○坂本委員 私ハ大體以上デ終リマシタ

○服部委員長 ソレデハ大體商店法ニ付キ
マシテハ質問ガ終リマシタカラ、次ノ簡易
生命保險法ノ方ニ移リタイト思ヒマス
○土屋委員 私一寸先達テ質問致シマシタ
コトニ付テ……
○服部委員長 ソレハアナタガ簡易保險ノ
質問ノ最初ニナッテ居リマスカラシテ、簡易
保險ニ入ッテ此間ノ殘ッテ居ルモノヲ御ヤリ
ニナッテ結構デス——土屋君
○土屋委員 簡易保險ノ質問ニ入ル前ニ商
店法ノコトデ私ガ先達テ質問致シテ置キマ
シタコトデ、餘リ簡單ニ質問シマシタカラ、
政府當局ニ於テハ御分リデアラウト思ヒマ
スガ、若シ世間ニ誤解ガアリマスト氣ノ
毒デアリマスカラ、一應此場合念ヲ押シテ
置キタイト思ヒマス、ソレハ私ガ、藥劑師
ガ醫師ノ處方箋ニ依ッテ病人ノ爲ニ藥品ヲ
調合シテ販賣授與スル所ノ藥局ト云フモノ
ハ、商店法ノ支配ヲ受ケマセヌデセウナト
云フ質問ニ對シテ、政府委員カラ左様デア
ルト云フ御答辯ガアリマシタ、藥局ノ本來
ノ性質上無論サウアルベキ筈デアリマスガ、
此處デ斯ウ云フ誤解ガ若シデアリマスト一
寸不審ガ起ルカト思ヒマスカラ、政府モ私
ト同感デアルト云フコトヲ一ツ念ヲ押シテ
置キタイ、ト申シマスノハ現在藥局ノ多數

ハ御承知ノ通り全然藥局ダケガ獨立シテヤッ
テ居ルノデハナクテ、藥局ヲ經營シテ居ル
藥劑師ノ大多數ハ、同時ニ化粧品デアルト
カ小間物デアルトカ、サウ云フモノヲ同ジ
店ノ中デ賣ッテ居リマス、此商店法ニ隨ヘ
バ、是等ノ化粧品ヤ雜貨等ヲ賣ッテ居ル方
ハ、是ハ藥劑師ガ藥劑師トシテヤッテ居ル
ノデナクテ、藥局トシテヤッテ居ルノデアリ
マセヌカラ、此方ハドウシテモ商店法ノ支
配ヲ受ケナケレバナラス、唯藥局ハ商店法
ノ支配ヲ受ケナイ、殊ニ藥局ハ藥劑師法ニ
依ッテ、藥劑師ハ晝夜ヲ分タズ何時タリトモ
患者ノ需メニ應ジテ藥品ノ調合販賣授與ス
ル所ノ責任ヲ負ハサレテ居リマスカラ、藥
局ヲ閉メナケレバナラスト云フコトハアリ
マセヌ、ソレデアリマスカラ私ハ藥局ハ除
カレテ居ルデセウナト云フ質問ヲシ、又政
府モ左様ナ御答辯ガアッタト思ヒマス、ソレ
ヲ若シ藥局ナルガ故ニ同時ニ他ノ化粧品其
他ノ販賣ヲスル方モ店ヲ閉メナイデ、商店
法ノ支配ヲ受ケナイト云フコトニナリマス
ト、同ジ街ノ中ニ色々誤解ガ起ルト思ヒマ
スカラ、其點ハ今申上ゲタ趣旨ト御同感デ
ゴザイマセウナ
○成田府委員 實ハ只今ノ問題ニ付キマ
シテ此間簡單ニ御答シマシタノデ、或ハ誤

解ガ起リハシナイカト云フコトヲ内々心配シテ居タルデアリマス、丁度幸ヒ再ビ御質問ヲ願ヒマシタノデ、結論的ニ申シマス、只今土屋サンノ仰シヤツ通りニ吾々モ心得テ居ルデアリマス、藥局ガ入ルカ入ラナイカ、此藥局ト云フ言葉ガ色々廣ク使ハレ、狭クモ使ハレテ居ルヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、極ク狭イ意味ニ解釋シマシテ、藥劑師ガ需メニ應ジマシテ、醫者ノ處方箋ニ基イテ藥劑ヲ調合スルト云フ場所ダケデアルト云フ風ニ藥局ヲ考ヘマス、其藥局ニハ此商店法ハ適用ハナイ譯デアリマスガ、廣イ意味ニ其藥局デ以テ賣藥モ賣ッテ居ル、化粧品モ賣ッテ居ル、小間物モ賣ッテ居ルト云フコトニ相成リマス、其方面ハ商店法ノ適用ヲ受ケル、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス、今土屋サンノ仰シヤツタコトト同ジコトヲ申上ゲル譯デアリマシタガ、藥局ト申上ゲマシタノハ極ク狭イ意味デ此答辯申上ゲタ次第デアリマス

從ッテ簡易生命保險ノ事業ハ吾々ガ議會デ取扱ッテ居ル法律案ト致シマシテモ非常ニ大切ナモノデアアル、斯ウ考ヘマス、ソレデアリマスカラ私共ハ此發達ニ付テハ早クカラ色々期待シテ居タルデアリマスケレドモ、只今政府カラ御提案ニナリマシタ所ノ改正案ヲ見マス、現行法デハ保險金ノ最高制限額ヲ四百五十圓ニシテアリマスノヲ七百圓ニ引上ゲル、此七百圓ト云フ金額デハ到底今日國民ノ希望ニ副ハナイヤウニ考ヘルノデアリマス、四百五十圓ニ改正サレマシタノハ大正十五年デアリマスケレドモ、其後國民生活ノ狀態ハ段々向上致シテ參ッテ居リマスバカリデナク、殊ニ今日ノ非常時局ニ際シテ國民生活ノ不安ヲ除ク爲ノ中心政策ト致シマシテハ、私ハ洵ニ足ラナイヤウニ考ヘルノデアリマス、現ニ保險院カラ御配付ニナリマシタ資料ヲ見マシテモ、僅カ二十年ノ間ニ國民ノ中ノ三分ノ一以上、即チ二千八百萬人ト云フモノガ此契約ノ加入者ニナッテ、其金額ハ四十一億圓ニナッテ居ル、殆ド民間保險契約ノ二分ノ一ニ近イヤウナ狀態ニナッテ居ルノデアリマス、一方民營保險ノ方デハ段々小額ノ保險契約ガ減ッテ參リマシテ、昭和十一年度ニ於ケル千圓未満ノ新契約ハ、保險金額約四千六百萬圓デアッテ、新契約總

金額二十六億二千萬圓ノ百分ノ二ニ滿タナイノデアリマス、又被保險者ノ員數ハ八万九千人デ、新契約總數ノ百四十二萬人ノ百分ノ六ニ過ギナイノデアリマス、此狀況ヲ見マシテモ、民營保險ト云フモノハ、此小額保險ヲ相手ニシナイデ居ルト云フコト、ソレカラ國民ノ多クハモット高イ保險金額ヲ要求シテ居ルト云フコトガ明デアリマス、斯様ニ此簡易生命保險ガ、躍進的ニ殖エテ行クノヲ見マス、如何ニ此庶民大衆ガ簡易生命保險ニ賴ル所ガ多ク、又其金額ノ増加ヲ要望シ、其増加ハ決シテ此民營保險ニ影響ヲ與ヘナイト云フコトガハッキリシテ居ルモノデアルト、斯様ニ考ヘルノデアリマス、折角政府ガ此時局ニ鑑ミテ、庶民生活ノ不安ヲ除ク爲ニ改正ヲ企テラレタモノガ、ドウモ此要求ヲ滿タスニ足ラナイヤウナコトハ、私共洵ニ不滿ニ堪ヘナイノデアリマシタガ、何故ニ政府ハ之ヲ思ヒ切ッテモット増加スルコトヲサレナイノデアアルカ、セメテ千圓位ト云フナラマダシモ、僅ニ七百圓ト云フ半端ナ金額ニ定メラレタノハドウ云フ譯デアアルカ、之ヲ私ハ伺ヒタイノデアリマス、私ハ本來保險ノ如キ事業ハ、ドウシテモ將來國營ニシテ行クベキモノデアアル、隨テ簡易生命保險ハ少クトモ今日之ヲ改正スルナ

ラバ、二千圓位ニシテモ差支ナイ、サウシテ其爲ニ民營保險ガ餘リ影響ヲ受ケナイデアラウト云フコトハ、民營保險ノ數字ヲ見マシテモ、最近ノ趨勢ヲ見マシテモ、明デアリマスカラ、私ハ此七百圓ト云フ小額ニ制限シタコトノ意味ガドウモ分リマセス、此點ヲ一ツ御説明願ヒタイと思フノデアリマス

○進藤政府委員 只今ノ御質問デゴザイマスルガ、御質問ノ御趣旨ハ、國民ノ生活安定ノ目的カラ言ッテ、簡易保險ノ引上ゲハ原案ヨリモ更ニモウ少シ金額ガ高クナラナケレバイカスデヤナイカ、又左様ニシテモ民間保險ニ影響ハナイ筈デアアル、斯様ナ御質問デゴザイマスルガ、之ニ付キマシテ今ノ御話ノ如ク、國民生活ノ安定ト云フ目的カラ申セバ、保險金額ノ引上ゲハ或ハ七百圓デハ十分デナイカモ知レマセス、併ナガラ政府ト致シマシテノ趣旨ノアル所ヲ一應御答申上ゲタイト存ジマスルガ、元來此國民ノ生命保險ニ對スル需要ニ對シマシテハ、一面民間保險ト、政府ノ簡易保險ト、雙方ニ於テ國民ノ保險目的ヲ滿タシテ居ル、斯ウ云フコトデアリマス、簡易保險ハ民間保險ガ手ノ及バナイ所ヲ國營デ以テ滿タシテ行クト云フコトデアリマス、隨ヒマシテ

民間保險ガ、段々ニ最低金額ガ上ツテ行クト云フコトニナリマス、ソコニ國民ノ要望

ニ對シテ簡易保險ニ於テモ金額ヲ段々上

ゲテ行ク必要ガ出來テ來ルノデアリマスガ、

一番最初ニ簡易保險ガ出來マシタ、二十何

年前ニハ、民間保險ハ大體三百圓位マデ實

際ノ契約ヲ致シテ居ッタノデアリマス、

隨ヒマシテ簡易保險ハ大體三百圓以下

ト云フノデ、二百五十圓ト云フコトニ決メ

タノデアリマス、其後簡易保險ハ、最近マデ

二回ノ引上ゲヲ致シテ居リマスガ、其當時

ハ民間保險ノ金額ガ上ツテ來テ、五百圓程度

ニナッタノデ、今日ノ四百五十圓ト云フコト

ニナッタコトハ御承知ノ通りデアリマス、左

様ナ風ニ致シマシテ、今日デハ民間保險ハ

大體千圓ヲ最低トシテ、千圓以下ハ今仰シ

ヤッタ如ク極メテ少イノデアリマス、段々民

間保險ハ千圓以下ハ、積極的ニハ募集ヲ致

シテ居ラヌト云ツデモ宜イノデアリマス、サ

ウ云フ狀況デアリマシテ、此民間保險ノ十

分ニヤツテ居ナイ部分ノ缺陷ヲ滿タスト云

フ意味カラ申シマシテ、簡易保險ノ引上ゲ

ノ必要ガ起ツタノデアリマス、其程度ニ付キ

マシテハ、只今二千圓トカ或ハ千圓ト云フ

御話ガゴザイマシタガ、民間保險ノ今日ノ

ヤツテ居リマスル金額ハ千圓以上デアリマ

スコトハ御仰セノ通りデアリマスガ、千圓

ト云フ契約ハ民間保險ノ方デ非常ニ澤山ヤツ

テ居リマス、只今ノ件數ノ中デ、千圓未滿

ハ僅ニ六%デアリマスガ、千圓以上ノ中デ、

一千圓ト云フノガ半數以上、過半數ヲ占メ

テ居ルノデアリマス、六十三%トナツテ居リマ

ス、隨ヒマシテ千圓ヲ除イタ、即チ千一圓

以上ノ契約ト云フコトニナリマス極メテ

少イノデアリマス、一千圓ト云フ契約ハ民

間ニ於テ多數致シテ居リマス、サウ云フ譯

デアリマシテ、一千圓ノ保險ハ、今日民營

保險ニテ十分國民ノ要求ニ應ズルコトガ出

來テ居ルノデアリマスカラ、簡易保險ト致

シマシテハ、一千圓ト云フモノハ、國營デ

ヤラナケレバナラスト云フコトハナイト考

ヘマス、隨ヒマシテ問題ハ一千圓未滿デア

リマス、九百九十九圓マデハ簡易保險トシ

テ殘サレテ居ル、斯ウ考ヘテ宜イト思ヒマ

ス、ソレデハ簡易保險ノ今回ノ引上ゲノ最

高限ト致シマシテハ、九百圓、或ハ九百九

十圓ト云フコトニシタラ宜イデハナイカト云

フコトモ言ヘルノデアリマスガ、之ニ付キ

マシテハ要スルニ問題ハ一千圓ノ民間契約

ニ對ルス影響ノ點デアリマシテ、此影響ノ

點ヲ考ヘマシテ、今日ノ所七百圓ガ最モ適

當デアル、斯様ニ考ヘテ簡易保險ノ最高限

度ヲ七百圓ニシタ譯デアリマス

度ヲ七百圓ニシタ譯デアリマス

○土屋委員 民間デハ御承知ノ通り保險ノ

募集ニハ非常ニ金ヲ使ツテ居ル、先ヅ一年分

ノ掛金ヲ募集費ニ其儘使ツテ居ルト云フコ

トガ普通デス、甚シキニ至ツテハ十七、八割

ノ募集費ヲ使ツテ居ル會社モアリマス、私

ハ澤山ノ例ヲ知ツテ居リマスカラ、申シテモ差

支アリマセスケレドモ、ソレ迄ニシテ募集

シテ尙且ツ簡易保險ニ及バナイ、全部ノ會

社ガ一緒ニナツテモ政府ノ募集ニ及バナイ、

政府ノ簡易保險ハ唯職員ガ一巡スルダケデ、

年々斯ウ云フ風ニ躍進的ニ殖エテ行クト云

フコトヲ見マシテモ、庶民階級ガ如何ニ民

間ノ保險會社ヨリモ、政府ノ簡易保險ヲ信

用スルカト云フコトハ明瞭デアル、然ルニ

モ拘ラズ、法律ヲ以テ折角庶民大衆ガ契約ヲ

シヨウト云フノヲ、制限シヨウト云フノハ、

何事デアルカ、私ハ此點ガドウモ社會政策

トシテ不合理デアルト思ヒマス、若シドウ

シテモ七百圓ニ止メタイト云フコトデアレ

バ、一人デ今マデハ七百圓契約シテ居ル、

併シ今年ハ都合好クナツタカラ、モウ七百圓

契約シヨウト云フ場合ハドウデアルカ、現

行法ニ依ルト、同一ノ被保險者ニ付數箇ノ

保險契約ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ保險

金額ノ總額ハ前項ノ制限ニ依ルト云フコト

デ、簡易生命保險法第四條第二項ニ依ツテ、

制限サレテアリマスガ、此第四條第二項ヲ

削除シテ、本人ガ更ニ新シイ契約ヲシヨウ

トスル場合ハ、一箇デモ二箇デモ之ヲ契約

シテヤルノガ至當デハナイカ、之ヲ一人ガ

一箇デナケレバイケナイト云フ制限ヲナサ

ル理由ハ、何處ニアリマスカ、若シ之ヲ削

除シタラドウ云フ弊害ガアリマスカ、此點

ニ付テ承リタイ

○進藤政府委員 只今ノ御質問デゴザイマ

スガ、法律ハ被保險者一人ニ付テ、最高制

限ト云フモノヲ設ケタノデアリマス、其最

高限以内ナラバ契約ハ二ツデモ三ツデモシ

テ宜シイ、現ニ二百五十圓ガ最高限ノ時代

ニ二百五十圓ノ契約ヲシテ居ツテ、ソレガ四

百五十圓ニナレバ、更ニ追加シテ二百圓加

入シ、ソレガ更ニ七百圓ニナレバ、又二百

五十圓追加シテ、三口持テルコトニナルノ

デアリマス、併シ七百圓ト云フ制限ガアツデ、

ソレヲ三口モ四口モ持テバ、最高制限ト云

フコトハ意味ガ無クナルノデアリマシテ、

只今ノ一項二項ノ關係ハ、私ノ申上ゲタヤ

ウナ趣旨ニナツテ居ル次第デアリマス

○服部委員長 只今伊藤サンガ委員外デス

ガ、時間ノ都合ヲ見テ簡單ニ質問ヲサセテ

呉レト云フ希望ガアリマスカラ、此際之ヲ

許スコトニ致シマス

○伊藤東一郎君 事變ヲ繞リマシテ、簡易
保險事業ノ事務ガ多岐多端ニ互ツテ參ッ
デアリマスガ、私ハ其一例ヲ舉ゲマシテ、
政府ノ御所見ヲ承リタイト思フノデアリマ
ス、ソレハ昨年ノ十月頃、戦地ニ居リマス

ル兵隊サンカラ其父兄ノ許ニ是非自分ノ名
義デ簡易生命保險ニ入ッテ置イテ呉レト云
フ依頼ガアツタ、ソコデ親ノ方デハ倅ノ名デ
簡易生命保險ニ入リマシタ、爾來二箇月カ
三箇月保險金ヲ掛ケテ居ッタ、然ルニ二月頃
デアリマスガ、部隊カラ致シマシテ其本人
ガ戦死シタト云フ通知ガアツタ、仍テ其處ニ
問題ガ起ルノハ、斯ウ云フ場合ニ政府トシ
テハドウ云フ御取扱ニ相成ルカ、此一ツノ
事例ヲ舉ゲテ政府ノ御所見ヲ承リタイト思
ヒマス

○藤川政府委員 只今ノ御尋ニ御答申上ゲ
マス、簡易保險ノ契約ヲ致シマス際ニハ、
郵便局員ガ本人ノ方ニ面接致シマスコトガ
規定サレテアルノデアリマスケレドモ、今
回ノ事變ニ伴ヒマシテ支那事變特別取扱規
則ト申スモノヲ制定致シマシテ、出征後三
箇月以内ナラバ内地ニ居ラナイ人ニ付テモ
家族等ガ契約ヲシテモ差支ナイト云フ規則
ヲ作ッタノデアリマス、隨ヒマシテ只今ノ御

話ノコトハ、十月頃デアリマスレバ勿論出

征後三箇月以内ノコトト存ジマスカラ、其
保險契約ハ有效デアリマシテ、二月頃ニ戰
死ナサツタノナラバ保險金全額ヲ御支拂ス
ルコトニ致シテ居リマス

○伊藤東一郎君 モウ一回承リタイ、ソレ
ハ出征ハ早く致シタノデアリマス、昨年ノ
七月カ八月ノコトト思ヒマス、サウシテ十
月戦地カラ言ッテ寄越シテ加入シタノデア
リマス、所ガ其言ッテ寄越シタ月ニ戦死シタ
ノデアリマスガ、父兄ノ方デハ息子ガ戦死
シタコトヲ知ラナクテ、最近部隊ノ方カラ
戦死シタト云フ通報ガ入ッテ初メテ知ッ
ウナ次第デアリマス、今一應御答辯ヲ願ヒ
マス

○藤川政府委員 只今申上ゲマシタ規則ニ
ハ、出征又ハ應召後三箇月以内ト書イテア
ルノデアリマスガ、其場合ガ三箇月以内デ
アリマスカドウカ、其點ガ判明致シマセヌ
ト、其契約ガ有效カドウカ判明致シマセヌ
ガ……
○伊藤東一郎君 サウスルト結局出征又ハ
應召後三箇月以内ニ保險ニ入ッタモノナラ
バ有效デアルト了解シテ宜イノデアリマス
カ

○藤川政府委員 左様デゴザイマス、應召

又ハ出征後三箇月以内ナラバ其契約ハ有效
デアリマス

○土屋委員 此簡易生命保險法ヲ設ケマシ
タ當時ハ、或ハ只今ノ政府ノ御説明ノ通り
ニ、民間保險ノ手ノ届カナイ所ヲ補フト云
フ御趣旨デアツタノデアリマセウケレドモ、
今日ノ情勢ハ、只今伊藤君カラ御質問モアッ
タ通り、出征軍人ガ進シテ後顧ノ憂ヲ幾分
デモ除カウト云フ精神カラ、戦地カラ此保
險ニ入レト申シテ來ルト云フヤウナコトヲ
見テモ、如何ニ此簡易生命保險ガ切實ニ國
民大部分ノ間ニ要求サレテ居ルカト云フコ
トガ分ルノデアリマシテ、私ハ此點ニ付テ
ハ政府ニ於テ御一考ヲ願ヒタイト思ヒマス、
現行法デ見マスト、保險金ノ支拂額ハ、契約
後一度以内ハ死亡マデニ拂込シテ保險料、一
年六箇月以内ハ保險金額ノ半分ト云フ風ニ
ナツテ居リマシテ、但書ニ於テハ、災害又ハ
傳染病豫防法第一條第一項ノ傳染病ニ依
テ死亡シタ場合ニハ、前記ノ期間ニ拘ラズ
保險金ノ全額ヲ支拂フト云フコトニナツテ居
リマシテ、傳染病デ死シタ場合ニモ例外規
定ヲ設ケラレマス以上ハ、國家ノ爲ニ御奉
公ヲシテ亡クナラレタ所ノ從軍者ニ對シマ
シテハ當然初カラ全額ヲ支拂フベキモノ、
サウスベキモノト考ヘテ居リマスガ、併

シソレニ付テ只今政府委員ノ御説明ニ依リ
マスト、支那事變ト云フコトニ改メタサウ
デアリマスガ、支那事變ト申シマスルト洵
ニ應急的ノモノデアリマシテ、將來從軍者
ニ對シマシテハ、初メカラ全額ヲ支拂フト
云フ例外規定ヲ御設ケニナルコトガ必要カ
ト思ヒマス、此點ハ如何デゴザイマセウカ
○藤川政府委員 只今申シマシタ支那事變
特別取扱規則ハ、其他ニ保險料ノ支拂ヲ猶
餘スルトカ云フヤウナ點ニ付テ色々ノ規定
ガ入ッテ居リマスノデ、只今ノ戦死ノ場合ハ
現行法ノ災害ノ中ニモ含シテ居リマスノデ
スカラ、一時的ナ規定デハナク、戦死ノ場
合ハ恒久的ナ規定ト御承知下サツテ結構ト
思ヒマス

○土屋委員 ソレカラ被保險者ノ保險施設
デアリマスガ、之ニ付テハ政府ハ段々健康相
談所ノ施設ヲ殖シテ參ッテ居リ、洵ニ結構ナ
コトデアリマスガ、是ガ醫師會ノ問題ニナ
リマスコトハ、此健康相談所ガ、健康相談
ノ範圍ヲ超エテ段々治療ヤルヤウナ傾向
ガ見ラレル、是ハ此健康相談所ノ趣旨ニモ
悖リマスシ、又簡易保險局ガ日本醫師會ト
契約ヲ致シマシテ、簡易保險ノ契約者ニ對
シテハ、特別ニ安イ報酬ヲ以テ治療ヲシテ
居ルト云フ趣旨ニモ悖ルヤウニ考ヘマスガ、

是ハ嚴重ニ其範圍ヲ守ラレルヤウニシテ戴キタイト思ヒマス、此點ハ如何デゴザイマセウカ

○藤川政府委員 健康相談所ノ増設等ニ付キマシテハ、今後出來ルダケ努力致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマスルガ、健康相談所デ取扱ヒマス範圍等ニ付キマシテハ、只今御話ノヤウナ嫌ヒモアリマスノデ、十分考慮スルコトニ致シマス

○土屋委員 私ガ之ヲ御尋致シマシタノハ、他ノ機會ニモ御尋致シマシタ通り、私ハ國民ノ大部分ト云フモノハ、病氣デアルカモ知レナイト云フ場合ニハ、一刻モ早ク醫者ノ診察ヲ受ケルコトガ必要デアル、其意味デ國民健康保險ノ場合、私ガ尋ネマシタノガ、國民健康保險ハ、本來町村ヲ主トシテ作ラレタ組合デアリマスカラシテ、其地域ヲ離レマスルト、ヤハリ自分ガ或ル金ヲ支拂ハナケレバ診察ヲ受ケラレナイ、ソレデアリマスルト、病氣デナイカト云フコトヲ知リツ、醫者ノ診察ヲ見合セテ治療ノ時機ヲ失スルヤウナコトニナリマスカラ、何處デモ病氣ノ場合ニハ直グ眼ノ前ニアル醫者ノ所ニ飛込シテ行ツテ、只デ診察ヲ受ケラレル制度ガ必要デアル、是ガ國民保健ノ上ニ於テ最モ必要ナコトデアル、斯ウ私ハ考

ヘテ居ル、是非將來是ハ國策トシテ實現サセタイト考ヘテ居ルノデアリマスガ、幸ニ簡易生命保險ハ現在國民ノ三分ノ一ヲ契約者ニシテ居リマスシ、更ニ此勢ヒデ參リマスレバ、遠カラズシテ國民ノ大部分ト云フモノハ皆此簡易生命保險ノ加入者トナリ得ルト考ヘルノデアリマス、其場合ニナリマスレバ、現在被保險者ノ保險施設ニ使ヒ得ベキ金モ恐ラク年額千万或ハ二千万、或ハモット以上ノ額ニ上ボルダラウト思フ、ソコデ全國ノ開業醫團體タル日本醫師會ト契約致シマスレバ、此金ヲ以テ、國民ノ大部分ト云フモノハ、何處ニ旅行シテ居テモ健康相談ハ無論是ハ簡易保險局ノ健康相談所デ受ケラレマスガ、健康相談所ト云フモノハ數ガ少イノデアリマスカラ、ソレニ代ツテ、ドノ醫者ニ行ツテモ健康相談ヲスルコトガ出來ルシ、又診察ヲ受ケルコトガ出來ル、一文モ金ヲ持タズシテ診察ヲ受ケルコトガ出來ル、サウナルコトヲ私ハ希望シテ居ルノデアリマスガ、ドウカ前申シタ通り健康相談所ガ治療ノ範圍ニ入ツテ行ツテ、開業醫ト競争シ或ハ摩擦スルト云フヤウナコトヲ避ケマシテ、此方針ニ向ツテ進シテ行キタイト云フノガ私ノ主眼デアリマスカラ、只今ノ御趣旨ニ依ツテ健康相談ハ健康相談ノ範圍

ニ止メ、將來被保險者ノ保險施設ニ使ヒ得ベキ金ハドウカ契約者ヲシテ全國到ル所無料デ醫師ノ診斷ヲ受ケラレル方面ニ向ケテ戴キタイ、斯ウ考ヘルノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○進藤政府委員 只今ノ御質問ノ御趣旨ハ能ク拜承致シマシタ、ソレデ簡易保險ノ健康相談所ハ其文字ノ示シテ居ル通り、病氣ノ治療ノ目的デハナクテ、病氣ノ豫防ト云ヒマスカ、健康ノ相談ヲ致シテ、サウシテ死亡率ノ減少ト云フ所ニ目的ヲ置イテ、保險事業ノ爲ニモ利益ヲ圖リ、同時ニ國民ノ健康増進ト云フコトニ盡シタイ、斯ウ云フ目的ノデアリマス、ソレデ診療ニ付キマシテハ、丁度今期ノ議會デ通過致シマシタ國民健康保險、是ガヤハリ國民全體ヲ對象トスル所謂治療ノ目的ノ保險デアリマス、隨ヒマシテ今土屋サンノ仰シヤッタ通り將來ノ目標ニ達シヨウト考ヘマス場合ニ、簡易保險ハ國民全體ヲ入レタ死亡保險デアリ、國民健康保險ハ國民全體ヲ加入セシムル疾病保險デアリマス、隨ヒマシテ兩方相俟チマシテ、一方ハ豫防ト云フコトニ重キヲ置キ、一方ハ診療ニ重キヲ置ク、斯ウ云フコトニ相成ツテ居ル譯デアリマス、其理想ニ達スル過渡期ノ今日ニ於キマシテハ

如何ニシタナラバ宜イカト云フコトガ問題ナノデアリマシテ、ソレニ付キマシテハ今度厚生省ガ出來テ、保險院ニ簡易保險モ社會保險モ兩方統合サレタノデアリマス、隨ヒマシテ簡易保險ノ健康相談所、國民健康保險ノ醫療機關、其他之ニ類スル種々ノモノハ相互ノ連絡ヲ計リ統合シタ組織ノ下ニ今後ヤツテ行クヤウニシタイ、斯ウ云フヤウナ趣旨ノ下ニ調査致シテ居リマス

○服部委員長 土屋サン、質問繼續中デアリマスガ、マダ時間ガ掛カルノデアリマシタナラバ、丁度今十二時過ぎニナリマシタカラ……

○土屋委員 モウ一ツダケ、資金ノ積立金ノ運用ニ付テ御尋スレバ、大體私ノ厚生省ニ對スル質問ハ済ミマス、ソレデ午前中ニソレダケ済マセマシテ、午後ニハ民營保險トノ關係ニ付テ商工當局ニ御出席ヲ求メテ質問シタイト思ヒマス

○服部委員長 宜シウゴザイマス、ソレデハ土屋君

○土屋委員 次ニ積立金ノ貸付デゴザイマスガ、此貸付ハ現在ノ所加入者ノ利益ノ爲ニ有利確實ニ運用スル、公共ノ利益ノ爲ニ社會公共事業ニ投資スル、各地ノ契約高ニ應ジテ資金ヲ地方ニ還元スル、此三ツヲ運

用ノ根本方針トシテ居ラレルヤウデアリマスガ、簡易保險ハ生命保護ガ主眼デアリマスル以上ハ、私ハ此原則ニ悖ラザル範圍内デ主トシテ健康保護ノ施設ノ方ニ運用シテ戴キタイト、斯ウ考ヘルノデアリマス、現在ノ所ハ港灣ノ修築デアルトカ、河川ノ改修デアルトカ、或ハ道路デアルトカ、水利事業デアルトカ、小學校デアルトカ云フヤウニ隨分廣イ範圍ニ使ハレテ居リマスケレドモ、御承知ノ通りニ今日何人モ之ヲ見

ス、ソレデアリマスカラドウカ此簡易保險ノ積立金ハ簡易保險本來ノ趣旨カラ考ヘテ、今マデノ貸付方針ヲ只今私ガ申上ゲマシタ如ク、被保險者或ハ一般國民ノ健康保護ノ施設、殊ニ當面最モ窮迫シテ居ル所ノ結核患者ノ救護ノ方面ニ之ヲ使用サレルト云フコトハ非常ニ私ハ必要ダト考ヘマスルガ、此點ハ如何デゴザイマセウカ

防ニ付キマシテハ從來カラ努力シテ居ルノデアリマシテ、結核豫防「デー」サウ云フヤウナ機會ニハ出來ルダケ協力致シテ居ルノデアリマスルシ、今後モ一層サウ云フ方面ニ力ヲ盡シタイト考ヘテ居リマス

希望シテ伺フノデアリマス
○藤川政府委員 只今ノ御尋ニ付テ一寸御答申上ゲマスガ、從來結核豫防施設ニ付テノ借入ノ申込ガ非常ニ少カッタデアリマス、其結果斯ウ云フ數字ニナッテ居ルノデアリマスルケレドモ、最近ハ公立結核療養所ト云フヤウナモノカラノ申込ガ大分殖エテ參リマシタカラ、ソレ等ニ付テハ十分御趣旨ニ從ッテ貸付ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

之ヲ耳ニシテ此儘ニ拾テ、置クコトノ出來ナイノハ結核ニ罹ッタ人ノ收容ノ場所ガナイ、是ガ爲ニ治療ノ時期ヲ失シテ其儘死シデシマフ者ガ多イト云フ慘憺タル狀況デアリマス、是ハ先達テ私例ヲ擧ゲテ申上ゲマシタガ、現ニ東京市ニ於テスラモ一度結核ニ罹ッテ、結核ト云フ診斷ヲ受ケテ何處カデ治療ヲ受ケヨウト致シマシテモ、市ノ療養所、府ノ療養所、或ハ濟生會ノ療養所等ガ何レモ皆滿員デアッテ、實費ヲ拂ッテ入院シヨウトスル人モ部屋ガナイ、況ヤ救療ヲ受ケル者ノ如キハ三月モ半年モ待タナケレバナラス、其間ニハ病氣ガドンノ進ンデ救フコトガ出來ナイヤウナ病狀ニナルノデアリマシテ、ソレ等ノ實情ト云フモノハ志士仁人ガ決シテ聞キ流シニ出來ナイ狀況デアリマ

御答申上ゲマス、簡易保險ノ積立金ノ運用ニ付キマシテハ只今土屋サンカラ御話ニナリマシタ公共ノ利益ノ爲トカ、或ハ資金ノ還元トカ、或ハ有利確實ト云フ原則ト併セマシテ、同時ニ保險契約者ノ利益ヲ圖ルト云フコトヲ常ニ考ヘテ運用致シテ居ル次第デアリマス、隨ヒマシテ公共事業ノ中デモ契約者ノ健康増進ノ爲メ、又ハ疾病豫防ノ爲ノ施設ト云フヤウナモノニ付キマシテハ十分其重要性ヲ認メマシテ、出來ルダケ貸付ノ申込ニ對シテ貸付ヲ致シテ居ルヤウナ方針デアリマス、隨ヒマシテ結核豫防施設ト云フヤウナモノニ對スル貸付モ相當多額ニ上ッテ居ルノデアリマス、尙ホ今後ノ貸付ニ付キマシテモ十分御話ノ點ヲ考慮致シタイト考ヘテ居リマス、尙ホ貸付ノ外デアリマスルガ、簡易保險ノ福祉施設ト致シマシテモ、結核豫

○土屋委員 私が何故特ニ此事ヲ申上ゲマスカト言ヒマス、貸付ケ得ベキ三億二千萬圓ノ金ノ中カラ公立結核療養所ニ貸付ケタル金額ハ僅ニ三萬九千圓ニ過ギナイ、サウシテ其多クノ額ガドウ云フ方面ニ行ッテ居ルカト申シマス、何レモ直接健康保護ニ關係ナイ方面ニ非常ニ使ハレテ居ル、例ヘバ一億六千二百萬圓ガ自作農創定ニ使ハレテ居ル、ソレカラ四百五十萬圓ガ住宅、三百萬圓ガ下水道、或ハ小學校ニ三千九百萬圓、上水道ニ二千七百萬圓、道路ニ一千二百萬圓、其他地方自治團體、各種公共事業ト云フモノニ對シテ三千五百萬圓、御話ノ結核療養所ニ對シテ貸付ケタル金ハ僅ニ三萬九千圓ニ過ギナイ、之ヲ私ハドウカ、此中心ヲ斯ウ云フ必要ナ所ニ置イテ、他ノ方面ハ止メロト言フノデアリマセスガ、サウ云フ方面ハ出來ルダケ他ノ方デヤッテ貰フヤウニシテ、折角厚生省モ出來タコトデアリマスカラ、厚生行政ノ最モ中心デアル所ニ此資金ヲ多ク運用セラレンコトヲ私ハ

○服部委員長 此際職業紹介所ノ審議ヲ控ヘテ居リマスノデ、委員ノ方デ參考資料ヲ要求サレル方ハ此際ニ申出テ戴ケレバ洵ニ都合ガ好イト考ヘマス
○野口委員 資料ヲ御願致シマス、自由労働者ノ數及ビ其地方別、労働宿泊所ノ數及ビ其地方別、労働收容所ガ現存シテ居レバ其場所及ビ成績ヲ御願致シマス
○服部委員長 ソレデハ是デ休憩致シマス、午後三時カラ再開スルコトニ致シマス
午後零時四十分休憩
午後三時四十分開議

第六類第十一號 社會事業法案外二件委員會會議錄 第六回 昭和十三年三月八日

○伊東委員長代理 午前中ニ引續キ會議ヲ開キマス——土屋君

○土屋清三郎君 午前厚生省ノ人ニ御尋スルコトヲ一ツ落シタコトガアリマス、簡易

一七

保險ノ契約ガ失效シマシタ場合ニハ、契約締結後六箇月ヲ經過シテ、保險料七箇月以上拂込ノ被保險者ノ積立金ニ付テハ、百分ノ九十乃至九十八ヲ受取人ノ請求ニ依ッテ返還スルコトニナッテ居リマス、斯ウナッテ居リマスガ、是ハ氣ガ付カズニ居ル場合ガ多イ、ソコデ受取人ガ請求スルコトヲ忘レテ居リマス、其儘是ガ取レナクナッテシマフ、ソコデ簡易保險ノ性質上、或ル期間前ニ通知ヲヤッテ戴クコトニシマシタナラバ、契約者ノ爲ニ大變仕合セト存ジマスガ、サウ云フ手續ヲ一ツ今後執ッテ戴クヤウニ出來セヌデセウカ

○藤川政府委員 只今ノ御話ニ付キマシテハ、現在ノ取扱方ト致シマシテ、失效致ス前ニ失效ノ豫告ヲ致シマシテ、ソレヨリ尙ホ失效ニナリマスモノハ失效ノ通知ヲ更ニ出シテ居リマスシ、還付金ノアルコトモ通知致シテ居リマス

○土屋清三郎君 ソレカラ是ハ民營保險ニ關係致シマスカラ、一寸商工省當局ヘ御注意申上ゲマス、御配布ニナリマシタ書類ニ依リマス、民營保險デ千圓未滿ノモノハ、昭和十一年度ノ調ニ於テ二十六億ノ新契約中、九億一千五百万圓、其件數ガ百四十四万ノ中ニ九十一万件、斯ウ云フ風ニナッテ居

ルヤウデアリマスガ、大體左様ニ承知シテ宜シウゴザイマスカ

○牧政府委員 千圓未滿ト申シマス千圓ハ含ミマセヌガ、今ノハ千圓ヲ含ムト思ヒマスガ……

○土屋清三郎君 左様デアリマス

○牧政府委員 ソレデハ大體サウ云フ風ニナッテ居リマス

○土屋清三郎君 左様致シマス、民營保險ニ於テ千圓ノ契約ト云フモノハ、金額ニ於テモ件數ニ於テモ相當ノ額ニ上ッテ居リマス、此コトハ何ヲ物語ルカト云ヘバ、千圓ト云フ契約ノ金額ガ、國民ノ多數ノ要望デアアル、斯ウ見ラル、ノデアリマス、今簡易保險ノ金額ヲ四百五十圓カラ七百圓ニ引上ゲタト致シマス、此七百圓ト千圓トノ間、或ハ丁度千圓ト云フ一番國民ノ大部分ガ要求シテ居ル所ガ、ドチラニモ契約ガナイト云フコトニナッテ來ル、是ハ折角庶民大衆ヲ目標トシテ、簡易生命保險制度ヲ改革シナガラ、非常ナ重大ナ缺陷デハナイカ、斯ウ私ハ考ヘル、此大事ナ穴ヲ埋メルニハ——

七百圓カラ千圓マデノ穴ヲ埋メルニハ、ドウシテモ簡易保險ノ契約ノ金額ヲ七百圓ヨリモモット千圓マデ引上ゲナケレバ、國民大衆ノ要望ニ副フコトガ出來ナイ、斯ウ私ハ

考ヘルノデアリマスガ、厚生省ノ當局ハドウ御考ニナルノデアリマセウカ

○進藤政府委員 午前中ノ御質問ニ對シテ、一寸其コトニ觸レテ御答シタルデアリマスガ、現在ノ保險制度トシテノ缺陷ハ、四百五十圓カラ千圓マデノ間ノ所ガ缺陷ニナッテ居ル、ソレヲ埋メル必要ガアルノデアリマスガ、千圓ト云フノハ民間保險デヤッテ居ルノデアリマスカラ、是ハ民間保險ニ入ル部分トシテ、千圓未滿ノモノガ缺陷ニナッテ居ル、ソレヲ簡易保險ガ何處マデ持ッテ行クカト云フコトデアリマスガ、或ハ七百圓、八百圓、九百圓ト云フヤウナコトモ考ヘラレルノデアリマス、併シ民間保險ニ影響ヲ與ヘナイヤウニ、民間保險ノ健全ナル發達ヲ害シナイヤウニスルト云フコトモ、是亦保險政策トシテ必要ナコトデアリマスカラ、其見地ヨリ致シマシテ、商工省トモ十分協議致シマシタ結果、七百圓ヲ以テ最モ適當ナリト云フコトデ今日ハ七百圓ニシタノデアリマス、併ナガラ七百圓デ簡易保險ノ領域トシテハ理想デアアルカト云フト、決シテ左様デハナイノデアリマシテ、將來民營保險ニ對スル影響ガ懸念ノナイ様ニナリマシタナラバ、仰シヤルヤウニ千圓近イ所マデ上ゲル時機ガ來ルドラウト思ヒマス、是

ハ豫想サレルノデアリマス

○土屋清三郎君 商工省ノ當局ハ頻ニ民營保險ト仰シヤッテ、何カ民營ノ方ニ御遠慮デモナサッテ居ルヤウニ聞エルノデアリマスケレドモ、私ハ是ハ非常ニ重大ナ點ト考ヘマス、午前中私ガ申上ゲマシタ通り、斯ウ云フ國民ノ大部分ニ最モ利害ノアル生命保險ニ付テハ原則トシテ將來國營デ行カナケレバナラヌモノト私ハ考ヘテ居リマス、唯其經過中ニ於テ餘リニ民業ニ影響ヲ與ヘテナラヌト云フ關係カラドラウト思ヒマスガ、ソレナラバ私ハ千圓マデハヤッテ少シモ差支ナイト考ヘル、厚生省ノ方ノ御答ハドウモ私臍ニ落チマセヌガ、民營保險ヲ監督スル商工省ノ當局トシテハ其點ハドウ御考ニナルデアリマセウカ、之ヲ千圓ニスルコトガ如何ナル點ニ於テ不都合デアリマスカ

○牧政府委員 御承知ノ通り民營保險ノ契約金額デ中樞ヲ成スモノハ千圓デアリマス、ソレデ簡易保險ノ金額ヲ千圓近クマデ持ッテ行キマス、簡易保險デアリマス關係上、其方ニ現在千圓ノ契約トシテ成立ッテ居ル契約ハ全部持ッテ行カレルト云フ心配ガアルノデアリマス、唯單ニ是ガ心配ニ終ルカト申シマス、民營保險デハ御承知ノ通り七〇%ノ千圓契約ヲ持ッテ居リマス關係

ハ豫想サレルノデアリマス

○土屋清三郎君 商工省ノ當局ハ頻ニ民營保險ト仰シヤッテ、何カ民營ノ方ニ御遠慮デモナサッテ居ルヤウニ聞エルノデアリマスケレドモ、私ハ是ハ非常ニ重大ナ點ト考ヘマス、午前中私ガ申上ゲマシタ通り、斯ウ云フ國民ノ大部分ニ最モ利害ノアル生命保險ニ付テハ原則トシテ將來國營デ行カナケレバナラヌモノト私ハ考ヘテ居リマス、唯其經過中ニ於テ餘リニ民業ニ影響ヲ與ヘテナラヌト云フ關係カラドラウト思ヒマスガ、ソレナラバ私ハ千圓マデハヤッテ少シモ差支ナイト考ヘル、厚生省ノ方ノ御答ハドウモ私臍ニ落チマセヌガ、民營保險ヲ監督スル商工省ノ當局トシテハ其點ハドウ御考ニナルデアリマセウカ、之ヲ千圓ニスルコトガ如何ナル點ニ於テ不都合デアリマスカ

○牧政府委員 御承知ノ通り民營保險ノ契約金額デ中樞ヲ成スモノハ千圓デアリマス、ソレデ簡易保險ノ金額ヲ千圓近クマデ持ッテ行キマス、簡易保險デアリマス關係上、其方ニ現在千圓ノ契約トシテ成立ッテ居ル契約ハ全部持ッテ行カレルト云フ心配ガアルノデアリマス、唯單ニ是ガ心配ニ終ルカト申シマス、民營保險デハ御承知ノ通り七〇%ノ千圓契約ヲ持ッテ居リマス關係

ハ豫想サレルノデアリマス

上、小會社ニ於キマシテハ其千圓契約ヲ侵サレマス、契約上非常ナル打撃ヲ被ルト云フ點ガ懸念サレルノデアリマス、隨ヒマシテ千圓トノ經濟的效用ヲ異ニスル七百圓程度ナラバ、其契約ハ影響ガ少カラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○土屋清三郎君 御答辯ヲ承リマス、民營保險會社ノ爲ダケヲ御考ニナッテ居ラル、ヤウニ思ヒマス、私ハ國民大衆ノ立場カラ考ヘマスルト、ドウモ此點ハ納得ガ出來兼ネル、御承知ノ通り民營保險會社ガ保險契約者ヲ募集致シマスニハ、非常ノ努力ト非常ナ經費ヲ使ッテ居リマス、一年分ノ掛金ヲ此募集ニ關スル營業費ニ投ジテ居ルト云フコトハ、是ハ各社普通デアル、私ノ知ッテ居ル會社ノ如キハ其十七割或ハ十八割ヲ使ッテ居ル、是ハ當局モ御承知ダラウト思フ、ソレ迄ニシテ尙ホ此位シカ出來ナイト云フコトハ、民營保險會社ニ缺陷ガアル、國民ノ信頼ガ薄イ爲デアル、國民ハ出來ルナラバ簡單ニ且ツ信用ノアル、必ズ支拂ッテ呉レル政府ノ簡易保險ニ契約シタイ、斯ウ國民ガ要求シテ居ルノニ、此要求ヲ其儘ニシテ、一番大事ナ七百圓カラ千圓マデノ穴ヲ其儘ニシテ置クト云フコトハ、ドウモ私ハ臍ニ落チナイ、ソコデ募集費モ少ク、契約

ノ簡單ニ出來ル簡易生命保險ヲヤハリ千圓ニ引上ゲ、サウシテ國民ヲシテ民營ノ保險デアラウト、官營ノ簡易保險デアラウト、其自分ノ信ズル所ヲ自由ニヤラスト云フコトガ、一面ニハ民營保險ヲシテ本當ニ自分等ノ營業振ヲ自覺サセ、改良サセル所以デハナイカト考ヘルノデアリマス、他ノ方面ニ於キマシテハ、例ヘバ民間ノ病院、或ハ開業醫等ガ十分ニ普及シテ居ル所ニ對シテ、公ノ費用ヲ以テドシノ公立或ハ官立病院ヲ建テ、サウシテ小サナ資本デヤッテ居ル私ノ小病院或ハ開業醫ト競争シテ居ルコトハ全國到ル所ニアル、是ガ始終摩擦ノ原因ニナッテ居ルノデアリマスガ、問題ガ一タビ巨大財閥ノ經營スル事業ニナリマス、兎角政府ガ之ニ遠慮ヲシテ居ル傾向ガアル、現ニ今度ノ電力案ナドニ對シテモ、私ハ熟、巨大財閥ガ國民多數ノ代表ノ府デアル議會ニ迄モ如何ニ猛威ヲ揮ッテ居ルカト云フコトニ付テ痛切ニ感ジタノデアリマス、將來此簡易保險金額引上ノ問題ハ當然起ルベキ問題デアリマスガ、千圓ヲ最低限度トシテ民營保險デヤッテ居ルノニ、何故官營ガ同ジ千圓マデ行クトニ付テ御遠慮ナサルノデアラウカ、私ハ此點ニ付テドウモ諒解ガ出來ナイノデアリマスガ、若シ之ヲ千圓ニ

スルト云フ場合ニ於キマシテ、商工當局、或ハ厚生當局ハドウシテモ之ニ御反對ニナリマス、如何デアリマス、或ハ本年ハ出來ナイトスルナラバ、明年カラデモ改メテ其増額ヲ圖ルト云フ御意思ガオアリニナルカドウカ、此點ヲ一ツ承リタイ

○牧政府委員 今申上ゲマス通り、千圓ニ致シマスルコトハ、民間ノ保險業者ニ非常ニ影響ガアリマスカラ、民間ノ保險業者ガ或ル程度經營上ノ合理化ヲ圖ッテ、ソレ等ガ相當大キナ打撃ニ耐ヘルヤウニナツタ時機ヲ待ッテ、成ベク速ニ保險金額ノ引上ヲシタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○工藤政府委員 是ハ將來ノ政策ニ關スルコトデアリマスカラ私カラ御答致シマス、今商工當局者ガ申シマシタ通り、總テノ場合ニ於テ法律ヲ作ルニハ、ヤハリ過渡的ナ經過ヲ取ル場合ガ多イノデアリマス、別段大資本家ヲ保護スルトカ何トカ云フ意味以外ニ、出來得ルダケ餘リ著シイ變化ヲ一時ニ與ヘズシテ、其目的ヲ達スルヤウニスルト云フコトハ、是ハ立法家ノ苦心デアラウト思ヒマス、御話ノヤウニ千圓マデ持ッテ行ッテモ一向差支ナイ、或ハ二千圓マデ持ッテ行ッテモ差支ナイカモ知レマセヌガ、今日マデ民營ノ保險ハ民衆ノ力ト國家ノ力ニ依ッテ

相當發達シテ來マシテ、而シテ是ガ民衆ノ社會生活ノ安定ノ上ニ非常ニ貢獻シタト云フコトハ認メテヤラナケレバナライ、之ニ依ッテ富ヲ造ッタ人モアリマセウガ、併シ民衆ニ相當貢獻シタト云フコトハ認メテヤラナケレバナライ、今千圓デアルカラ一躍之ヲ千圓未滿九百九十九圓マデ持ッテ行ッテモ宜イヤウナモノデアリマスガ、ソコニ當局者トシテ商工省ト厚生省ト相談ヲシテ、餘リ激甚ナ變化ヲ與ヘナイヤウニシテ行クコトガ適當デハナイカ、併シ是モ土屋君ノ御考ニナッテ居ル通り、國家ガ一旦此方ニ手ヲ染メタ以上ハ、ドウシテモ國ノ進運ハソコマデ向ッテ行クカモ知レナイ、向ヒ得ル可能性ヲ持ッテ居ルコトハ事實デアリマス、併シ現在ノ社會情勢モ亦參酌シテ進ンデ行カナケレバナラス必要モアラウト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ相當ナル資本ヲ投ジ、多クノ保險契約ヲ持ッテ居ル民營會社ガ、國ノ力ニ依ッテヤッテ行ク場合ニ於テ受クル其影響モ政府トシテ考ヘテ見ルコトハ私共政治ノ道デアラウト思フ、故ニ商工當局者ト相談致シマシテ、他日其時機ノ來ルマデ只今ノ所ハ此程度ニシテ置イテ、漸次恐クハ遠イ將來デナク、出來ルダケ近イ將來ニ於テ千圓マデノ程度ニ達スルヤウ

ニ進ンデ行クト云フコトハ是ハ民衆ノ爲ニ必要ナルコトト考ヘテ居リマス、其點ニ於テ土屋君ノ懷イテ居ラレル希望ト、厚生省ニ於テ懷イテ居ル希望トハ大ナル差異ハナイ、恐ラク商工省當局ニ於テモ民營ノ經營ハ御話ノ通り經濟的ニ運行シテ行ク爲ニハドウシテモ二千圓、三千圓以上デナケレバ算盤ヲ探ッテ行ケナイコトハ認メテ居リマスカラ、只今ハ過渡的ニ此程度ニ止メテ置イタ次第デアリマス、即チ私ハ厚生省ノ將來ノ方針トシテ此點マデ申上ゲテ置キマス

○土屋清三郎君 左様ニナリマス二千圓或ハソコノ契約ヲシテ居ル民營保險ニ付テハ、政府ニ於テ現在ノヤウナコトデナク餘程嚴重ナル監督ヲシテ戴カナケレバナナルマイト思フ、此點ニ付テ一、二御尋シタイノデアリマスガ、一體今日ノ民營保險會社ト云フモノハ二枚ノ面ヲ被ッテ居ル、最初ノ面ハ全ク佛ノ面デアッテ、有ユル利益ヲ口實ニ保險ノ契約ヲサセテ、一旦ソレガ死ンデシマフト其佛ノ面ヲ脱イデ鬼ノ面ニナッテ契約者ノ家ニ臨ンデ、色々ナク口實ヲ設ケテ其支拂ヲ免レヤウトスル、是ガ實ニ多イ、而モ其中ニハ極メテ惡性ナモノガアリマシテ、現ニ私ハ自分ノ友人等ニ付テモ經驗シテ居ルノデアリマスガ、死亡シテ保險金ノ通知

ヲ會社ニ出シマスルト、ソレト反對ニ今度解約ノ通知ヲシテ參リマス、ドウ云フ譯カト云フノデ會社ノ方ニ尋ネマス、死亡ノ報告ヲ受クルヤ直チニ鬼ノ面ヲ被ッタ人、所謂會社ノ調査係ト云フ者ガ當時ソレヲ審査シタ所ノ醫師或ハ其他ニ付テ色々秘密探偵ミタヤウナコトヲヤッテ、何等カノ口實ヲ設ケルト直グソレヲ理由ニシテ解約ノ通知ヲスル、實ニ解約ノ通知ヲスルバカリデナク、逆ニ下手ヲスルト保險ノ詐欺ニナルト云フヤウナコトヲ言ウテ脅迫シテ來ル、又ハ主人ガ死ンデ家族悲數ノ中ニアル所ニ飛込シテ行ッテ、結局一割カ二割ノ見舞金デ押付ケテシマフ、ソレモ宜イ、甚シキニ至ッテハ會社ノ重役或ハ重役ニ列ナル所ノ一味ノ者ガ結託ヲ致シマシテ、其遺族ノ方カラ金額ヲ認メザル領收書ヲ取ッテ會社ノ方ヘ出ス、會社ハドウ云フモノカソレニハ保險契約ノ金額全部支拂ッタヤウニ帳簿ニ記載セラレテアッテ、監督當局ニモ其通り報告ニナッテ居ル、私ハサウ云フ實例ヲ數例、或ル保險會社ノ内部ニ勤務シテ居ル者カラ帳簿記載ノ内容マデモ聞イテ實ニ驚イタ、斯ウ云フ不正ナコトガ行ハレテ而モサウ云フ會社ガ其後ズツト續イテ居ル、其關係ノ重役マデ其通り續イテ居ルト云フコトハ私ハ全ク監督

不十分デアアルカラト考ヘル、是等ニ付テハ或ハ刑法其他ニ於テ取締制裁ノ方法モアリマセウガ、ソレニ依ラズシテ保險當局トシテ監督ノ途ガナイダラウカ、若シナイトスレバソレヲ爲シ得ルヤウニ法律ノ改正ヲスル必要ハナイダラウカ、其點ヲ伺ヒタイ

○牧政府委員 保險金ノ支拂ニ付キマシテ相當ノ紛糾ガアリマシテ、色々契約者ニ迷惑ヲ掛ケテ居ルコトハ事實ゴザイマス、其原因ハ色々ゴザイマスガ、御承知ノ通り保險ノ外務員ガ契約ニ當リマシテ相當不行届ノ點ガアルコトモ事實ナノデゴザイマス、是等ノ保險金支拂ニ關スル爭ヒニ付キマシテハ個々ノ問題ニ付キマシテ詳細ノ報告ヲ求メ、醫學上ナリ法律上ノ批判ヲ加ヘマシテ不當ナルモノハ取締ッテ居ル譯デゴザイマス、唯事柄ガドウモ司法權ノ範圍ニ屬スル關係上、行政官廳ノヤル程度ト致シマシテハ強イ德憑ノ程度ニ止マル實情デゴザイマス、併ナガラ御話ノヤウナ事實ガ相當澤山ゴザイマスノデ、取締法規ヲ嚴重ニスルト云フコトハ政府ニ於テモ其必要ヲ感ジテ居リマス、目下設ケラレテ居リマスル保險業法ノ改正調査委員會ニ於キマシテハ是等ノ點ヲ立法的ニ研究シマシテ、成ベク早クサウ云フコトノ出來ルヤウニシタイト考ヘ

テ居ル次第デゴザイマス

○土屋清三郎君 サウ云フ保險犯罪ニ對シテ特別ナ取締法規ヲ御設ケニナルト云フコトハ私非常ニ結構ダト思フガ、其犯罪マデニ至ラナイ今ノ保險金ノ支拂ヲ解約手段ニ依ッテ免レヤウトスルコトヲ防グ爲ニ、死亡後ハ解約ノ出來ナイヤウ現行法規ヲ改メルコトガ必要ダト考ヘマスガ如何デアリマセウ、一方ニハ簡易保險ハ七百圓デ無審査、一方ハ嚴格ナ醫者ノ審査ヲシテ保險金ヲ支拂ッテ、諸テ死亡シテ金ガ取レナイト云フコトニナリマス、益、民營保險ノ信用ヲ失墜スルコトニナルト思ヒマスガ、此點ノ御考ハ如何デアリマセウカ

○牧政府委員 死亡後ノ契約解除ハ甚ダ遺憾ニ考ヘル譯デアリマス、保險契約ヲ締結致シマス場合ニ色々條件ガゴザイマシテ、殊ニ醫的診査ヲ爲ス場合ニ色々事項ヲ調べ、ソレニ付キマシテハ相當契約者カラ申告ヲシテ貰ハナクテハナラス事項ガアルノデゴザイマス、是等ノ事項ヲ偽リ、或ハ列記セザル等ノコトニ依リマシテ保險金ノ支拂ニ支障ヲ生ズルト云フヤウナ場合モゴザイマスガ、死亡後ニ契約ヲ解除シテ保險金ノ支拂ヲ爲サナイト云フコトハ出來ルダケ避ケタイト云フ意味ニ於キマシテ御趣旨

ノ點ハ十分研究シテ見タイト思ヒマス

○土屋清三郎君 次ニ返還金ノ問題デゴザ

イマスルガ、民營ノ保險ハ掛金ヲ拂込ノ猶豫
期間ハ慥カニ二箇月ダト記憶シテ居リマス、
即チ二箇月拂込期限ヲ經過シマスレバ契約
ノ效力ヲ失フ、所ガ契約者ノ多クハ失効ト云
フモノヲ同時ニ自分ノ掛金ハ還ツテ來ナク
ナルモノト考ヘテ居ル者ガ少クナイ、所ガ
失効致シマシテモ其後尙ホ慥カニ二箇年間ハ
會社ニ對シテ返還金ヲ請求スル權利ガアル、
所ガソレヲ多クノ契約者ハ知リマセヌ爲ニ
失効ト同時ニ返還金ノ請求ヲ出來ナイモノ
ト思ツテ其儘ニナツテシマフノガ多イ、サウ
シテ是ガ會社ノ餘得ニナリ、此金ガ年々相
當ノ金額ニ上ルト云フコトデアリマス、只
今簡易保險當局ノ御話ヲ承リマスルト、簡
易保險當局ニ於テハサウ云フ返還金ノ請求
權ガアル契約者ニ對シテハ期間、即チ時効
ニ至ル前ニ豫メ通知ヲシテ彼等ノ注意ヲ促
シ之ヲ保護シテヤルト云フコトデアリマシ
テ、洵ニサウアリタイノデアリマスガ、民
營ノ保險會社ハサウ云フコトヲヤラナイ、
ソコデ民營ノ保險會社ニ於テモ必ず時効ノ
到達以前ニ會社ハ其契約者ニ對シテ之ヲ通
知スル所ノ義務ヲ負ハセルヤウニシテ戴キ
タイト思ヒマスガ、此點如何デゴザイマセ

ウカ

○牧政府委員 保險料ノ支拂ヲ怠リマシテ

契約ガ失効ニナツタ場合ニ通知ヲ致シテ居ル
コトハ民營保險モ官營保險モ同様デゴザイ
マス、唯失効後來ルベキ時効ノ通知モスルコ
トヲ勸メタラドウカト云フ御話デゴザイマ
スガ、御尤ノ點モアルノデゴザイマス、一
般ノ時効制度トノ關係モゴザイマシテ、出
來得ル限り御趣旨ノ點ハ研究シテ見タイト
斯ウ考ヘテ居リマス

○土屋清三郎君 次ニ民營會社ノ監督デア

リマスガ、第一ハ相互會社ノ監督デアリマ
ス、相互保險會社ト云フモノハ、契約者ガ
即チ社員デアツテ、契約者オ五ノ會社デア
ル、隨テ會社ノ利益ハオ五ノモノデアルト
云フ看板ハ非常ニ都合ガ好イ、其重役ニナ
ル人モ株式會社トハ違ツテ一文モ出資スル必
要ガナイ、所ガ金ヲ一ツモ出ス必要ガナク
テ重役ニナツタ上ニ、重役ニナリマス、社
員總代ト云フモノハ社員カラ自由ニ白紙委
任狀ヲ取ツテ、自分達デ社員總代ヲ指定シ
テ、サウシテ其社員總代カラ自分達ヲ又重
役ニ選舉サセルト云フコトニナリマスルカ
ラシテ、一度相互保險會社ノ重役ニナリマ
スルトモウ一生涯ソレヲヤッテ行ケル、此點
ハ株式會社ガ株式ノ多數、即チ資本ヲ餘計

持ツカ持タナイカト云フコトニ依ツテ自分ノ

地位ヲ保ツノトハ全ク違ツテ、丁度「デモク
ラシイ」ノ名ニ依ツテ英雄專制政治ヲ行フノ
ト同ジデアリマス、隨テ相互會社ト云フモ
トハ最モ重役間ニ於テ惡事ヲ行ヒ得ル、此
意味ニ於テ相互保險會社ト云フモノハ重役
ノ如何ニ依ツテ契約者ノ利益ガ非常ニ良ク
モナレバ又非常ニ惡クモナル、一流會社ト
言ハレル千代田トカ第一トカ云フモノハ別
トシマシテ、他ノ相互保險會社ト致シマシテ
ハ今マデノ業績ガ明瞭ニ之ヲ示スヤウニ餘
程監督ヲ嚴重ニシナケレバナライ、株式
會社ト同様デハ私ハイケナイト思フ、政府
ハ相互會社ノ性質ニ鑑ミマシテ、又斯ウ云
フ缺陷ノアルノニ鑑ミマシテ、特ニ新シイ
監督方法ヲ設ケテ嚴重ニ監督スル御考ガナ
イカドウカ

○牧政府委員 相互會社ハ營利法人デゴザ

イマシテ、今御述ニナリマシタヤウナ點ガ
一番ナクテ濟ム筈ノモノガサウデナク、實
際ハ相當弊害ガアルト云フ御話デゴザイマ
スガ、御說ノヤウナ點ニ付キマシテハ政府
ニ於テモ少シ考ヘテ居ル點モゴザイマス、
併シ此處デソレヲ申上ゲル譯ニモ參リマセ
ヌガ、先程申上ゲマシタ法律ノ改正、調査
委員會ニ諮リマシテ、或ハ立法的手段、或

ハ行政手段ニ依リマシテ出來得ル限り監督
ヲ嚴重ニスルコトヲ試ミタイト考ヘテ居リ
マス

○土屋清三郎君 次ニ相互會社ト株式會社

トヲ問ハズ、所謂弱小會社ナルモノガ只今問
題ニナツテ居ル所ノ千圓程度ノ契約者ヲ最
モ多ク包含シテ居ルノデアリマシテ、此會
社ノ運命ハ隨テ國民ノ多數ニ非常ナ惡イ影
響ヲ及ボス、政府ハ先年來段々サウ云フ弱
小會社ヲ合併シテ來タヤウデアリマスルケ
レドモ、ソレ等ノ成績ヲ見マスルト少シモ
良クナイ、惡イモノ同士ヲ幾ツ寄セテモヤ
ハリ良クナラナイト見エマシテ、鎖ハ其最
モ弱キ力ニ平均スルト云フ諺ノ通り、弱イ
モノ同士ヲ集メルト其中ノ一番弱イ方ニ中心
ガ下ツテシマフ、而モ現在所謂弱小會社ナルモ
トハ相當ニアツテ、サウシテ經營者モ非常ニ困
テ隨分無理ヲ募集ヲヤッテ居ル、私ノ申上ゲ
マシタ所ノ一年ノ保險料ノ十七割モ十八割
モ募集費用ヲ使フト云フヤウナ會社ハ所謂
此弱小會社ノ最モ惡イモノデアル、ソレ等ノ
募集ハ全クサクラ募集、虚偽ノ募集デアル、
一年經ツテ大部分ガ散ツテシマツテ實ガ生ラ
ナイ、併シ斯ウ云フコトヲ繰返サナケレバ
契約者ガドン／＼減ツテ社會的信用ヲ失ヒ
マスカラ、會社ハ脊ニ腹ハ代ヘラレズ苦シ

紛レニヤル、此現状ハ監督當局トシテモ一日モ放ッテ置ク譯ニ行カナイト考ヘマスガ是ハドウ云フ風ナ御方針デアリマセウカ、現在色々サウ云フ風ニシナケレバナラヌ會社ガドノ位アリ、又ドウ云フ状態デアルカト云フコトハ私ヨリ十分御承知ト存ジマスカラ、其點ヲ一ツ少シク詳細ニ御説明ヲ願ヒタイ

○牧政府委員 生命保險業界ニ弱小會社ガ

ゴザイマシテ、之ヲ整理シナケレバナラヌト云フコトハ殆ド常識ノヤウニ言ハレテ居ルノデアリマス、少シ固苦シク申シマス、ドレヲ弱小會社ト言フカト云フコトニナリマスト中々難カシイノデアリマスガ、マア常識的ニ考ヘマシテ、今土屋サンノ御述ニナリマシタヤウナ小サイ金額ノ保險ヲ多數契約シ、經營ノ前途ガ良クナイヤウナモノヲ常識的ニ申上ゲルノデス、是等ノモノヲ相當經營ヲ改善セシメテ、一般生命保險業ノ基礎ヲ確立セシムルコトノ必要ハ、

是ハ誰シモ異議ノナイ所デゴザイマス、政府ニ於キマシテモサウ云フ意味ニ於キマシテ、保險ノ機能ヲ十分發揮セシメ、保險業界ノ健全ナル發達ヲ圖ルト云フ意味ニ於キマシテ、是ガ整理ナリ改善ナリヲ圖ラナクテハナラヌト云フコトヲ慎重考究致シマシ

テ、二三考ヘテ居ルモノモゴザイマス、併ナガラ、今之ヲ申上ゲルノハ御許シヲ願ヒタイノデアリマスガ、相當是等ノ案ヲ實施スルニ付キマシテハ、其業界ニ與フル影響、産業經濟界ニ與フル影響、契約者ニ與フベキ影響等ヲ考慮致シマシテ、最モ慎重ニシナケレバナラヌ、是ガ保險行政ノ最モ重要デアルト同時ニ、最モ慎重ナ扱ヲシナケレバナラヌコトト考ヘマシテ、實ハ先程モ申シマシタ業法ノ、改正委員會デ、業法ノ一般的前ヲ振返ッテ見ルト云フ問題ト同様ナ重サニ於テ、今申上ゲマスル弱小會社ノ整理改善ト云フ點ヲ扱ッテ見タイト考ヘテ居リマス、同委員會ハ御承知ノ通り朝野ノ其方面ノ有識者ヨリ成ッテ居リマスノデ、具體的ノ案ヲ之ニ諮リマシテ、適當ノ案ヲ出來ルダケ早ク作ッテ、サウシテ御趣旨ノヤウナ點ノ實現ニ努メタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○土屋清三郎君 最後ニ生命保險ノ國策ニ

關シテ御尋致シタイノデス、私ノ御尋ハ或ハ政府委員カラ御答辯ガ出來兼ネルカモ知レマセヌカラ、若シサウデアリマシタナラバ適當ナ機會ニ厚生、商工兩大臣ノ御出席ヲ求メテ説明願ヒタイト思ヒマス、豫メ私ガ申シテ置キタイト存ジマスルノハ、政府

ハ民營ノ生命保險ニ對シテ、國ノ權力ヲ以テ之ヲ統制スルノ意思ハナイカドウカ、御承知ノ通り有ユル方面ノ資金ノ中ニ、最モ多額ニ、又最モ利用シ得ル可能性ノアルモノハ保險ノ掛金デアリマス、是ハ簡易生命保險ノ金額ヲ見テモ明瞭デアリマス、所ガ往年銀行ノ取付騒ギガアリマシテ以來、巨大財閥ハ、銀行ハ取付ノ危險ガアルケレドモ、生命保險ハ取付ノ危險ガナイ、サウシテ資金ヲ大衆カラ集メルニハ是ガ一番良イ方法デアルト云フコトデ、此保險會社ノ經營ニ目ヲ著ケマシテ、漸次他ノ會社ヲ合併シテ、ソコニシテ民間ノ資金ヲ吸收シテ、其集メタ金ヲ自分ノ目的トスル所ノ企業ノ方面ニ使ッテ居ル、私ハ先程來申上ゲマシタ如ク、民營保險ニハ種々ナル缺陷ガアッテ、是ガ監督ハ今日ノ儘デハ置ケナイ、法律ヲ改メテモト嚴重ナル監督ヲシナケレバナラヌノデアリマスガ、一面ニ於テ國家非常ノ際ニ——此非常ハ、日本ノ將來ニ負ハサレタ使命ヲ考ヘマス、此狀態ハ相當續クモノト考ヘナケレバナリマセヌガ、其場合ニダブ——ニ金ヲ持ッテ居ル所ノ民間ノ保險會社ヲ、國ノ權力ヲ以テ統制シテ、監督ヲ強化シテ、被保險者ヲ保護スル一面ニ於テ、其擁スル資金ヲ主トシテ國家或ハ會

社、若クハ産業等公ノ方面ニ、確實ナル方面ニ運用サセルコトガ必要デハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス

是ハ今申シマシタ通り、此機會ニ政府ノ方針ガ決マッテ居リマスレバ、御説明ヲ伺ッテモ結構デアリマスシ、若シサウデナト致シマスレバ、次ノ機會ニ兩省大臣ノ御出席ヲ願ッテ御答辯ヲセラレテモ宜イト考ヘマス

○工藤政府委員 屢、御繰返シニナツ中ニ、

國營ノ御希望ノアルコトハ明瞭ニナッテ居リマスガ、國務大臣トシテノ厚生大臣ガドウ云フ御考デアルカ分リマセヌガ、併シ厚生省トシテハ之ヲ直チニ國營トシテ、即チ國家ノ權力ヲ以テ、アナタノ御希望ニ副フヤウニスルコトニ付テハ、厚生省ノ意思ハマダ決定シテ居ラヌト云フコトダケハ申上ゲラレマス、併シ御話ノヤウナ種々ナル國ノ内外ノ實情ニ照シテ考ヘテ見マス、先刻申上ゲマシタ通り國家其モノノ進運ト云フモノハ、或ハサウ云フ時期ニ至ラヌトモ限ラヌト云フ程度ノモノデアッテ、未ダ省トシテノ意思ハ決定シテ居ラヌト云フコトヲ申シ得ルノデアリマス、尤モ國務大臣トシテノ保險國策ニ對スル抱負如何ト云フ御質問デ、是非大臣カラ御聽キシタイト云フコトナラ

バ、他日機會モアルト思ヒマスケレドモ、省トシテハ未ダ決定シテ居ラヌト云フコトヲ申上ゲマス

○土屋清三郎君 商工省ノ方ハ如何デスカ

○牧政府委員 保險ノ國營ニ付テノ御尋デ

アリマシテ、是ハ寧ロ商工大臣カラ御答シタ方ガ宜カラウト思ヒマスガ、事務上ノ色ノ關係カラ、今土屋サンノ御述ニナリマシタヤウナ點モゴザイマシテ、從來トモ慎重ニ研究ヲ續ケテ居ルノデアリマス、併ナガラ保險ノ經營形態ニ付キマシテモ、現在ノヤウニ民營ガ宜イカ、或ハ將來國營ニスベキデアルカト云フヤウナ點ハ、理窟ト實際トハ又或ル程度喰違ッテ居ルモノモアリマシテ、從來ノ民營保險ノ沿革ナリ、産業經濟界ニ於ケル地位ト云フヤウナ點ヲ考慮致シマス、ソレハ非常ニ重大ナ問題デアリマシテ、今遽ニドウシトラ宜イト云フコトハ中上デラレスノデゴザイマス、併ナガラ御趣旨ノ點ハ十分從來トモ考ヘテ居ル點デアリマシテ、尙ホ今後モ熱心ニ研究ハ續ケテ行キタイト考ヘテ居リマス

○土屋清三郎君 私が今御尋シマシタノハ

國營デハアリマセヌ、近來民營ト國營ト二ツバカリデナク、御承知ノ通り電力管理法ノヤウニ民有ノモノヲ國ノ權力ノ下ニ統制

シテ國ノ管理ニスル、サウ云フモノト同じヤウニ保險ノ國營ハ——是ハ簡易保險ガ現ニ其一部ヲヤッテ居リマスガ、私が今此處デ御尋致シマシタノハ、民營ノ保險ヲ國ノ權力ヲ以テ統制シテ、或ハ電力ノヤウニ管理シテ其監督ヲ嚴重ニスルト同時ニ、ソレニ要スル資金ヲ現在民營會社ヲ所有シテ居ル巨大財閥ガ、自分ノ都合ノ好イ方ニ其資金ヲ運用スルニ任セナイデ、之ヲ國家有用ノ方面ニ運用スルト云フコトガ必要デハナイカ、之ニ付テ政府ハ御考ガアルカ、現ニ現内閣ガ民間ノ所有スル電力ヲ法律デ以テ統制シテ國ノ管理ニ移サウトシテ居ル場合デアリマス、是ハ國民生活ニ重大ナル關係ノアル保險事業ヲ國營ニ依ラズシテ國ノ權力ヲ以テ監督運營ヲ良クスルト云フ一ツノ例ニナラウカト考ヘマシタノデ、私ハ其趣旨ニ於テ伺ツタノデアリマス

○佐藤政府委員 今ノ保險ノ問題デアリマ

スガ、殊ニ現在ノ保險會社ノ現狀ヲ見マスト、金融機關トシテ非常ナ發達ヲシテ居ル、ソコデ保險ノ金ト云フモノヲ何ニ使フカ、斯ウ云フ風ナ情勢ニ於テハ國家目的ニ最モ適スルヤウニ使フコトガ必要アル、ソレハ御話ノ通りデアリマシテ、其點ニ付テハ金融機關トシテ保險、銀行、信託ト云フモ

ノガ現在ノ經濟社會ニ於キマシテハ最モ重要ナモノデアリマス、而シテ其點ニ付テハ既ニ現在ニ於キマシテ、資金調整ノ法律ガアリマシテ、アノ法律デ一緒ニヤッテ居リマス、現在ノ狀態ト致シマシテハ、先ヅ其資金ノ使ヒ方ニ付テ政府ガ「リード」スルト云フコトデヤッテ居ル、併ナガラ現在ノ財政、經濟狀態ガモット逼迫スルト云フコトニナレバ、更ニ資金ノ調整ト云フコトヲ強クシ、或ハ國家權力ニ依ッテ公債ヲ強制シテ持タセルト云フヤウナコトニナルカト思ヒマスガ、現在ニ於キマシテハ前ノ議會デシタカ、資金調整法ニ依ッテ銀行ノ資金、ソレカラ信託ノ資金トカ保險資金、サウ云フモノヲ政府ガ調整シテ行クヤウニナツタカラ、大體御話ノ目的ガ一部分ソレニ依ッテ達スルト思フノデアリマス

○土屋清三郎君 私ノ簡易保險ニ付テノ質

問ハ是デ終リマスガ、曩ニ社會事業法案ノ質問ノ際ニ申上ゲテ置キマシタ醫師ノ診療簿ノ査閱ニ關シテ厚生省内部ニ於テ御意見ノ御決定ヲ願ヒタイ、サウシテ適當ノ機會ニ御答辯ヲ願ヒタイ、斯ウ申上ゲテ置イタノデアリマスガ、今日デナクトモ宜シウゴザイマス、ドウカ此委員會ノ經過中ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、是デ終リマス

○工藤政府委員 承知シマシタ

○庄司委員 極メテ簡單ニ二三御伺ヲ致シ

マス、第一ノ御伺ハ簡易生命保險ガ創設サレマシテ大體二十年位ニナリマスガ、コンナニ輝ケル業績ヲ擧ゲタト云フコトハ、今マデ遞信省ノ指導ノ宜シキヲ得タコトハ言フ迄モアリマセヌガ、是カラハ厚生省ノ所管ニ移ルト云フコトヲ聽イテ居リマスガ、現在ニ於テ二千八百萬人ト云フ契約者、或ハ契約高ハ四十二億圓近イ金額、積立金ハ現在十四億四千萬圓ト云フヤウナ狀態ニナツテ居リマス、此積立金ノ大部分ガ社會事業ニ、或ハ地方町村公共團體其他各方面ニ有用ニ投資ヲサレ、或ハ國家ノ公債ヲ消化シテ居ルト云フヤウナ色々ノ觀點カラ考ヘマシテ、洵ニ是ハ結構ナ國家ノ御仕事デアル、私ハ常ニ簡易生命保險或ハ之ニ附隨シテ居リマス郵便年金等ニ付テハ敬意ヲ表シテ居ル者デアリマス、就テハ是非此際御伺申上ゲタイノハ斯様ナ立派ナ業績ハ恐ラク日本ノ官營事業中ニ於テ、白眉ト云ッテモ可ナル好成绩デアリマス、併ナガラ此事業ノ下積トナツテ居ル全國ノ各郵便局、就中地方町村ニゴザイマスル三等郵便局等ノ書記或ハ吏員ト云ヒマスガ、直接簡易保險ノ募集、勧誘或ハ集金等ニ從事サレテ居リマス所ノ

第一線ニ働イテ居ル従業員ノ諸君ガ、上級監督官廳ノ方カラ今年ハ何件募集セヨト云フヤウナ天降リノ割當ガ來ルト聞イテ居リマス、サウシタ場合ニ於テ本當ニ戸數ガ五百戸、人口ガ三千名程度ノ小サナ町村ニ於キマシテハ、其割當ヲ立派ニ募集シ其使命ヲ果ス爲ニ、非常ニ涙グマシイ奮闘ヲシテ居ル狀況ヲ現在地方ニ居リマス私ナドハ二六時中見聞シテ居リマス、所ガサウ云フ風ニ第一線働イテ保險行政ノ成績ヲ基本的ニ擧ゲテ居リマスル地方ノ町村ノ三等郵便局或ハ無集配郵便局、或ハ其他郵便取扱所ト云フ小サイ役所モアルサウデスガ、サウ云フ方面ノ方々ガ洵ニ奮闘努力シテ、一生懸命ヤツテ居ル、ソレ等ノ諸君ノ待遇ガ極メテ薄イト云フ現在ノ狀態ヲ見テ居リマスガ、現在全國的ニ簡易生命保險ノ第一線ニ働イテ居ル従業員ハ何名アルカト云フコトヲ最初ニ御伺申上ゲマス、又ソレ等ノ人々ハ具體的ニドウ云フ待遇ヲ受ケテ居ルカ、例ヘバ月給デゴザイマシタナラバ、其平均ノ月給ハドノ位支給サレテ居ルモノデアルカ、又日給ナラバ其日給ハ平均ドノ位ノ額ヲ受ケテ居ルモノデアルカト云フヤウナ點ヲ待遇問題ノ見地カラ御伺申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、是ハ固ヨリ此待

遇ヲヨリ良ク改善シテ上ゲタイト云フヤウナ信念ノ上カラ、參考ノ爲ニ御伺ヲシテ置キタイノデアリマス

○山田政府委員 簡易保險ノ契約ノ募集並ニ維持ノ仕事ハ、依然トシテ遞信省ノ所管ニナツテ居リマスノデ、私ヨリ御答致シマス、只今三等郵便局ノ方面ニ於ケル従事員ニ對シマシテ保險ノ豫定數ヲ割當テ、之ヲ強制スル、其結果小サイ町村方面ニ於テハ隨分従事員ガ涙グマシイ程ノ努力ヲシテ居ルト云フコトデゴザイマシタガ、御承知ノヤウニ簡易保險ノヤウナ常ニ積極的ニ働キ掛ケナケレバナライヤウナ事業ニ於キマシテハ、單ニ郵便局ノ中ニ坐ツテ居リマシテ、靜觀ヲシテ居ルヤウナ狀況デハ到底事業ノ積極的ナ開發、又一般公衆ニ對シテ保險ノ目的ヲ知ラセルト云フコトハ出來ナイノデアリマス、ソコデ毎年豫メ大體ノ豫定數ト云フモノヲ拵ヘマシテ、其豫定數ノ範圍内ニ於キマシテ、各局ニ於キマスル從來ノ實績、又従事員ノ素質、其所々ニ於ケル地況、其他色々ナ方面ヲ考ヘマシテ、各局ニ其豫定數ヲ割當テマス、此割當テラレタ取扱數ノ範圍内ニ於キマシテハ、又ソレノ郵便局ニ於キマシテ、各従事員ノ能力デアルトカ、色々ナ方面ヲ見テ、其豫定計畫ノ遂行ニ努メテ

居ル譯デアリマス、是ハ斯様ナ常ニ能動的、積極的ニ働キ掛ケナケレバナラス事業ノ性質上當然ナコトデアルト考ヘテ居リマス、只今御話モゴザイマシタガ、全國的ニ考ヘマシタ時ニハ、決シテ無理ノナイ計畫ノ遂行ニ努メテ居ル次第デゴザイマシテ、其結果二十餘年ヲ經過致シマシタ今日ニ於キマシテ、世界ニ類例ノナイヤウナ非常ナ發展ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ従事員ノ待遇ガ非常ニ菲薄デアルト云フ御説ハ御尤デゴザイマシテ、此問題ハ實ハ遞信省ト致シマシテハ、永年ノ懸案デゴザイマシタガ、一方簡易保險ノ創始時代カラ手ヲ繋ギ合ッテト云フヨリモ、同じ屋根ノ下デ仕事ヲシテ居リマシタ通信事業方面ガ一般會計ニアリマシテ、思フ通りニ待遇ノ是正ガ出來ナカッタ關係等モゴザイマシテ、勢ヒ保險従事員ノ方ニモ、ソレガ影響ヲ致シマシテ、從來ノ其菲薄ナル待遇ノ範圍内ニ於テ努力ヲセザルヲ得ナカッタ次第デゴザイマスルガ、御承知ノヤウニ去年ノ通常議會ニ於キマシテ、遞信従事員ノ待遇ノ是正ノ豫算ヲ協賛ヲ戴キマシテ、其待遇ノ是正ヲ本年度昭和十二年度ニ於キマシテ實行ヲ致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、従事員一人幾ラカト云フ御尋ニ付キマシテハ、

實ハ今日其資料ヲ私手許ニ持ッテ居リマセヌ、大體カラ申上ゲマス、從來ニ比較致シマシテ、約一割程度バカリノ給與ノ増額ヲ致スコトニナツテ居リマス、尤モ保險従事員ニ付キマシテハ、從來三等郵便局ノ經費ノ中カラ渡切リトシテ支給ヲシテ居ル立前デアリマシタ、實ハ此點ニ付キマシテハ三等郵便局従事員ノ待遇ノ是正ヲ圖ル爲ニハ、先決要件トシテ従事員ノ給與ヲ直轄ニシナケレバナラスト云フコトガ考ヘラレタノデゴザイマシテ、其實行方法ト致シマシテ、去年ノ十月カラ集配郵便局ノ従事員ニ對シマシテ、給料ヲ直轄ニ致スコトニ致シタノデアリマス、之ニ關聯ヲ致シマシテ、簡易保險事業ニ從事シテ居ル者等ノ給料モ、亦通信事業従事員ト同じニ直轄ニスベキデハナイカト考ヘタノデアリマスガ、現在此世界ニ類例ノナイヤウナ發達ヲ致シテ居リマス現狀ヲ檢討致シテ見マス、全國ノ郵便局ニ於キマシテ、取扱ニ應ジマシテ之ニ報酬ヲ與ヘルト云フ立前ヲ取ッテ居ルノデアリマス、取扱ガ多ケレバ多イ程三等郵便局長モ利益ヲ得ルシ、又従事員諸君モ其取扱數量ニ應ジタル給與ヲ受クルト云フコトニナルノデゴザイマスカラ、此取扱數量ニ應ジタル、所謂成功報酬主義ト云フカ、今日ノ簡易保險事

業ノ類例ノナイ發達ノ重要ナ原因ヲ爲シテ
居ルト云フコトヲ私共考ヘマシテ、三等郵便
局従事員ノ給料直轄ノ問題ニ、例外ト致シ
マシテ、保險並ニ郵便年金事業ニ從事シテ

居ル従事員ノ給料ハ從來通り渡切り支辨ト
云フコトニ致シタノデアリマス、其形式ハ
渡切り支辨デゴザイマスガ、實質ニ於テハ
給料ノ直轄ト變リノナイヤウニ致サウト云
フコトデ、保險年金事業従事員ニ對シテモ
通信事業従事員ト同様ノ給料ノ増額ヲ行ッ
タ次第デゴザイマス、従事員ノ待遇ニ付キ
マシテハ左様ナ譯デゴザイマスカラ、御諒
承ヲ願ヒマス

○**庄司委員** 待遇ノコトニ付テハ諒承致シ
マシタ、次ニ簡易生命保險ノ積立金ノ契約
者ニ對スル貸付金ハ一億二千餘万圓ニナッ
テ居リマスガ、契約者ニ對スル貸付ノ金利
ハ何分程度デアリマスカ、參考ノ爲ニ御伺
致シマス、ソレカラ今一ツ關聯シテ御伺致
シマスガ、積立金ノ運用委員會ト云フノガ
設置サレテ居ルサウデゴザイマスガ、是ハ
一箇年ニ何回位開催スルノデゴザイマス
カ、此二點ヲ御尋致シマス

○**藤川政府委員** 只今ノ御尋ノ最初ノ方
コトニ付キマシテハ、普通ノ契約者貸付ノ
利率ハ六分ニナッテ居リマス、ソレカラ保險

料ニ振替ヘル爲ノ貸付ハ四分八厘ト云フコ
トニナッテ居リマス、次ニ第二ノ御問ノ積立
金運用委員會ノ開催ノコトニ付キマシテ
ハ、從來年五六回位開イテ居リマス

○**庄司委員** 最初ノ方ノコトハ諒承致シマ
シタ、第二ノ積立金ノ運用委員會ガ本當ニ
年五六回開催サレテ居ルカドウカ私ハ疑問
ヲ持ツ、私ハ現在町村長ノ職ニ在ル者デゴ
ザイマシテ、此關係ノ資金ノ借款ヲ申込シ
ンダ場合ニ、運用委員會ガアリマセヌカラ來
年ノ春マデ待ッテ吳レト云フヤウナコトラ
往々地方ノ遞信局長ガ言フノデス、ソコデ
參考マデニ只今御伺シタノデスガ、是ハ出
來ルナラバ少クトモ一箇月ニ一回位資金ノ
運用委員會ヲ開催致シマシテ、或ハ市町村、
或ハ公共團體、色々ナ組合、積立金ノ借款
ヲ受ケル公私團體、或ハ社會事業一般ノ方々
ニヨリ以上ノ便利ヲ御與ヘ下サルノ御意思
ハゴザイマセヌカ、願クハ月ニ一回位ハ此
運用委員會ヲ開催シテ戴キタイト云フ私ノ
信念ノ上カラ、此上尙ホ今一度御伺シタイ
ト思ヒマス

○**藤川政府委員** 只今ノ御尋ニ御答致シマ
スガ、從來五六回ハ毎年開イテ居ルノデア
リマス、唯十二月以後ハ議會ノ關係ナドノ
爲ニ委員ノ方ガ全部御出席ヲ願フコトガ困

難ナ事情ガアリ、又運用計畫ヲ立テタリ、
色々ナ事情カラ致シマシテ大體年度初ニ比
較的多ク開催セラル、ヤウナ事情デアリマ
スルノデ、或ル時期ニハ會議ノ間隔ガ多少
長クナルヤウナ事情ガアルノデアリマス、
併シ三万圓以下ノ貸付ニ付キマシテハ、運
用委員會ニ掛ケナイデ、從來ハ遞信局長ニ
委任シテアリマシタノデスガ、今後ハ保險
院直接ニ致シマシテ、運用委員會ニ掛ケズ
ニ貸付ガ出來マスノデ、サウ云フモノハ成
ベク早く進メルヤウニ致シテ居ル譯デアリ
マス

○**庄司委員** 簡單ニ最後ニ御伺ヲ致シマス、
健康保險ノ相談所並ニ巡回健康相談ノ制度
ハ洵ニ地方町村ノ爲ニ結構ナ制度デゴザイ
マシテ、是ハ感謝ニ堪ヘマセヌ、ソコデ是
ハ契約者ノ數ニ依ッテ巡回ノ度數ナドモ異ッ
テ居ルヤウデアリマスルガ、ソレデハ所謂
資本主義的ノ——契約者ガ多イカラ其處ニ
何回モ回數ヲ多ク行ク、契約者ノ數ガ少イ
爲ニ——郵便局ノ設置ノゴザイマセヌ町村
モ全國ニ中々多イノデアリマスカラ、隨ヒ
マシテサウ云フ郵便局ノ設置ノゴザイマセ
ヌ町村ニハ加入者ガ割合ニ少イノデアリマ
ス、サウ云フ所ニ巡回相談所ノ御出張ハ極
メテ少イヤウナ情勢ニ相成ッテ居ルノデア

リマスル、即チ健康相談或ハ巡回健康相談
ハ國家ガ御ヤリニナル、大キナ國ノ御力デ
ヤルノニ、國民保健衛生上ノ健康相談ガ左
様ナ資本主義的ノ御考デ、加入者ガ少イカ
ラ、其村ニ年ニ一回シカ行カスト云フヤウ
ナコトデゴザイマシタナラバ、殊ニ全國ニ
ハ無醫村ノ山村漁村等モ相當多イノデアリ
マスルカラ、是ハ思ハシクナイト考ヘマス、
今度御惠澤ヲ地方町村ニ普遍化スル意味ニ
於テ、モット積極的ニ御ヤリ下サル御意思ガ
ゴザイマセヌデセウカ、是モ私共地方町村
ニ働イテ居ル在郷者トシテ痛切ニ感ジテ居
ル問題デゴザイマスルカラ、御計畫或ハ御
意思ヲ御伺申上ゲマス、殊ニ厚生省ガ保險
院ノ御管轄ト云フヤウナコトニナリマシタ
ノデ、十三年度ト云フ新シイ年度ヲ迎フル
ニ當ッテ、色々ナ新シイ厚生の御意見モア
ルト考ヘマスルノデ、此點ヲ厚生省ニ御伺
申上ゲテ置キタイト思ヒマス

○**藤川政府委員** 只今相談所ヤ巡回相談ガ
契約者ノ多イ所ヘ偏スルト云フ御話デアリ
マシタガ、是ハ決シテ簡易保險ノ經營ガ資
本主義的デアルカラト云フヤウナ譯デハ毛
頭アリマセヌ、唯健康相談所ニ致シマシテ
モ、巡回相談ニ致シマシテモ、契約者ノ爲
ノ福利施設デアルノデアリマスカラ、出來

ルダケ多數ノ契約者ガ利用スルト云フコト

ニナリマスルト、ドウシテモ契約者ノ多イ

所ヘ施設スルト云フコトニナルノデアリマ

ス、併シ豫算ノ許シマスル限リ、相談所ノ

數モ増設致シマスルシ、巡回相談ノ出張箇

所モ殖ヤスコトニ致シテ居リマシテ、殊ニ

來年度ノ豫算ニ於キマシテハ、相談所ノ増

設箇所モ八箇所デアッタト思ヒマスガ計上

致シテ居リマス、ソレカラ巡回相談ノ出張

箇所モ相當多數増加致スコトニ致シマシテ、

契約者ノ比較の少イ所ニモ出張ノ出來ルヤ

ウニ致シタイト考ヘテ居リマスシ、又只今

御話ノ無醫村ト云フヤウナ點ニ付テモ、十

分考慮シテ場所ヲ選擇致シタイト考ヘテ居

リマス

○庄司委員 大體只今ノ御意思デ諒承致シ

マシタ、是デ私ノ質問ヲ終リマス

○山田政府委員 一寸只今ノ御質問デ御答

ヘスルノヲ漏シテ居リマシタガ、保險事業

ニ從事シテ居ル従事員ノ人數、一二等、特

定三等郵便局、之ヲ直轄局ト私共稱シテ居

リマス、此直轄局ノ従事員ガ約一萬八千人、

ソレカラ普通三等局ニ從事シテ居ル者ガ約

五千人、合計二萬三千人ニナッテ居リマス

○小池委員 少シ御尋ヲ致シマス、最初ニ

簡易保險ノ事業費ガ收入保險料ノ何割ニ

ナッテ居ルカト云フコトヲ御説明願タイ

○藤川政府委員 簡易保險ノ事業費ハ表定

保險料ノ二割五分ト云フ計算ニナッテ居リ

マス、併シ從來ニ於テ多少事業費ノ節約ニ

付キマシテハ、出來ルダケ努力致シテ居リマ

スノデ、實際ニハ多少餘裕ガアリマシテ、ソレハ

保險ノ積立ノ方ニ廻シテ居ル譯デアリマス

○小池委員 ソレデハ斯ウ云フコトハ分

リマセヌカ、一般民營生命保險會社デハ

收入保險料ノ何割ガ事業費カト云フコトヲ

大體ノ通念デ言フテ居ル、ソレト同ジヤウナ計

算方法デ簡易保險局ノ方デモアリマスカ

○藤川政府委員 實際ニ使ッテ居リマス事

業費ハ保險料收入ノ一割四分七厘ニ當ッテ

居リマス

○小池委員 サウシマスト簡易保險ノ今御

答ニナッタ所ノモノガ一割四分乃至一割五

分、民營ノ生命保險會社ノ事業費ノ割合ト

云フモノガ、同ジ計算ニ於テ載イタ資料カ

ラ見マスト色々契約高ノ大小ニ依ッテ幾ッ

モ出テ居リマスガ、三億圓以上ノ會社ニ付

キマシテハ、昭和十二年度ニ於テ收入保險

料ニ對スル事業費ノ割合ガ一割八分・一三ト

ナッテ居ル、勿論此中ニハ簡易保險ノ方デ

ハサウ云フ事業ニナイ所ノ醫師ノ報酬ト云

フモノモ含マレテ餘計ニ掛ルノデアリマス

カラ、民間生命保險會社ノ割合ガ高クナル

コトハ是ハ分ル譯デアリマスケレドモ、其

差ガ簡易保險ノ率ト民間生保ノ率トノ差ガ

少シ大キイヤウニ思ヒマスガ、ソレハドウ

云フ點ニ於テ大キクナッテ居リマスカ

○藤川政府委員 ソレデハ私ノ方ノ關係ノ

コトニ付テ御答申上ゲマス、簡易保險ノ事

業費ガ比較的低廉ニ行ッテ居リマスコトハ郵

便局ヲ利用致シテ居リマスコトガ非常ニ大

キナ原因ヲ成シテ居リマス、尙ホ其他ニ事

業ノ經營上出來ルダケ合理化ヲ圖リマシテ、

事業費ノ節約ヲ圖ッテ居ルコトモ大キナ理

由デアラウト考ヘマス

○牧政府委員 實ハサウ云フ比較ラシテ考

ヘタコトガアリマセヌノデ、不正確ナコト

ヲ申上ゲルコトニナリマスカラ差控ヘマス

○小池委員 今藤川局長カラノ御話ハ郵便

局ヲ色々機關ニ利用シテ居ルコトト、ソ

レカラ色々合理化ヲ極度ニ圖ッテ居ルガ爲ニ

成績ガ擧ッテ居ルノダト言ハレマシタガ、然

ラバ商工省ニ御尋申上ゲルノガ至當ト存ジ

マス、厚生省ハ御關係ガナイト思ヒマスガ、

合理化ヲヤッテ國家ガ生命保險ヲ經營シ事

業費ヲ節約シタ見本ヲ示シテ居ルノデアリ

マスカラ、是ハ先程土屋君ガ言ハレタヤウ

ナ大キナ缺陷ガアリハシナイカト思ハレテ

居ル、民間ノ生命保險會社ニ對シテ、折角

示シタ此手本ヲ以テ、何等カソコニ良キ相

談相手ニナッテヤルト云フ態度ガアッテ然ル

ベキデナイカト思フ、牧局長ハサウ云フ比

較ヲ爲サッタコトハナイト仰セラレタノデ

スガ、ナイコトハ無イト思フノデアリマス、

其邊ノコトハ御承知ト思フノデアリマスガ、

サウ云フ點ニ付テ民間ノ生命保險ハヤハリ

國民大衆ノ爲ノ生命保險デアリマス、單ナ

ル營業デヤナイノデス、幾分デモ被保險者

ノ利益ニナルヤウニ商工省ガ監督者トシテ、

親切ナ態度ヲ今マデ執ッテ置カネバナラナ

カッタト思フ、今迄サウ云フ點ニ無關心デア

ラレタト云フノヲ今責メテモ仕方ガアリマ

セヌガ、今日以後サウ云フ問題ニ付テ十分

民間生保ニ對シテ注意ヲ與ヘ、良キ相談相

手ニナッテヤルト云フ御意思ヲ持ッテ戴キタ

イト思フノデアリマス、其點ニ付テ御意見

ヲ伺ヒタイ

○牧政府委員 此保險事業經營ノ事業費ヲ

低減セシメルト云フコトノ必要ハ痛感致シ

テ居リマス、隨テ此方面ノ指導ナリ監督ヲ

スルコトハ、實ハ少シ成績ノ惡イ會社カラ

ハヤリ過ギルト言ハレル程度ニヤッテ居ル

譯デゴザイマスガ、御趣旨ノ點ニ鑑ミマシテ

尙ホ一層監督ハ嚴重ニ致シタイト考ヘマス、

大體事業費ノ多イ點ハ此生命保險事業ノ健全ナ發達ヲ圖ル上ニ一番大切ナ點デアリマシテ、是ガ低減ヲ圖ラナクチャナラヌト云フコトハ、十分將來共考慮シテ行キタイトハ考ヘテ居リマス、ソレカラ先程私ノ言葉ガ足りナカッタデアリマスガ、無關心デアルヤウニオ執リニナッタヤウデアリマス、決シテ無關心デナイ、其點ノ監督ヲ最モ大切ナコト考ヘテヤッテ居リマス、尙ホ此兩事業費ノ比較ニ付キマシテハ少シ審カニスルコトノ出來ナイ點モアリマシテ、直接ノ比較ハ困難デアルカノヤウニ考ヘマスガ、民間ノ生命保險事業ノ事業費ノ中ニハ幾分其設備ニ對スルモノ、早イ話ガ家賃デアルトカ、税金デアルトカ云フヤウナ點モアリマシテ、幾分高クナッテ居ルヤウニ考ヘラレルノデアリマス

○小池委員 御趣意ハ分リマシタケレドモ、監督ヲ嚴ニスルト云フ問題デハナイノデアリマス、私ノ希望シマスルノハ、監督ト云フヤウナ消極的ナ、事業家ガ其事業ヲシタ後ノ監督ヲシ、ソレニ批判ヲ與ヘルト云フ監督デハイケナイノデアッテ、今生命保險會社ガヤッテ居テ、非常ニ不合理ナ經營形態ヲヤッテ居ル、其事ニ付テドノ點ヲ斯ウシロ、ア、シロト云フ積極的ナ指導ヲシテヤ

ラナケレバナラナイト云フコトヲ希望スル

ノデアリマス、是ハ大變大キナ問題デアッテ中々拋棄シテ置ク譯ニハ行カナイ、此戴イタ數字カラ言ヒマシテモ一八・一三ト云フ率ニナッテ居リマスガ、ソレハ醫師報酬ヲ差引イタト致シマシテモ、收入保險料ノ一%ニ過ギナイノデアリマスカラ、一七%ト云フ事業比率ヲ示シテ居リマス、今藤川局長ノ御話ニ依リマス十四何「パーセント」ト云フ、即チ約二「パーセント」ノ違ヒガアル、アノ龐大ナ收入保險料ノ、民間ノ其二「パーセント」ト云フト非常ニ大キナモノデアル、是ハ御承知ノヤウニ今日ノ生命保險ト云フモノノ保險料ヲ低廉ニ致シマスル爲ニモ、事業費ヲ突ツク以外ニハ方法ハナイ、總資産ノ利廻リヲ段々低下スル情勢ニアリマスカラ、其方面ニハ消極的ナ一ツノ惡材料デアル、死差益或ハ利差益ト云フヤウナモノモ皆行詰ツテ動キガ付カヌノデス、サウ云フ方面カラ節約ヲシ、合理的ナ經營ヲスルト云フ途ハ一寸絶タレテ居リマス、唯僅ニ殘ッテ居ルノハ此事業費ヲ如何ニシテ節約スルカト云フコトニ依ッテ被保險者ノ保險料ヲ上げナイデ、或ハ幾分ノラ低下スルコトガ出來ル途ガ發見セラレル、此點ヲ等閑ニシテ居ラレル、等閑ニシテ居ルト云フ譯デモナイヤウデアリ

マスガ、モウ一段ト積極的ニ民間保險會社

ニ此良キ簡保ノ御手本ヲ示シテヤッテ戴イタナラバ、非常ナ大キナ違ヒガ被保險者、國民大衆ノ上ニ被サッテ來ルト思フ、第一斯ウ云フコトガハッキリ分ッテ居ルノデ、生命保險會社ヘ行ッテ斯ウ云フモノヲ貰ッテ來テ見マシテモ一ツノ示唆ガ分ル、是ハ第一生命保險ノ案内書デアリマスガ、ソレヲ見マシテモ第一生命ガ何ヲ威張ッテ居ルカト云フト、自分ノ所ノ事業費ハ他ノ競爭保險會社ニ比ベテ安イ、十四・九%ト書イテアル、丁度今簡易保險局ノ事業費トトシノデアリマス、サウスレバ簡易保險局ヨリモ、第一生命ガ事實此通りナラバ、時々嘘ガ書イテアルケレドモ、之ヲ本物トシテ信ズルナラバ、簡易保險ヨリモ上手ニヤッテ居ル、是ガ是ダケ安ク行ッテ十四・九%デアレバ、簡易保險ノ今迄ヤッテ安イト思ッタ十四・九%ト云フ事業費ハ、マダ何カ不合理ナ點ガアルノヂヤナイカト考ヘテ戴カナケレバナラス、私ガ一寸窓口ヘ行ッテ貰ッテ來テモ斯ウ云フコトガ書イテアル、矢野社長ガ何ヲ威張ッテ居ルカ、何故安ク行クカト云フト、自分ハ代理店ヲ置カナイカラダト云フ、斯ウ云フ經營方法ガアル、尤モ是ガ宜イト言ッテ一切ノ民間生命保險ニ代理店ヲ止メロト言ヘバ、大

變ナ問題デアルカラ、サウ云フコトハ出

來マセヌケレドモ、ヤラウトスレバサウ云フヤリ方モアリマス、サウシテ事業費ト云フモノヲ第一生命ハ氣ヲ付ケテ安クシ、被保險者ノ保險料ノ高クナラナイヤウニ防イデ居リマス、斯様ナコトガ説明書ニ書イデアリマス、代理店ヲ置カナイデ置ケバ保險料百圓ニ付テ五六圓ノ經費ガ節約出來ルト云フコトヲ書イデアリマス、是ハ大變大キナ問題デス、而モ之ヲ契約年度ダケデナク、契約ノ消却マデ引續キ百圓ノ保險料ニ付テ五六圓ノ經費ハ節約サレル、是モ一ツノヤリ方デアリマシテ、是ノ善シ惡シト云フモノヲ一ツ研究シテ戴イテ、サウシテ是ガ宜カッタナラバ斯ウ云フヤウナ方法ヲ他ノ生命保險會社モヤレヨト言ッテ一ツ教ヘテヤッテ、無理ニヤラシテ行ケバ、事業費ト云フモノガ全體減ッテ來マスト大變ナ金額ニナル、尤モ是ハ善キモノトシテ、正シイ報告ヲシテアルモノト考ヘテノ話ニ過ギマセヌケレドモ、簡易保險ノ方デモ事業費ヲ出來ルダケ節約スル、モウ一層ノ御考究ヲナサッタラドウカト云フコトヲ申上げマス、ソレハソレダケニシテ置キマシテ、簡易保險ノ積立金ノ中カラ、公共事業ニ貸付ケテ居リマスガ、其利廻リハ平均ドノ位ニ

ナッテ居リマス——其間ニ進藤長官ニ伺ッテ置キタイノデスガ、此保險ト云フモノハ、危險ノ負擔ヲ分散サセテ行クモノデアリ、

理想狀態ニ既ニ達シテ居ル、斯ウ考ヘテ居リマス

又サウサセナケレバナライノデスガ、危險ノ負擔分散ヲ一層徹底的ニシテ行ク爲ニハ、保險業ト云フモノヲ、是ハ簡易保險ニ

○小池委員 ソレハソレ位ニシテ置キマス——斯ウ云フコトハナイカト思ヒマスガ、現在ノヤウニ、民營ノ生命保險ト官營ノ生命保險ガ竝立シテ居リマス、サウスルト危

致シマシテモ、民間生命保險ニ致シマシテモ、出來ルダケ大規模ノ形態ニシテ行クコトガ宜イト思ヒマス、是ハ當然ノコトト思

險率ノ高い種類ノモノガ官營ノ方ニヤッテ來テ、低いモノノ方ガ民營ノ方ニ流レテ行クト云フ虞ハナイカト云フコトヲ懸念シテ居リマスガ、如何デアリマセウカ

ヒマスガ、サウ云フ意味ニ於テ、現在ノ簡易保險ト民間ノ生命保險トガ別々ニアルト云フコトハ望マシイコトデヤナイ、理想的

○進藤政府委員 大體今仰シヤラレタ通りデアルト思ヒマス、ト云フノハ民間ノ保險ハ審査シテ其審査ニ合格シタ者ヲ入レルノデアリマスガ、簡易保險ハ無審査デア

ニ言ヘバ簡易保險ノアノ大規模ナ一ツノ事業ト民間ノ生命保險ノ事業トヲ一緒ニ合體シテヤレバ、危險分散ト云フモノガ非常ニ

リマシテ——ソレハ弱者ト云フ意味デハアリマセヌケレドモ、審査シナイ結果、弱者ガ入ルノハ當然ダト思ヒマス、唯先程申上ゲマシタヤウニ、人數ガ非常ニ多イ爲

徹底シテ來ル、斯ウ思ヒマスガ、ソレニ付テノ御意見ハ如何デスカ

ニ弱イ者モアリ、又強イ者モアルト云フノデ、非常ニ平均化サレテ居ルト云フコトハアラウト思ヒマス

○進藤政府委員 只今ノ御話ノ通り、保險事業ト云フモノハ總テ加入者ガ殖エレバ殖エル程、危險分散ガ行ハレテ、經營ガ巧ク

○小池委員 確ニサウラシイノデアリマス、危險率ノ高いモノガ官營ノ方ニ流レテ居ルト思ハレル一ツノ例ハ——委員長チヨット速記ヲ止メテ下サイ

行クト云フコトハ御同感デアリマス、其點カラ言ヒマスト今日ノ簡易保險ハ國民ノ三分ノ一三千万人モ入ッテ居ルト云フ譯デア

○伊東委員長代理 ソレデハチヨット速記ヲ止メマス

リマシテ、民間十社ヲ皆合セタモノノ三倍位ニナッテ居リマシテ、現在ノ簡易保險ニ於テ既ニモウ危險分散ハ極度マデ行ッテ居ル、

○伊東委員長代理 速記ヲ始メテ下サイ

テ既ニモウ危險分散ハ極度マデ行ッテ居ル、

○小池委員 最後ニ私ノ結論ニナルノデアリマスガ、生命保險ハ申スマデモナク、載イタ本ニモ書イテアリマスガ、國民ノ將來ノ生活保障ノ一ツノ有力ナル手段デアルコトハ勿論デアル、同時ニ先程藤川局長ノ言ハレタヤウニ、民間ノ産業若クハ國家目的ノ爲ニ保險事業ノ總資産ヲ有利ニ運用スル爲ノ有力ナ金融機關デアルコトハ事實デア

○伊東委員長代理 速記ヲ止メテ下サイ

○小池委員 最後ニ私ノ結論ニナルノデアリマスガ、生命保險ハ申スマデモナク、載イタ本ニモ書イテアリマスガ、國民ノ將來ノ生活保障ノ一ツノ有力ナル手段デアルコトハ勿論デアル、同時ニ先程藤川局長ノ言ハレタヤウニ、民間ノ産業若クハ國家目的ノ爲ニ保險事業ノ總資産ヲ有利ニ運用スル爲ノ有力ナ金融機關デアルコトハ事實デア

○伊東委員長代理 速記ヲ止メテ下サイ

○小池委員 最後ニ私ノ結論ニナルノデアリマスガ、生命保險ハ申スマデモナク、載イタ本ニモ書イテアリマスガ、國民ノ將來ノ生活保障ノ一ツノ有力ナル手段デアルコトハ勿論デアル、同時ニ先程藤川局長ノ言ハレタヤウニ、民間ノ産業若クハ國家目的ノ爲ニ保險事業ノ總資産ヲ有利ニ運用スル爲ノ有力ナ金融機關デアルコトハ事實デア

○伊東委員長代理 速記ヲ止メテ下サイ

○小池委員 最後ニ私ノ結論ニナルノデアリマスガ、生命保險ハ申スマデモナク、載イタ本ニモ書イテアリマスガ、國民ノ將來ノ生活保障ノ一ツノ有力ナル手段デアルコトハ勿論デアル、同時ニ先程藤川局長ノ言ハレタヤウニ、民間ノ産業若クハ國家目的ノ爲ニ保險事業ノ總資産ヲ有利ニ運用スル爲ノ有力ナ金融機關デアルコトハ事實デア

ヲ止メマス

バ、特殊ナ有價證券ヲ保有シナケレバナラスト云フコトモ、サウ云フコトカラ結論サレテ來ル、併シ今度二ノ根據カラ言ヒマスルト、契約ノ安全ヲ確保シテ行カウト云フ爲ニハ、餘リ特殊ナ有價證券ナドヲ保有シテ——餘リ利廻リノ良イモノヲ保有シテ貸付ヲスルコトハソレダケ危險率ガ多クナリマス、隨テ安全性ガ危クナッテ來ルト云フコトニナル譯デス、デスカラ被保險者ノ契約ヲ安全ニ保タセル爲ニハ、逆ニ利廻リノ薄イ安全ナ公債ノヤウナモノヲ持ッテ置ケバ、ヨリ以上ノ安全性ハ確保サレルコトニナル、此二ツノ矛盾シタ一ツノ行キ方ガ丁度良イ調和點ニ達シテ落付ク所ニ、保險ノ總資産運用ノ「ポインツ」ガ來ルノデナイカト思ヒマス、サウスルト他ノ一點カラ、國策的ニ保險會社ノ積立金ヲ運用シテ行クト云フ國策遂行ノ金融機關トシテ考ヘマス、斯ウ云フコトガ考ヘラレテ來ル、今言ヒマシタヤウナ國民ノ生活保障ト云フヤウナ觀點カラ考ヘテ、積立金ヲ運用シテ行ク所ノ範圍、其範圍ガ、國策的ノ金融機關ノ立場カラ云フト、又違ッタ方面カラ限定サレテ來ル、ソレハドウ云フ意味カト云フト、是ダケ莫大ナキナ生命保險ノ總資産ト云フモノヲ、何ニ一番運用シタラ宜シイカト言ヘバ、先

○伊東委員長代理 速記ヲ始メテ下サイ

○小池委員 最後ニ私ノ結論ニナルノデアリマスガ、生命保險ハ申スマデモナク、載イタ本ニモ書イテアリマスガ、國民ノ將來ノ生活保障ノ一ツノ有力ナル手段デアルコトハ勿論デアル、同時ニ先程藤川局長ノ言ハレタヤウニ、民間ノ産業若クハ國家目的ノ爲ニ保險事業ノ總資産ヲ有利ニ運用スル爲ノ有力ナ金融機關デアルコトハ事實デア

○伊東委員長代理 速記ヲ始メテ下サイ

○小池委員 最後ニ私ノ結論ニナルノデアリマスガ、生命保險ハ申スマデモナク、載イタ本ニモ書イテアリマスガ、國民ノ將來ノ生活保障ノ一ツノ有力ナル手段デアルコトハ勿論デアル、同時ニ先程藤川局長ノ言ハレタヤウニ、民間ノ産業若クハ國家目的ノ爲ニ保險事業ノ總資産ヲ有利ニ運用スル爲ノ有力ナ金融機關デアルコトハ事實デア

○伊東委員長代理 速記ヲ始メテ下サイ

○小池委員 最後ニ私ノ結論ニナルノデアリマスガ、生命保險ハ申スマデモナク、載イタ本ニモ書イテアリマスガ、國民ノ將來ノ生活保障ノ一ツノ有力ナル手段デアルコトハ勿論デアル、同時ニ先程藤川局長ノ言ハレタヤウニ、民間ノ産業若クハ國家目的ノ爲ニ保險事業ノ總資産ヲ有利ニ運用スル爲ノ有力ナ金融機關デアルコトハ事實デア

○伊東委員長代理 速記ヲ始メテ下サイ

○小池委員 最後ニ私ノ結論ニナルノデアリマスガ、生命保險ハ申スマデモナク、載イタ本ニモ書イテアリマスガ、國民ノ將來ノ生活保障ノ一ツノ有力ナル手段デアルコトハ勿論デアル、同時ニ先程藤川局長ノ言ハレタヤウニ、民間ノ産業若クハ國家目的ノ爲ニ保險事業ノ總資産ヲ有利ニ運用スル爲ノ有力ナ金融機關デアルコトハ事實デア

○伊東委員長代理 速記ヲ始メテ下サイ

○小池委員 最後ニ私ノ結論ニナルノデアリマスガ、生命保險ハ申スマデモナク、載イタ本ニモ書イテアリマスガ、國民ノ將來ノ生活保障ノ一ツノ有力ナル手段デアルコトハ勿論デアル、同時ニ先程藤川局長ノ言ハレタヤウニ、民間ノ産業若クハ國家目的ノ爲ニ保險事業ノ總資産ヲ有利ニ運用スル爲ノ有力ナ金融機關デアルコトハ事實デア

○伊東委員長代理 速記ヲ始メテ下サイ

○小池委員 最後ニ私ノ結論ニナルノデアリマスガ、生命保險ハ申スマデモナク、載イタ本ニモ書イテアリマスガ、國民ノ將來ノ生活保障ノ一ツノ有力ナル手段デアルコトハ勿論デアル、同時ニ先程藤川局長ノ言ハレタヤウニ、民間ノ産業若クハ國家目的ノ爲ニ保險事業ノ總資産ヲ有利ニ運用スル爲ノ有力ナ金融機關デアルコトハ事實デア

○伊東委員長代理 速記ヲ始メテ下サイ

○小池委員 最後ニ私ノ結論ニナルノデアリマスガ、生命保險ハ申スマデモナク、載イタ本ニモ書イテアリマスガ、國民ノ將來ノ生活保障ノ一ツノ有力ナル手段デアルコトハ勿論デアル、同時ニ先程藤川局長ノ言ハレタヤウニ、民間ノ産業若クハ國家目的ノ爲ニ保險事業ノ總資産ヲ有利ニ運用スル爲ノ有力ナ金融機關デアルコトハ事實デア

○伊東委員長代理 速記ヲ始メテ下サイ

○小池委員 最後ニ私ノ結論ニナルノデアリマスガ、生命保險ハ申スマデモナク、載イタ本ニモ書イテアリマスガ、國民ノ將來ノ生活保障ノ一ツノ有力ナル手段デアルコトハ勿論デアル、同時ニ先程藤川局長ノ言ハレタヤウニ、民間ノ産業若クハ國家目的ノ爲ニ保險事業ノ總資産ヲ有利ニ運用スル爲ノ有力ナ金融機關デアルコトハ事實デア

○伊東委員長代理 速記ヲ始メテ下サイ

○小池委員 最後ニ私ノ結論ニナルノデアリマスガ、生命保險ハ申スマデモナク、載イタ本ニモ書イテアリマスガ、國民ノ將來ノ生活保障ノ一ツノ有力ナル手段デアルコトハ勿論デアル、同時ニ先程藤川局長ノ言ハレタヤウニ、民間ノ産業若クハ國家目的ノ爲ニ保險事業ノ總資産ヲ有利ニ運用スル爲ノ有力ナ金融機關デアルコトハ事實デア

○伊東委員長代理 速記ヲ始メテ下サイ

○小池委員 最後ニ私ノ結論ニナルノデアリマスガ、生命保險ハ申スマデモナク、載イタ本ニモ書イテアリマスガ、國民ノ將來ノ生活保障ノ一ツノ有力ナル手段デアルコトハ勿論デアル、同時ニ先程藤川局長ノ言ハレタヤウニ、民間ノ産業若クハ國家目的ノ爲ニ保險事業ノ總資産ヲ有利ニ運用スル爲ノ有力ナ金融機關デアルコトハ事實デア

○伊東委員長代理 速記ヲ始メテ下サイ

○小池委員 最後ニ私ノ結論ニナルノデアリマスガ、生命保險ハ申スマデモナク、載イタ本ニモ書イテアリマスガ、國民ノ將來ノ生活保障ノ一ツノ有力ナル手段デアルコトハ勿論デアル、同時ニ先程藤川局長ノ言ハレタヤウニ、民間ノ産業若クハ國家目的ノ爲ニ保險事業ノ總資産ヲ有利ニ運用スル爲ノ有力ナ金融機關デアルコトハ事實デア

○伊東委員長代理 速記ヲ始メテ下サイ

○小池委員 最後ニ私ノ結論ニナルノデアリマスガ、生命保險ハ申スマデモナク、載イタ本ニモ書イテアリマスガ、國民ノ將來ノ生活保障ノ一ツノ有力ナル手段デアルコトハ勿論デアル、同時ニ先程藤川局長ノ言ハレタヤウニ、民間ノ産業若クハ國家目的ノ爲ニ保險事業ノ總資産ヲ有利ニ運用スル爲ノ有力ナ金融機關デアルコトハ事實デア

程ドナタカラカ御話ガアツタヤウニ、直接國策ト言ヒマスカ、直接的ナ國策遂行ノ爲ニ是ダケノ大キナ資産ヲ使ッテ行クト云フコトガ一番望マシイコトデアル、間接的ノモノハ段々後ニシテ、直接的ノモノニ向ッテ總資産ノ運用ヲソコニ持ッテ行クト云フコトガ本當ダト思フ、例ヲ擧ゲテ言ヘバ、國策的ノ産業ト云フモノガアリマス、サウ云フモノニ投資ヲスルト云フコトガ、保險業ノ積立金ノ運用ノ第一義ダ、斯ウ云フ方面カラ言ヒマス、第二ニハ國債ノ引受、或ハ地方公益事業ナドノ貸付ケ、或ハ社會政策の事業ナドニ貸付ケルト云フコト、サウ云フヤウナ積立金ノ運用方法ヲスルノガ當然ノコトダト思フ、簡易保險ガヤッテ居ルヤウナ、アレニ似タヤウナ積立金ノ運用ノ方法ガ妥當ノヤリ方ヂヤナイカト思フ、是ニ當局ニ於テモサウヤッテオ居デニナル譯デス、所ガ之ヲ民間ノ生命保險ノ方ニ付テ考ヘテ見ルトサウ行ッテ居ラスノデアリマス、簡易保險ノ十四億ノ積立金ト云フモノハサウ云フ妥當ナ國策ノ方向ニ向ッテ運用サレテ居リマスケレドモ、民間ノ方デハ必シモサウ考ヘテ居ナイ、同じ生命保險カラ得マシタ所ノ積立金ヲ別ノ意圖ニ於テ使ハレルト云フコトハ國トシテ損デアリマス、折角簡易保險ノ方デヤッテ居ルヤ

ウナ積立金運用ノ方法ガ宜イト信ジテオキデニナルナラバ、民間ノ生命保險積立金ガ約三十億圓アル、簡易生命保險ノ積立金ヨリモ更ニ大キナ總資産ト云フモノニ對スル運用方法ヲ、簡易保險ノ方法ノ上ニ持ッテ行ッテヤルト云フ風ナ努力ガアッテ然ルベキヂヤナイカト思フ、民間ノ方デドウ云フコトヲヤルカト云フト、私ハ斯ウ云フヤウニ想像スルノデアリマス、ソレヲ一ツドシ／＼直シテ戴カナケレバナラスト云フ熱意ヲ持ッテ居リマスカラ申上ゲタイ、先ヅ民間生命保險會社ハ何ヲ目指スカト云フト、サウ云フ積立金ヲ國民生活ノ保障、或ハ國策的ノ産業開發、或ハ事業ノ進展ニ利用シヨウト云フヤウナ公正ナ立場カラ出發ヲスルノデハナクテ、事實ハ今日先ヅ自分ノ保險會社ノ料金ヲ出來ルダケ安クシヨウト云フコトニ躍起ニナル、ソレガ生命保險事業者ノ先ヅ最初ノ出發點デアルト思フ、是ハ已ムヲ得ナイト致シマシテ、今日ノヤウナ民間生命保險會社ノ濫立狀態、競争狀態ヲ默認シテ居ルトスレバ、競争ノ爲ニ保險料ヲ安クシナケレバ仕事ハ出來メヌカラ、是ハ已ムヲ得ナイ、而モ其保險料金ノ低下ヲ圖ル爲ニハ、資金運用ノ利廻リヲ成ベク高率ニシヨウトシテ、其點カラ保險料ノ低下ヲ求メン

トシテ居リマス、先刻申上ゲマシタヤウニ、事業費ノ節約ト云フ問題ハ現在ノ民間生命保險會社デハ是レ以上今ノ儘デ置ケバ求メ惡イデセウ、隨テ總資産ノ運用ノ利廻リヲ出來ルダケ高率ニシテ、サウシテ其結果保險料ヲ安クシ、他ノ會社ニ打勝ッテ御得意ヲ取ラウトスルコトニ躍起ニナッテ居ル譯デアリマス、ソレデスカラ民間ノ方ノ總資産運用ノ内譯ヲ見マスト、簡易生命保險ノ積立金運用ノ内譯トハマルデ違ヒマシテ、特殊ナル投資方法、或ハ貸付方法ヲシテ居ル、第一ニ考ヘマスコトハ利廻リノ多イ有價證券ヲ一生懸命買ハウトシテ居ル、是ハ御承知ノ通りデアル、更ニ茲ニ一ツ考ヘテ戴カナケレバナラストハ、民間生命保險會社ハ極ク少數ノ株主デアリ、大シタ採金デハアリマセヌケレドモ、株主トシテ非常ニ高率ノ配當ヲ取ラウトシテ相當焦ッテ居ルコトハ事實デス、之ヲ言ヒマス、民間生命保險會社ノ批判ヲシマシテ、株主ノ配當ガ高率デアルト言フト、ソシナコトニ拘泥ハッテ居ルコトハ馬鹿デハナイカ、普通ノ他種ノ會社ト違ッテ、生命保險會社ト云フモノハ非常ニ株金ガ少イノダ、ソシナモノガ二割三割餘計ナ高率配當ヲシタ所デ、總額ニ於テハ大シタコトハナイ、ソシナモノヲイジクッテ居ッ

タ所デ保險金ヲ安クスルト云フコトニハチットモ役立タナイ、ト云フコトヲ言ハレマストケレドモ、サウハ思ハナイ、此處ヲ締メテ行カナケレバ民間生命保險會社ノ保險料ヲ安クシ且ツ安定スルコトハ出來ナイト思フ、何故カト申シマスト、是ハ詳シク申上ゲル必要モナイケレドモ、要スルニ株主ノ配當ヲ今ノヤウナ高率ヲ持續スルト云フ爲ニハ、第一ニ被保險者ニ配當スベキ割戻金、之ヲ四分ナラ四分、五分ナラ五分ト云フ風ニ十分配當シタ上デナケレバ株主ハ高率配當ヲ取ル譯ニハ行カヌノデス、サウスルト株主ガ今ノヤウナ高率配當ヲ取ル爲ニハ、先ヅ第一ニ被保險者ニ相當程度ノ、豫約シテ置イタヤウナ割戻金ヲ先ヅ先ニ配當シテヤラナケレバナラスト、其爲ニハドウシテモ總資産ト云フモノヲ極メテ高利廻リノ方面ニ貸付ケ、或ハ投資シナケレバソレダケハ出マセヌ、株主配當ヲ高率ナラシメンガ爲ニ無理ニ危イ危險ナ株デハアルケレドモ相當利廻リノ宜イモノニ飛ビ付カウトスル、ソコニ民間生命保險會社ノ非常ニ危險ナ所ガアルト思フ、ソレガ又民間生命保險會社ハ國家ノ非常ニ困難ニナッテ來タ場合ニ於テモ成ベク國債ナドハ買ヒタクナイトシテ逃廻ル所以デアル、此頃幾分民間生命保險會社モ

國債ヲ餘計買フヤウニナリマシタケレドモ、本當ノ肚ヲ割レバ成ベクナラバ公債ナンカ逃ゲタイト思ッテ居ル、公債ヲ持チタクナイ、或ハ國策的ノ一ツノ産業ナラ産業ニ投資ヲ惜ンデ、國策的ニ必要ナリヤ否ヤト云フコトハ全く無關係ニ利廻リガ好ケレバ宜イト云フ方面ニ喜ンデ資金ヲ流シタクナルト云フノハ、今ノ民間生保會社ノ競争濫立ノ經營形態ガ然ラシムル所デアル、簡易保險事業ノ方ハソシナ必要ガアリマセスカラ、此説明ノ「パンフレット」ニ書イテアリマセウニ、先ツ國策ヲ考ヘ、國民ノ利害ヲ考ヘテ、アレダケ十四億ノ資金ヲ運用シテ居レル、是ハ何者ニモ憚ル所モナケレバ拘泥ハルコトモナイカラ素直ニ投資スルコトガ出來ル、現在ノ民間生保會社ハソシナ素直ナ投資、或ハ貸付ハ出來マセヌ、ソレハ濫立競争ノ然ラシムル所デアル、私ハ斯ウ云フ風ニ考ヘナケレバナラヌヤウニナツテ來ルト思フノデス、サウシマスルト否デモ應デモアレダケノ龐大ナ民間三十億ノ總資産、之ヲ簡易保險十四億ノ資産ノ如クニ素直ニ運用セシムル爲ニハ、ドウシテモ此際何等カ民間生保ノ經營形態ヲイジクラナケレバイケナイト云フ風ニ考ヘラレテ來ルノデス、私ハ國營ハ宜イト思ッテ居ルケレド

モ、強イテ國營ガ好キナルガ故ニ民間生保ヲ國營ニスベシト云フ議論デハナイノデ、色々考ヘテ來レバ結論ハドウシテモ今ノヤウナ形デハイケナイ、何等カ纏ッタモノニシナケレバナラスト云フ結論ニナッテ來ルカラ、常ニサウ云フコトヲ言ッテ居ルノデアリマス、ソコデ先刻ノ土屋君ノ御話ガアッタノデスケレドモ、強イテ之ヲ國家ガ買收ヲシテ國營ニスルト云フコトハ強チ宜イトハ言ヘナイト思フ、土屋君ノ言ハレタ所ノ一ツノ事實モ相當考フベキデアリマシテ、私モ此頃ハ斯ウ云フ方法モ一ツノ方法デハナイカト思フノハ

〔伊東委員長代理退席、委員長著席〕

例ヘバ一番初ニ一寸申上ゲタガ、今ヤッテ居リマス簡易保險ト民間ノ生命保險會社ヲ打ッテ一丸トシテ之ヲ民營會社ニスルト云フ方法モアリ得ルト思ヒマス、丁度二三年前ニ出マシタ所ノ日本製鐵ト云フヤウナ形モ一ツノ考ヘラレル方法デス、是モ議論ハアリマセウ、アリマセウケレドモ、ア、云フヤウナ方法モ又一ツノ方法トシテ其生保ヲ檢討スベキ經營形態ノ一ツダト思フ、何レニシマシテモ今ノヤウナ三十社ニ垂ントスルヤウナ生命保險會社ヲ設立セシメテ居ルト云フコトダケハ、早く一ツ何トカ始メシナケレ

バナラナイト思ヒマス、同時ニ其際ニ民間ダケヲ一纏ニスルヨリモ、民間ヲ纏メルト同時ニ、官營ノ簡易保險モ其中ニ突込ンデ融ケ込マシテ見タナラ何等カ茲ニ新シイ良キ經營形態ガ生レテ來ルノデハナイカトモ思ハレル、ソシナ風ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、一ツ兩當局ノ御意見ガアレバ伺ヒタイト思ヒマスケレドモ、是モ亦餘リハッキリシタ御答辯ハ出來ナイ立場ニ居ラレルト思ヒマスカラ強イテハ御問ヒ致シマセヌ、何カ御意見ガアレバ簡單デ宜シウゴザイマスカラ承リタイト思ヒマス

○工藤政府委員 アナタノ御意見ハ御意見

トシテ極メテ適切ナ御意見デアルカモ知レマセスケレドモ、是ハ主トシテ商工省ニ屬スル監督上ノ問題デアリマス、厚生省トシテハ商工省ノ監督ガ能ク行ッテ呉レ、バ宜イト思フコトダケハ希望スルケレドモ、他省ニマデ入ッテ私ノ意見ヲ申上ゲルコトハ出來マセヌ、併シ簡易保險ノ關係ニ於テハ出來得ルダケ左様ナ方法ニ依ッテ最善ヲ盡シテ好成绩ヲ擧ゲタイト云フコトハ考ヘテ居リマスガ、先ツ御意見ニ對シテハ議論ヲスル場合デモアリマセスカラ、私ノ意見ハ申上ゲマセヌ、是ダケ御答シテ置キマス

○小池委員 ソレデ私ノ質問ハ濟ンダノデ

アリマスガ、一言簡單ニ申上ゲマス、今ノヤウニ何等カ一ツサウ云フ點ニ積極的ニ、商工省モ厚生省モ省ノ別ハナイト思ヒマスガ、表面ニ發表スル必要ハアリマセヌガ、内部デハ十分御研究シテ戴キタイト思フノデアリマス、ウツカリ發表スルト色々障礙ヲ起スカト思ヒマスガ、例ヘバ先刻ドナタカノ御質問ニ、今度簡易保險ノ金額ヲ七百圓デハ少イ、千圓ニ増額シタラドウカト云フ質問ニ兩當局ノ御話ハ、千圓位ニシタイケレドモ、ソレハ斯クノ斯様ノ障礙ガアル、サウシテ結局其障礙ハ民營ノ生命保險デアリマス、其民營ノ生命保險ハ簡易保險ガ千圓ニマデ上ゲテモソレト競争ヲシテ耐ヘ得ルダケノ業態ヲ作ラセルマデ其引上ゲヲ俟タナケレバナラスト云フ御答辯ガアッタ、ソレハ唯待ッテ居ッテモ好クナリハシマセヌ、唯待ッテ居ッテモ未來永劫ニ千圓ニハナリマセヌ、ソコデ千圓ニ耐ヘ得ルヤウニ民間生命保險會社ヲドウ「リード」スベキカト云フコトガ兩當局ニ課サレタル新シイ問題デス、所ガ私が申上ゲタヤウニ之ヲ一纏メニ打ッテ一丸トスル何等カノ方法ヲ考ヘテ下サラナケレバ、解決點ハゴザイマセヌ、小サナ弱小生保會社ヲ僅ニ合同セシムル位ノコトデハ何モ問題ノ解決ニハナラナイ、ヤ

ハリ是モ亦電力會社ト同ジヤウニアレ位ノ數ノ大會社ガアル、其大會社ヲ如何ニ纏メラルカト云フコト、ソコマデ一步進シテ下サラナケレバ、七百圓ト云フノハ未來永劫七百圓デス、ソコデ逃ゲラレテハ困ルノデス、胡麻化サレテ、斯ウ云フ希望ガアルガ、將來其希望ノ實現マデ待ッテ居ッテ呉レト言ハレテモ私共ハソシナ妙ナ希望ハ持テナイ、其對策ヲ持ッテ下サラナケレバイカス、其對策ニ付テ、今ドウ云フ對策アリヤト御問ヒシタ所デ、ソレハ胸ノ中ニオアリニナッタ所デ發表出來ナイ、ソレハ知ッテ居リマス、併シ發表出來ナイカラト云ッテ、何モシナイデ居ラレタノデハ、百年經ッテモイカス、ソコニ十分ナ御覺悟ヲ以テ——是ハ當相ナモノデス、此事業ヲヤリ遂ゲルノニハ、ヤハリ永井サンガ電力問題デ痛メ上ゲラレル位ナ覺悟ヲ持タナケレバ出來マセス、ドウカ此問題ハ物珍シサウニ何カ色々ナ事業ヲ纏メタリ、壞シタリ、潰シタリスル爲ニヤルノデハナイノデ、生命保險ト云フ大多數國民ノ生活保障ニ關スル問題ヲ取扱ッテ居ル大キナ事業デアリマスカラ、色々考ヘテ見テ、ドウシテモ今マデノ儘デハイカスト云フコトダケハ考ヘラレルト思フ、極メテ眞面目ナ問題デス、電力ガ民有國營ニナッタ、次ハ

保險ニ來ルダラウト世間ハ言ッテ居ル、ソシナ浮付イタコトデ話ヲシテ居ルノデハナイノデス、ドウゾサウ云フ意味デ、十分明日カラデモ一ツ御勉強ヲ願ッテ、吾々ヲ安心サシテ下サルヤウニ御願シテ、近イ將來ニ千圓ニナルヤウニシテ戴キタイ、私ハ是デ打切リマス

○藤川政府委員

先程小池サンカラ御話ニ

ナリマシタ公共貸付ノ利率ハドウナッテ居ラルカト云フコトニ付テ御答致シマス、借主ガ地方自治團體デアリマス場合ハ、内地デハ貸付ノ期間ニ應ジテ利率ヲ變ヘテ居リマシテ、五年以内ノ貸付ノモノハ年四分、五年ヲ越エ、二十年以内ノモノハ年四分一厘、二十年ヲ越エルモノハ年四分二厘ト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ外地ノ方ハ貸付金ニ關係ナク年四分三厘ト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ自作農創設維持資金ノ貸付利率ハ全部年四分五厘ト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ地方自治團體以外ノモノニ付キマシテハ、其事業ガ社會政策的ナモノデアリマスレバ、地方自治團體ニ對スルノト同ジ利率デアリマス、ソレカラ其他ノ事業デアリマス場合ニハ内地ノ外地ヲ通ジテ五分ト云フコトニナッテ居リマス

○服部委員長

太田君

○太田委員 私ハ遅ク參リマシタノデ、私

ガ御尋致シマスコトハ、既ニ他ノ同僚諸君カラ御伺ヒ濟カトモ存ジマスガ、若シ左様デアリマシタナラバ當局ノ御答ハ必要トシマセス、御伺シタイコトハ、一時拂保險料ノ割引ノコトデアリマスガ、即チ一年分一時拂ニ對シテハ一箇月分、半箇年分一時拂ニ對シテハ半箇月分ノ割引ヲ爲スヤウニナッテ居ルノデアリマスガ、此割引ノ一箇年ノ總額ハ如何程ニナッテ居リマスガ、此點ヲ先ヅ御伺シタイ

○藤川政府委員

一年ニ約二百萬圓ニナッテ居リマス

○太田委員

此割引ハ申ス迄モナク保險料

徴收ニ要シマスル人件費ノ節約及ビ金利等ヨリ割出シニナッタモノト思フノデアリマシタ、現下ノ低金利時代ニ於キマシテ、保險料ニ對スル非常ニ高率ナ割引ハ、極端ノ場合ヲ考ヘマスト、若シ加入者全部ガ一時拂ヲ爲スヤウナコトガアリマシタナラバ、本事業ノ運営上支障ヲ來スヤウナ虞ガアリハセヌカ、此點ヲ御伺シタイノデアリマス

○藤川政府委員 只今御話ノ通り、割引ヲ致シマスノハ、集金費ガ節約ガ出來ルト云フコトト、早く納マル爲ノ金利ト、此二ツカラ出テ居ル譯デアリマスガ、全納ノ爲ノ

集金費ノ節約ガ相當ノ金額ニ上リマスカラ、此狀態ニ於キマシテハ別段支障ナシト考ヘテ居リマス

○太田委員

是ハモウ申ス迄モナイコトデアリマスガ、簡易保險ノ加入者ハ一時拂ヲスル餘裕ノナイ人ガ大部分ト思ヒマスガ、若シ前ニ申シタヤウニ、加入者全部割戻シヲ爲ス場合ハナイト致シマシテモ、餘裕ナキ人ノ負擔ニ依リマシテ、餘裕アル人ニ非常ニ好キ利廻ノ割戻シヲ爲スト云フコトニ付キマシテハ、將來何トカ御變更ニナルヤウナ御考ハゴザイマセヌカ、ソレヲ御伺シマス

○藤川政府委員

集金費ノ節約ニ依リマシテ剩シ得ル經費ハ相當多額ニ上リマスカラ、只今御話ノ通り全納ノ出來ナイ人ノ負擔ニ於テ高イ利率ヲ拂ッテ居ルト云フコトニハナラナイノデアリマス

○太田委員

私ノ質問ハソレダケデアリマス

○服部委員長

是デ三案ノ質疑ハ大體終局致シタモノト認メマス、唯民政黨ノ清水留三郎君ガ大臣ニ對シテ社會事業法案ニ付テ質問ヲ致シタイ、斯ウ云フ御希望ガアリマシタカラ、是ダケヲ保留致シテ置キマシテ、他ハ大體此三案ニ付キマシテハ一應質疑ヲ終ツクモノト致シマス、左様御諒承ヲ願ヒマ

ス、尙ホ明日ハ午後一時ヨリ開會致スコト
ニ致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス
午後五時二十分散會